令和２年度第１回今金町まち・ひと・しごと創生有識者会議

書面会議次第

１　報告事項

(1)　今金町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員の変更について

新委員：酒井　豊志　委員（今金中学校長）

旧委員：本庄　伯幸　委員（種川小学校長）

変更理由：校長会での協議によるもの

２　議　　題

(1)　令和元年度

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生事業の内訳について　資料１

(2)　令和元年度

地方創生推進交付金に係る実施結果報告の評価について　資料２

(3)　令和２年度

今金町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生事業の内訳について　資料３

３　関係資料

(1)　地方創生に係る交付金活用事業内訳　資料４

(2)　令和元年度地方創生推進交付金事業に係る参考資料　資料５

(3)　令和２年度当初予算　新年度実施事業の概要　資料６

まちづくり推進課

令和元年度　まち・ひと・しごと総合戦略に係る地方創生事業の内訳

資料1

●基本目標 1.　今金町における安定した雇用を創出する

単位 ： 千円

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	交付金等	備考
障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり	・障がい者雇用促進事業	1,980	1,230	保健福祉課		障がい者雇用数 正職員５名（iスマイル、ホクノウ） ※iスマイル　通年（２名）、5ヶ月（1名）
地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興	・地域力再生プロジェクト事業 ・ソーシャルタウン今金推進協議会補助事業	1,247 4,950	1,247 4,950	まちひと交流課 まちひと交流課	 推進交付金	
農林業における新規就農者の促進	・産業後継者育成奨励事業	1,000	1,000	農林振興課		産業後継者奨励金（農業） 妻帯者1件、独身者0件
担い手の育成対策の強化	・担い手対策事業	4,000	6,304	農林振興課		新規就農者等への助成 申請件数7件
空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信	・空き店舗活用事業	372	372	まちひと交流課		みんなの広場ひだまり家賃補助
	計	13,549	15,103			

●基本目標 2.　今金町へ新しいひとの流れをつくる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	交付金等	備考
定住・移住対策に係る条件整備の構築	・新住宅リフォーム助成事業	5,000	11,978	まちづくり推進課		申請数　46件
	・新マイホーム取得奨励事業	8,000	5,600	まちづくり推進課		申請数　8件
	・観光宣伝発信事業	8,919	2,816	まちひと交流課		
	計	21,919	20,394			

●基本目標 3.　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	交付金等	備考
積極的な結婚支援や社会気運の醸成	・結婚新生活支援事業	600	245	まちづくり推進課		新婚世帯に民間借家 家賃補助上限300千円 申請　1件（道補助対象分）
町の特性を活かした子育て支援の推進	・不妊症治療費等扶助費 ・子ども医療費扶助費(医療費軽減)	1,000 19,209	142 11,746	保健福祉課		不妊治療支援　申請数４件 医療費軽減申請数　5,954件
子育て支援による働きやすい環境をつくりだす	・認定こども園給付扶助費(保育料軽減)	31,383	22,564	教育委員会		保育料軽減申請数　18件
	計	52,192	34,697			

●基本目標 4.　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	当初予算額	実績額	所管課	交付金等	備考
現在の生活基盤の維持のための支援の実施	・デマンドバス運行事業	2,906	3,724	まちづくり推進課		八束白石、金原豊田、日進、田代稲穂 地域交通支援　市街地運行実施 利用人数　3,661人（前年度より506人増）
広域連携による経済の活性化	・檜山管内7町と東京特別区連携事業	3,200	3,190	まちづくり推進課	推進交付金	
	・北渡島檜山４町連携事業	688	688	まちづくり推進課		
	・檜山バリアフリーレジャー推進事業	3,600	3,600	まちひと・保健福祉課	推進交付金	
	計	10,394	11,202			
	総計	98,054	81,396			

令和元年度　地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告

（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

資料2

担当課事業効果　番号で選択

①地方創生に非常に効果的であった
②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった
④地方創生にあまり効果がなかった
⑤地方創生に効果がなかった

外部有識者評価　番号から選択

①総合戦略のKPI達成に有効であった
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

今後の対応　番号から選択

①追加等更に発展させる
②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続
④事業の中止
⑤予定通り事業終了

交付対象事業の名称		所管課	種類	実績額 単位：千円	指標	基準値	指標値	実績値	実績値詳細内容	本事業終了後における実績値 事業効果	外部有識者からの評価 事業の評価（どちらかに○）		外部有識者からの意見	実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針	今後の方針の理由
記入例	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	まちひと交流課	推進交付金	4,350	養護学校卒業生の雇用人数	0人	２ 人	４ 人	◆ＴＴＮコーポレーションに　２人 ◆iスマイルに　2人	①	①	②	今後も積極的障がい者雇用の推進を図ってほしい。	③	今後も継続して障がい者雇用の充実を図る。
1	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	まちひと交流課	推進交付金	4,950	障がい者（道立養護高等学校卒業生を含む）雇用人数	0人	2人	５ 人	◆iスマイル　３人 ◆ホクノウ　２人	①	①	②			
2	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	まちひと交流課 保健福祉課	推進交付金	3,600	管内障がい者入込客数	4,465人	150人	6,407人	バリアフリーも含めた観光情報発信ガイドの設置 実績見込人数 6,407人 ⇒ 1,942人増	①	①	②			
3	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	まちづくり推進課	推進交付金	3,190	道外からの管内観光入込客数	261,100人	7,400人	230,000人（見込数）	檜山管内上半期実績人数 236,000人（平成30年度） 212,300人（令和元年度） △23,700人（前年比90%） 261,100人（平成30年度実績）	①	①	②			
					特産品等販売額	3,522千円	1,000千円	3,385千円	基準値　3,522千円（前年度実績） ・大田ふれあいフェスタ　508千円 ・食観光フェア　3,014千円 実績値　3,385千円（△137千円） ・大田ふれあいフェスタ　576千円 ・食観光フェア　2,809千円 ※新型コロナウイルスの影響により集客減少及び厚沢部町が参加不可となったため売上減となった。	①	①	②			
					滞在型旅行商品開発数	3件	2件	2件	新規商品（奥尻２） ・奥尻島・函館３泊４日の旅 ・1泊から行ける！気軽に奥尻 継続商品（南部１、北部２） ・レストランバスツアーinひやま ・自然満喫！ＤＩＹツアー ・食/花/水 デトックス＆リトリートツアー	①	①	②			
交付金対象事業費計				11,740											

令和２年度　　まち・ひと・しごと総合戦略に係る地方創生事業の内訳

資料3

●基本目標 １．　今金町における安定した雇用を創出する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり	・障がい者雇用促進事業	1,980	2,700	保健福祉課	
地域の特徴を生かした産業連携によるモノづくり産業の振興	・地域力再生プロジェクト事業	1,247	1,107	まちづくり推進課	
	・ソーシャルタウン今金推進協議会補助事業	4,950	4,900		推進交付金
産業後継者の育成奨励	・産業後継者育成奨励事業	1,000	1,700	農林振興課	
担い手の育成対策の強化	・担い手対策事業	4,000	4,000	農林振興課	
空き家・空き店舗等を活用した起業支援や情報発信	・空き店舗活用事業	372	372	まちづくり推進課	
	計	13,549	14,779		

●基本目標 ２．　今金町へ新しいひとの流れをつくる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
定住・移住対策に係る条件整備の構築	・新住宅リフォーム助成事業	5,000	15,000	まちづくり推進課	
	・新マイホーム取得奨励事業	8,000	6,000		
	計	13,000	15,000		

●基本目標 ３．　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
積極的な結婚支援や社会気運の醸成	・結婚新生活支援事業	600	600	まちづくり推進課	
町の特性を活かした子育て支援の推進	・不妊症治療費等扶助費	1,000	1,000	保健福祉課	
	・子ども医療費扶助費(医療費軽減)	19,209	19,209		
子育て支援による働きやすい環境をつくりだす	・認定こども園給付扶助費(保育料軽減)	31,383	12,228	教育委員会	
	計	52,192	33,037		

●基本目標 ４．　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

（単位 ： 千円）

具体的な施策	事業名	前年度予算	予算額	所管課	備考
現在の生活基盤の維持のための支援の実施	・デマンドバス運行事業	3,682	4,230	まちづくり推進課	
広域連携による経済の活性化	・北渡島檜山４町連携事業	688	658	まちづくり推進課	
	計	4,370	4,888		

総計	83,111	67,704

資料4

地 方 創 生 に 係 る 交 付 金 活 用 事 業 内 訳

1	２６年度 （繰越明許費）	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 （地方創生先行型）	交付金額	32,607 千円	１頁
2	２６年度 （繰越明許費）	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 （地域消費喚起・生活支援型）	交付金額	16,788 千円	２頁
3	２７年度 （繰越明許費）	地方創生加速化交付金	交付金額	43,576 千円	３頁～６頁
4	２８年度	地方創生推進交付金	交付金額	5,000 千円	７頁
5	２８年度 （繰越明許費）	地方創生拠点整備交付金	交付金額	48,000 千円	８頁
6	２９年度	地方創生推進交付金	交付金額	9,800 千円	９頁～１１頁
7	３０年度	地方創生推進交付金	交付金額	8,225 千円	１２頁～１４頁
8	３１年度	地方創生推進交付金	交付金額	5,925 千円	１５頁～１７頁
9	令和２年度	地方創生推進交付金	交付金額	3,091 千円	１８頁
		総　合　計		173,012 千円	

令和２年５月

まちづくり推進課

交付金名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）	交付金額　32,607 千円	年度
事業名	今金町総合戦略策定事業　外１４事業	事業費　40,189 千円	26

事業概要

◎交付金創設の趣旨　～　「地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策」

しごとづくりなど地方が直面する構造的な課題への実効ある取組を通じて地方の活性化を促すため、国の総合戦略に基づく事業を先行して実施する。

◎支援内容一覧

	区分	総事業費	交付金額	支援先等
1	今金町人口ビジョン・総合戦略策定事業	6,434	6,434	
2	産業後継者育成奨励事業	4,800	3,445	後継者 6名
3	就労支援事業	3,252	2,490	就労支援者 2名
4	担い手対策事業	3,549	2,297	担い手対策協議会
5	空き店舗活用事業	372	285	今金町商工会
6	地域・特産品活性化事業	1,176	1,176	各種観光PR
7	地域再生加速事業	1,800	1,378	地域再生加速協議会
8	高齢者交通料金助成事業	795	795	購入者 188名
9	デマンドバス運行事業	2,650	2,307	地域交通協議会
10	障がい者交通料金助成事業	493	478	利用者 63名
11	出産記念品奨励事業	3,550	2,450	出産対象者 37名
12	産業後継者結婚対策推進事業	556	426	結婚対策推進協議会
13	就学前子育て支援事業	9,000	6,890	認定こども園
14	育ちの支援事業	1,368	1,368	認定こども園
15	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	394	388	各種連携PR
総合計		40,189	32,607	← 補助率　81%

交付金名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（消費喚起・生活支援型）	交付金額　19,785 千円	年度
事業名	消費喚起プレミアム商品券発行事業	事業費　79,725 千円	26

事業概要

◎交付金創設の趣旨　～　「地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策」

地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感を持って的を絞った対応をしていくため、緊急経済対策が効果を発揮するよう実施する。

◎事業概要

本町における経済対策として、プレミアム商品券を発行し、地域の消費喚起を図る。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　今金町プレミアム商品券発行事業	79,725	19,785	今金町商工会

・商品券発行　１枚　１０，０００円　×　プレミアム率　３０％　＝　１３，０００円
・発行枚数　　６，０００枚（１０枚　１セット　６００セット）
・総発行額　　１３，０００円　×　６，０００枚　＝　７８，０００千円
・プレミア率　３０％　⇒　国交付金　２５％、北海道　５％

・商品券換金枚数　　５，９９４枚
・消費喚起額　　５，９９４枚　×　１３，０００円　＝　７７，９２２千円

・国庫交付金対象　　５，９９４枚　×　２，５００円　＝　１４，９８５千円
（２５％）　　事務費　＝　１，８０３千円
計　＝　１６，７８８千円　・・・　Ａ
・北海道交付金対象　　５，９９４枚　×　５００円　＝　２，９９７千円　・・・　Ｂ

・国庫交付金・北海道交付金　合計額（Ａ＋Ｂ）　＝　**１９，７８５千円　←　補助率　100%**

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．１	交付金額　14,400 千円	年度
事業名	「にぎわい今金」雇用創出支援事業	事業費　15,167 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業概要

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　地域力再生プロジェクト補助金	6,200	5,900	今金町商工会
・関係機関との連携による障がい者就労サポート体制の構築事業に対する支援 ・植物工場及び加工場設置による雇用拡大と新たな雇用スタイルを構築する事業に対する支援 ・着地型観光体験、セミナー開催、空き店舗を活用した、まちなか賑わい事業に対する支援			
2　空き地空き店舗活用支援補助金	8,857	8,400	支援対象者 3名
・空き家空き店舗を魅力的な空間としてリフォームし利活用を図ることに対する支援			
3　ワーキングステイ推進事業	110	100	町有施設整備
・まちづくりや地域イノベーションに興味・関心があり、実践できる方で、場所を選ばずに自身の仕事ができる方の為の居住環境整備　（町有住宅 1棟）			
総　合　計	15,167	14,400	← 補助率　95%

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．２	交付金額　15,511 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	事業費　15,511 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業概要

観光資源の一部をバリアフリー化し、実際に障がい者等に体験してもらい意見聴取を実施。また、地域住民、関係職員、観光ガイドなどバリアフリーレジャーを支える人材の育成を図る。

◎支援内容

区　分	事業費	交付金額	支援先等
1　モニターツアー事業	3,500	3,500	今金町商工会
・クアプラザピリカ施設に宿泊してもらい、施設のバリアフリー化の促進に向けて意見聴取			
2　レジャー施設のバリアフリー備品購入	6,011	6,011	町有施設整備
・クアプラザピリカ障がい者用簡易トイレ ・クアプラザピリカセンターハウス昇降機 ・レジャー用スノーモービル			
3　レジャー施設のバリアフリー施設整備	6,000	6,000	町有施設整備
・クアプラザピリカセンターハウス１階トイレ改修 ・レストハウストイレ改修			
総　合　計	15,511	15,511	← 補助率　100%

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．３	交付金額　5,142 千円	年度
事業名	北渡島檜山４町の北海道新幹線開業による地域「食」と「観光」連携事業	事業費　5,158 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業内容

北海道新幹線開業に伴い、新たに食分野を付加し、観光とリンクする取組を４町連携において集中的に展開を図り広域的な経済効果の一層の向上を目指す。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　食（物産）分野	1,511	1,511	4町協議会
・域内展示会とビジネス交流会の開催、物産カタログ製作 ・専門家相談会、研修会の実施、テストマーケティングの実施 ・東アジア圏をターゲットとした観光ＰＲ・販路拡大			
2　観光推進分野	3,449	3,433	4町協議会
・域内の魅力を食とパッケージにし、クーポンを付加してエリア全体のガイドブック製作 ・観光動態調査の実施、食と観光フェアーの開催			
3　域内ネットワークの構築	198	198	4町協議会
・エリア内の団体や民間事業者等の連携を図り、持続可能な仕組みや体制を構築。			
総　合　計	5,158	5,142	← 補助率　99%

交付金名	地方創生加速化交付金　～　ＮＯ．４	交付金額　8,523 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	事業費　8,523 千円	27

事業概要

◎交付金創設の趣旨

一億総活躍社会実現に向けた緊急対策として「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」「安心につながる社会保障」も含め「新三本の矢」の取組に貢献する事業を実施する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　東京都特別区との連携事業	3,644	3,644	檜山広域行政組合
・大田区民を対象としたモニターツアーの実施 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催			
2　檜山管内７町との連携事業	3,431	3,431	檜山広域行政組合
・檜山管内プロモーションビデオ製作 ・連携観光パンフレット製作及びホームページ開設 ・地域リーダーシップの育成研修の実施			
3　移住・定住受入環境整備	1,448	1,448	町有施設整備
・ちょっと暮らし体験受入体制及び施設整備			
総　合　計	8,523	8,523	← 補助率　100%

交付金名	地方創生推進交付金	交付金額　5,000 千円	年度
事業名	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	事業費　10,655 千円	28

事業概要

◎交付金創設の趣旨

２８年度からの地方版総合戦略の本格的な推進に向け、地方創生の深化のため、自治体の自主的・主体的で先導的な事業を支援。地域再生計画を策定し認定後は、最長５年間、交付金として財政支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け)　平成28～30年度　3年間【1年目】

区　分	事業費	交付金額	支援先等
1　山村活性化地域協議会補助金	6,000	3,000	今金町商工会
・再生可能エネルギー活用調査事業 ・新たな雇用スタイル構築及び障がい者雇用確立事業			
2　ハウス施設設置に伴う基盤整備	4,655	2,000	町有施設整備
・町有地敷地調査委託業務 ・町有地敷地整備事業			
総　合　計	10,655	5,000	← 補助率　47%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生拠点整備交付金　【繰越明許費】	交付金額　48,000 千円	年度
事業名	観光いまかね地域活性化推進事業	事業費　101,811 千円	28

事業概要

◎交付金創設の趣旨

未来への投資に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組みに対して支援する。

◎事業内容

現在、休止中のクアプラザピリカプール施設を用途廃止し、来訪者及び地域住民が活動の拠点として利用できるスペース等を整備することで、周辺地域の持続的な維持及び活性化を図る。併せて、６次産業化を推進するためのスペースを整備し利活用を図る。

◎事業概要

※地域再生計画認定（平成29年2月24日付け）

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　クアプラザピリカプール棟利活用事業	101,811	48,000	町有施設整備
・プール棟利活用　改修設計委託業務 ・プール棟利活用　改修事業 **当該施設は、宿泊施設、温泉施設、レストランなどと隣接しているため、周囲の施設と一体的な利活用を図り、新たな誘客を見込むものである。**			
総　合　計	**101,811**	**48,000**	**← 補助率　47%**

※交付金残の負担分は地方債対応 ← 充当率１００%

※地域再生計画認定に不可欠な事業の先導性の理由

遊休施設を利活用し、新たな観光客誘致戦略と位置づけ、魅力ある観光地として来訪を促すことで、本町及び近隣町との広域的な観光振興が図られる。

また、北渡島檜山４町地域連携推進協議会の「食」と「観光」推進事業における拠点施設として位置づけ、休止中の施設を利活用することで、周辺町と連携事業の強化が図られ更に相乗効果が期待される。

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．１	交付金額　2,785 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	事業費　5,568 千円	29

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全７町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【1年目】

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　受入体制整備事業	5,385	2,693	町有施設整備
・車椅子でも簡単に階段を昇り降り可能な階段用昇降機設置 ・温泉棟における段差解消 ・観光ガイドの配置			
2　人材育成事業	183	92	
・先進地視察及び研修会の実施			
総　合　計	5,568	2,785	← 補助率　48%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．２	交付金額　5,000 千円	年度
事業名	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	事業費　10,000 千円	29

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成28年8月30日付け)　平成28～30年度　3年間【2年目】

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　山村活性化地域協議会補助金	10,000	5,000	今金町商工会
・多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくりに対する支援 ・障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりに対する支援 ・栽培ハウス整備に係る支援 →農山漁村交付金申請者　実施主体　㈱ＴＴＮコーポレーション ①農・商工・福祉連携を図るための新たな雇用型植物工場経営基盤を確立支援する経費　3,000 千円 ②太陽光、温泉熱を活用した栽培ハウス整備を支援する経費　5,000 千円 ③まちづくり会社の設立を支援する経費　2,000 千円			
総　合　計	10,000	5,000	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．３	交付金額　1,974 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	事業費　3,948 千円	29

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【1年目】

区　　分	事業費	交付金額	支援先等
1　檜山管内７町と東京都特別区との連携事業	3,948	1,974	事務局:上ノ国町
・エリア別個別戦略の推進 ・滞在型旅行商品の造成・ＰＲ活動の実施　『せたな・今金エリア　学生向けツアー、巡り花ツアー』 ・受入体制及び受入環境の整備 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催 大田区フェスタ　11月4日～5日　来場者数30万人　特産品販売　売上464千円 ひやま食と観光フェア　2月17日～18日　来場者数　２万人　特産品開発　売上　3,070千円			
総　合　計	3,948	1,974	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．１	交付金額　2,475 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	予算額　6,950 千円	30

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全７町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定（平成29年5月30日付け）　平成29～31年度　3年間【1年目】

区　分	予算額	交付金額	支援先等
1　受入体制整備事業	6,750	2,375	町有施設整備
・モニタリングツアー ・観光ガイドの配置 ・観光施設バリアフリー化（補助対象外経費）			
2　人材育成事業	200	100	
・先進地視察及び研修会の実施			
総　合　計	4,950	2,475	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応



交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．２	交付金額	4,000 千円	年度
事業名	新たな産業と拠点づくりと人の流れ創出事業	予算額	8,000 千円	30

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

◎支援内容

※地域再生計画認定（平成28年8月30日付け）　平成28～30年度　3年間【3年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　山村活性化地域協議会補助金	8,000	4,000	今金町商工会
①まちづくり会社設立を支援する経費　⇒　4,100 千円 内訳 ・地域内労働力不足を解消するための雇用シェリングシステム構築経費　400 千円 ・障がい者の活躍できる労働環境の課題解決に向けた実証経費　2,550 千円 ・多様な人材が地域で活躍できる新たなビジネス調査経費　1,150 千円 ②加工品等業務拡大に向けた実証を支援する経費　250 千円			
総　合　計	4,350	2,175	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．３	交付金額	1,750 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	予算額	3,500 千円	30

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【２年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　檜山管内７町と東京都特別区との連携事業	3,500	1,750	事務局:上ノ国町
・エリア別個別戦略の推進 ・滞在型旅行商品の販売活動及びＰＤＣＡサイクル検証経費 ・受入体制及び受入環境のためのリーダー人材養成 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催			
総　合　計	3,466	1,733	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．１	交付金額	2,475 千円	年度
事業名	海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業	予算額	6,950 千円	31

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業概要

障がいのある方もない方と同様に檜山管内を旅行しやすくなるよう管内観光資源の洗い出し、檜山管内を観光するうえで何が障壁となるかの検証を行うほか、障がい者等が利用しやすくなるようバリアフリー化に取組んだメニューづくりに北海道、管内全７町が連携して取組む。

◎支援内容

※地域再生計画認定（平成29年5月30日付け）　平成29～31年度　3年間【３年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　受入体制整備事業	3,600	1,800	町有施設整備
・モニタリングツアー ・観光ガイドの配置 ・観光施設バリアフリー化（補助対象外経費）			
2　人材育成事業	0	0	
総　合　計	3,600	1,800	← 補助率　５０％

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ.２	交付金額　1,750 千円	年度
事業名	檜山管内７町と東京都特別区連携事業	予算額　3,500 千円	31

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

交流人口の拡大、移住・定住の促進、地域産業の維持・創出を目的に檜山管内７町連携と東京都特別区との連携を図り、地域資源の発掘・磨き上げ、商品化に向けた検討会を実施し、一過性で終わらない継続した集客の仕組みづくりを構築する。

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成29年5月30日付け)　平成29～31年度　3年間【3年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　檜山管内７町と東京都特別区との連携事業	3,200	1,600	事務局:上ノ国町
・エリア別個別戦略の推進 ・滞在型旅行商品の販売活動及びＰＤＣＡサイクル検証経費 ・受入体制及び受入環境のためのリーダー人材養成 ・大田区フェスタ及び食と観光フェアの開催			
総　合　計	3,200	1,600	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金　～　ＮＯ．３	交付金額　2,525 千円	年度
事業名	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	予算額　5,050 千円	31

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け)　平成31～33年度　3年間【1年目】

区　　分	予算額	交付金額	支援先等
1　ソーシャルタウン今金推進協議会	5,050	2,525	今金町商工会
①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費 ②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費 ③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費 ④販路拡大に係る連携事業に係る経費			
総　合　計	5,050	2,525	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

交付金名	地方創生推進交付金	交付金額 3,091 千円	年度
事業名	多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業	予算額 6,183 千円	2

事業概要

◎交付金創設の趣旨

本格的な事業展開の段階を迎えた地方創生について、更なる深化のため、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する。

◎事業内容

本町の産業の強化を図るため、新たな雇用の場を創り、障がい者の定着を図る福祉施策と農業の担い手確保による農業生産の向上を図る農業施策と連携し、障がい者でも働ける環境を創ることで、誰もが働ける環境につながることができ、新たな雇用の創出や本町への移住・定住を目指す。

今金町の豊かな自然資源と人的資源を活かした3年度のステップアップ方式で効率よく事業化を図る。

■多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくり～働き手・受けての確保

◎支援内容

※地域再生計画認定(平成31年3月29日付け)　平成31～令和3年度　3年間【2年目】

区分	予算額	交付金額	支援先等
1　ソーシャルタウン今金推進協議会	6,183	3,091	今金町商工会
①地域内の労働力不足を解消するための雇用シェアリングを構築する経費 ②障がいがあっても活躍できる労働環境の課題解決に係る支援する経費 ③障がい者と農・観ビジネスの在り方に関する仕組みづくりを支援する経費 ④販路拡大に係る連携事業に係る経費			
総　合　計	6,183	3,091	← 補助率　50%

※交付金残の負担分は、まち・ひと・しごと戦略基金対応

資料5

令和元年度
地方創生推進交付金事業に係る参考資料

1．多様な人材が活躍できるまちづくり推進事業

（1）iスマイル関連記事（北海道新聞抜粋）

2019.4.2　iスマイル入社式　・・・P1

2019.5.29　障がい者雇用増へ　・・・P2

2019.12.24　障がい者雇用し農産加工　・・・P3

（2）TTNコーポレーション関連記事（北海道新聞抜粋）

2019.5.28　イチゴ栽培　・・・P4

（3）ソーシャルタウン今金町促進協議会

農産物加工場の完成について　・・・P5～P9

2．海・山・川！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互関連事業

・令和元年度ひやまバリアフリーレジャー事業　管内取組結果　・・・P10～P13

・ひやまバリアフリーレジャーガイド　・・・P14～P24

3．檜山管内7町と東京都特別区連携事業

・令和元年度委託業務報告書　・・・P25～P79

「できること懸命に」

今金高等養護卒の3人

【今金】知的障害がある生徒が通う今金高等養護学校の卒業生をともに正規雇用した町内の一般社団法人i・スマイル（斉藤忠理事長）と、農機具販売のホクノウ機器販売（岡本庄社長）の合同入社式が1日、にぎわいプラザひだまりで行われた。

健常者と障害者がともに活躍する「ソーシャルタウン」の趣旨に賛同する両事業所。同校を卒業した新入社員計3人は、役員や先輩らに見守られる中、辞令をそれぞれ受け取った。

i・スマイルの佐々木雄太さんは「できることを一生懸命頑張ります」と宣言し、同じく田村正人さんは「コミュニケーションを取って職場に慣れます」と強調。ホクノウの梅沢瑞輝さんは「分からないことを職場の人に聞いて学んでいきたい」と抱負を語った。（森田彰）



社会人として第一歩を踏み出した（左2人目から）i・スマイルの佐々木さんと田村さん、ホクノウの梅沢さん

新たに訪問活動も

障害者雇用増へ今金の法人

【今金】障害者雇用を進め、人口減少対策や地域経済の再生を目指す一般社団法人「i・スマイル」（斉藤忠理事長）が27日夜、本年度の社員総会を、町内の居酒屋で開いた。新たに地域コーディネーターを配置し、障害者の雇用機会を開拓する訪問活動に取り組むことを決めた。



i・スマイルの職員として働く決意などを披露した今金高等養護学校OBの4人

同法人は2017年2月、経営者ら12人が基金を拠出して社員となり、障害者が働ける場をつくり、人口減に伴う労働力不足を解消しようと設立された。

本年度は雇用機会の開拓のほか、主力の農作業の請負による労働力不足の解消、観光案内事業などに加え、農産物加工場の建設を計画。趣旨に賛同して1万円以上を拠出する会員（現在12人と2団体で88口）についても、20口分の増加を目指す。

総会には、社員や職員ら計16人が出席。約1400万円の昨年度決算と、約1600万円の本年度予算の議案2件を原案通り可決した。また、斉藤理事長が「仲間意識を高めて盛り上げていく」とあいさつ。同法人の職員として雇用されている今金高等養護学校OBの篠木祐治さん、中田優樹さん、佐々木雄太さん、田村正人さんの4人が、法人で働く決意などについて語った。（森田彰）

北海道新聞　2019年（令和元年）12月24日（火曜日）

今金の「i・スマイル」来夏から
障害者雇用し農産加工
「ひかりの里」旧園舎を活用

【今金】障害者雇用の受け皿となっている一般社団法人「i・スマイル」（斉藤忠理事長）は来年1月から、町内神丘の「障がい者支援施設　ひかりの里」旧園舎を活用し、障害者が働く農産物加工場を整備する。農業の担い手不足解消と障害者雇用促進を目指す考えで、来夏の稼働を目指す。

同法人は2017年に設立。今金高等養護学校の卒業生を受け入れるなどしてミニトマト収穫やシイタケ栽培などを請け負ってきた。ただ作業は農家の繁忙期などに限られるため、今後は年間を通じて働ける場を設け、生活の安定につなげようと、農産物加工場を整備することにした。

現在は使用されていない「ひかりの里」旧園舎のうち、木造平屋、約180平方㍍の陶芸用作業場を農産物加工場に改装する。ジャガイモの自動皮むき器やベルトコンベヤーなどを導入。ジャガイモの皮むきやブロッコリー、カボチャなど野菜のカットなどを行う。国の交付金と町の補助金を受け、総事業費は約2300万円。

現在、同法人では障害者6人が働いている。今年1～3月には後志管内倶知安町の食品加工場で研修を行って準備してきたという。農産物加工場が軌道に乗れば、ここで10人以上を受け入れる見通しだ。

同法人の斉藤理事長は「従来の農家の手伝いと違い、農産物加工場は一年通じて働くことができる。障害者の自立のためにお手伝いしていきたい」と話している。（塩野洋）

北海道新聞　2019年（令和元年）5月28日（火曜）

イチゴ甘み向上

障害者ら栽培 今金で収穫



赤く色づいたイチゴを確認する従業員

【今金】障害者雇用に取り組むTTNコーポレーション（兵庫県）は、イチゴを栽培する町内美利河の植物工場で、今季の収穫を始めた。6月からはイチゴ狩りを開始する予定だ。

栽培2年目の今季は、2月15日に「すずあかね」を約1700株植え付けた。温度などをコンピューター制御する植物工場で、今金高等養護学校を卒業した社員たちが管理作業をし、5月9日から収穫を開始。イチゴは工場近くのクアプラザピリカ売店で不定期に販売している。

同社の中池宏行副社長は「知的障害のある社員はきちんと仕事ができる」と評価。「栽培2年目で栽培管理が向上し、イチゴの甘みが増した」とPRする。

イチゴ狩りは実り具合を見ながら土、日、祝日に行う予定。30分食べ放題で1500円（小学生700円）。

問い合わせはクアプラザピリカ☎0137・83・7111へ。

（森田彰）

共通第2号様式（第3条第2項、第5条第1項、第14条）

事業計画（実績）書

設立年月日	平成28年 1月15日
申請者の営む主たる事業	障がい者を中心に多様な人材が活躍できるまちづくりと産業全体の雇用創出と地域活性化に資する事業
補助事業等の内容	地域産業の活性化や障がい者、シニア世代を含む多様な人材の雇用機会の創出のため、農産物一次加工事業、将来的には6次産業化を実現し、ソーシャルタウン今金町の実現と産業全体の雇用創出と所得向上、地域課題を解決をするための具体的な事業確立に向けた拠点となる農産物加工場をした。 なお、農産物加工場は社会福祉法人光の里が所有し、現在、利用されていない休眠施設の一部をリノベーションして利活用するための環境整備を行った。
補助事業等実施による効果	ソーシャルタウン今金町の具現化に向け、今金高等養護学校卒業生を中心とした障がい者雇用やシニア世代の雇用など、多様な人材の新たな雇用創出や人材育成体制を含めた一連の仕組みづくりの構築が期待されるとともに、産業と福祉の連携によりバランスのとれた人口構造の確立に寄与できるとともに地域内にある多くの課題解決が実現される。
備考	

注　1. この様式は、大会等の開催その他これに類する経費に係る補助金等の交付を申請し、又は当該補助金等に関し実績報告をする場合に使用すること。

2. 補助事業等の内容は事業項目ごとに詳細に記載すること。

3. この様式には、当該大会等を主催する団体の構成員（役員）名簿を添付すること。

今金町農産物加工工場建設工事

完成写真

発注者：一般社団法人 i・スマイル

請負者：外山建設株式会社



完了（内部）



完了（内部）



完了（内部）



完了（内部）



完了（内部）

令和元年度(2019年度) ひやまバリアフリーレジャー事業 管内取組結果

町名	内容	実施時期	詳細
江差町	介助技術を有する観光ガイドの配置	4月～3月	・開陽丸、中村家(旧檜山爾志郡役所も兼ねる)、追分会館に各1名
	先進地調査研究視察・バリアフリー対応ノウハウ取得セミナー	8、9、11月	・観光施設職員等の参加
上ノ国町	バリアフリーレジャー講演会	2020/03/03	中止(新型コロナウイルスの影響)
厚沢部町	バリアフリーレジャー普及啓発セミナー	2020/03/17	中止(新型コロナウイルスの影響)
乙部町	バリアフリー海水浴場運営(委託)	7月～8月	・バリアフリー海水浴場の監視、介護等運営。 ・バリアフリートイレ及び更衣室等の運営、メンテナンス。
	モニターツアー実施(委託)	8月～9月	・2回開催(8/4～5、9／28～29)
	バリアフリーイベントの開催(補助)	8月	・バリアフリー海水浴場で開催する車イス利用の方でも楽しんでいただけるイベントを開催。(8/4)
	受入体制整備の実践研修	8月～9月頃	・モニターツアーの実施、受入と併せて,受入窓口及び参加事業者に対して、受入対応の留意点等のアドバイスを行うとともに、事後に改善点等のアドバイスを行った。(モニターツアーと一体として実施)
奥尻町	観光ガイド配置(委託)	4月～3月	・介護研修を受けたガイドの配置。
	モニターツアー実施(委託)	8月～10月	・奥尻島内9/18～20で実施。参加者　車椅子利用者1名、視覚障害者1名、介助者2名、サポーター1名
	住民向け研修会の開催(委託)	7月	・福祉フェアに合わせて障害者への接遇等体験型の研修(講習)を実施予定。
今金町	観光ガイドの配置	通年	・町内宿泊施設にバリアフリーレジャーも含めた観光情報発信のためのガイドを配置。
	バリアフリー研修会		未実施
せたな町	シャワーキャリー購入	6月	・温泉施設等での活用。
	北海道じゃらん掲載	7月	・8月号広告料。バリアフリー施設等紹介。
	バリアフリービーチ運営(委託)	7月～8月	・観光協会へ委託。監視員による障がい者支援、レジャー用車いす多目的トイレ、障害者専用シャワー室貸出。
	体験観光モニターツアー(委託)	9月～10月	・企画運営を委託。各施設レジャー等点検。
	地域サポーター養成研修	10月	・講師謝礼。31人参加、町内障がい当事者団体等の参加あり

振興局

令和元年度（2019年度）　ひやまバリアフリーレジャー事業の取組について
檜山振興局では、次の内容について取り組みました。

1　推進協議会の開催

振興局と各町、関係機関の情報共有のため開催しました。

年3回開催
第1回（5／25開催）
内容　平成30年度ひやまバリアフリーレジャー事業の取組結果等
　　令和元年度ひやまバリアフリーレジャー事業の取組について
第2回（10／28開催）
内容　（報告）先進地調査研究
　　檜山観光情報ホームページ等
第3回（3月書面開催）

第1回推進協議会の様子



第2回推進協議会の様子



2　PR素材の作成

事業PR素材を作成し、道内外のイベントでのPRや道南の道の駅などに配布しました。

（1）PR素材（小冊子）　（令和元年8月発行）

（1）写真やイラストを使用し管内バリアフリーレジャーの活動の様子やモデルコース、各町のバリアフリー観光情報等、問い合わせ先を掲載。
（2）B5版2つ折りサイズで20ページ。印刷部数は10，000部。





配布先

・道南の道の駅、観光協会、市町村、空港、全国のバリアフリーツアーセンター等に配布。
・道内外の障がい者のスポーツイベント等（はまなす車いすマラソン、青森県障がい者スポーツ大会等）で参加者に直接配布。

令和元年8月25日

青森県障がい者スポーツ大会での配布PRの様子



(2)PR素材(マップ等)　（令和元年12月発行）

(1) 写真やイラストを使用し管内のバリアフリー情報や問い合わせ先を掲載。

(2) A3版8つ折りサイズ。印刷部数は10，000部。





配布先

・道南の道の駅、観光協会、市町村、空港、全国のバリアフリーツアーセンター等に配布。

4　地元観光体験型講演会(10月31日開催)

地元住民を対象として、観光・福祉に精通した人材育成を行うための講演会を開催しました。

(1)地元観光体験型講演会

檜山北部の住民を対象に檜山南部の観光資源を体感する講演会を開催しました。





(1)介護技術取得型講演会

地元事業者等を中心とした地域住民を対象に、介護福祉サービスの知識・技術が取得できる講演会を実施しました。





3　檜山観光情報ホームページ（令和2年1月開設）

これまでの調査等で得られた情報を広く周知するためホームページを開設しました。

ホームページアドレス　http://www.hiyyama.pref.hokkaido.lg.jp/hk/syf/index.htm





ひやま イベントカレンダー

秋【9月～11月】

9月	中旬	上ノ国	上ノ国八幡宮渡御祭	武士の格好をしたおかち行列が練り歩く。
	9・10日	せたな	事比羅神社例大祭	各町内が色とりどりに飾りつけた山車を出陣。
	14・15日	せたな	真駒内神社例大祭	五穀豊穣を祝う盛大な祭りで、太鼓合戦が見もの。
	19～21日	今金	今金八幡宮例大祭・いまかね秋祭り	太鼓合戦が迫力満点。
	第3金・土・日	江差	江差追分全国大会	日本一歴史ある民謡全国大会。
	秋分の日	乙部	緑桂(りょくけい)森林フェスティバル	自然のなかでジンギスカンやゲーム。
	下旬	江差	江差町産業まつり	新鮮な海産物や農産物が集合。
10月	第1日曜	上ノ国	産業まつり	地元の農家や漁師から自慢の食材が大集合。
	上旬～中旬	せたな	道南新そばまつり	素人そば打ち道南団手権や、各種新そばを味わえる。
	上旬～中旬	せたな	食と産業まつり	せたなの実りの秋を楽しむお祭り。

冬【12月～3月】

1月	1月上旬～2月上旬	上ノ国	かみのくに食遊祭	海の幸、山の幸を味わう食の祭典。
	1月中旬	乙部	しばれふれあい富岡	スキー教室やゲーム、そばの提供もあります。
2月	1～28日	江差	江差たば風の祭典	寒さを吹き飛ばすイベントが目白押し。
	2月上旬～3月中旬	江差	江差・北前のひな語り	愛らしいお雛様が江差の町を彩る。
	第1土・日	江差	冬江差"美味百彩"なべまつり	約30種類以上の鍋を味わう。
	下旬	今金	ピリカふれあい歩くスキー大会	ピリカ遺跡を会場に歩くスキーを満喫。

お問い合わせ 詳細情報につきましては直接お問い合わせください。

●北海道江差観光みらい機構
TEL:0139-56-1144 FAX:0139-52-5505

●上ノ国町観光協会
TEL:0139-55-3955 FAX:0139-55-3994

●厚沢部町観光協会
TEL:0139-64-3738 FAX:0139-56-1020

●乙部町観光協会
TEL:0139-62-2920 FAX:0139-62-3565

●奥尻島観光協会
TEL:01397-2-3456 FAX:01397-2-3450

●今金町観光協会
TEL:0137-82-3601 FAX:0137-82-3601

●せたな観光協会
TEL:0137-84-6205 FAX:0137-83-8020

北海道檜山振興局保健環境部社会福祉課
〒043-8558 北海道檜山郡江差町陣屋町336-3
TEL：0139-52-6651
FAX：0139-52-3010
http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/hk/syf/index.htm

発行：北海道檜山振興局保健環境部社会福祉課
企画・制作：ひやまバリアフリーレジャー事業
委託業務（ＰＲ素材（小冊子））
受託コンソーシアム
2019年8月発行

ひやまバリアフリーレジャーガイド



北海道檜山振興局

バリアフリー すべての人にひやまを

地域ぐるみで「バリアフリーレジャー」に取り組んでいます。

北海道と町の連携・協働プロジェクト

北海道檜山振興局と7町のほか、観光関連団体や福祉団体等がレジャー目線からバリアフリーを推進していきます。

旅のバリアフリーを実践!

障がい当事者に管内を旅行してもらい、施設改修や対応のバリアフリー化なども進めています。

さらなるおもてなしの檜山を追求

地域に助け合いの心が育まれ、障がい者や高齢者、子育て世帯など、観光客だけでなく、すべての人が過ごしやすいまちづくりを目指します。

函館からひやま地域へ



ひやま地域へのアクセス



道外から函館へ

航空機の場合

- 関西国際空港 → 約1時間40分 → 函館空港
- 中部国際空港 → 約1時間35分 → 函館空港
- 羽田空港 → 約1時間25分 → 函館空港

新幹線の場合

- 東京駅 → 約4時間～ → 12分 → JR木古内駅 → JR新函館北斗駅
- 仙台駅 → 約2時間30分～ → JR木古内駅 → JR新函館北斗駅
- 盛岡駅 → 約1時間50分～ → JR木古内駅 → JR新函館北斗駅
- 新青森駅 → 約1時間～ → JR木古内駅 → JR新函館北斗駅

ひやま地域の交通



自動車の場合

※グーグルマップを利用した中心街(役場)までの移動時間の目安となります

JR新函館北斗駅

- 約49分 → 厚沢部
- 約1時間 → 乙部
- 約1時間3分 → 江差
- 約1時間14分 → 上ノ国
- 約1時間34分(高速利用) → 今金
- 約1時間40分(高速利用) → せたな
- 約3時間15分 → 奥尻

江差港 →(フェリー2時間10分)→ 奥尻

JR木古内駅

- 約48分 → 上ノ国
- 約57分 → 江差
- 約1時間13分 → 厚沢部
- 約1時間13分 → 乙部
- 約2時間16分(高速利用) → 今金
- 約2時間22分 → せたな
- 約3時間9分 → 奥尻

江差港 →(フェリー2時間10分)→ 奥尻

ひやま地域は 障がいのある方も、高齢者も 子育て世代も みんなが楽しめるエリア



ひやま地域の7つの町には恵まれた自然を活かしたさまざまなレジャーが用意されています。
各町の特徴と代表的なバリアフリースポットを紹介します。

1 江差（えさし）



江差は北海道文化発祥の地。町のいたるところに残された歴史的・文化的遺産を巡れば、いにしえのロマンにたっぷりと浸れます。

江差追分会館
江差追分会館をバリアフリー化！民謡の王様「江差追分」体験を専門のスタッフがわかりやすく手ほどきします。
営業時期：通年



2 上ノ国（かみのくに）



山頂から日本海の絶景を望む夷王山（いおうざん）をはじめ、うっとりするような自然と伝統が息づく上ノ国。数多くの歴史遺産があり、まさに圧巻の「北の中世」です。

道の駅もんじゅ
平成30年4月にリニューアル！「日本海を一望できるレストランでのお食事」が楽しめます。
営業時期：通年

3 厚沢部（あっさぶ）



森の主は樹齢500年以上のヒバ爺さん。豊かな自然に囲まれた田園の町では、ジャガイモの収穫体験などのどかな時間をじっくり楽しめます。

鶉ダムオートキャンプ場
（ハチャムの森）
自然、アクセス、設備よし!!
ひやま地域で新函館北斗駅から一番近いオートキャンプ場!!大自然がお待ちしています。
営業時期：4月下旬～9月下旬



4 乙部（おとべ）



「東洋のグランドキャニオン」と称される館の岬をはじめ、奇岩と変化に富んだ海岸線が続きます。縁結びの巨木「縁桂（えんかつら）」がある町としても知られています。

海のプール
誰もが海水浴を楽しめるよう、専用の車いすを用意しています。ここは「快水浴百選」に北海道で唯一選定されています。
営業時期：7月中旬～8月中旬



5 奥尻（おくしり）



「奥尻ブルー」といわれる透明度の高い真っ青な海に浮かぶ奥尻島。
北海道の中でも温暖な気候だから夏を長く楽しめる。心ゆくまで島時間を満喫できます。

なべつる岩
ウニ狩り（ウニの殻ムキ体験）、おくしりワインや地酒もあり。民宿などもバリアフリー化!!



6 今金（いまかね）



今金町を流れる後志利別川は、一級河川の水質ランキング1位を全国最多で獲得している日本一きれいな川。川遊びやアユ釣りなどゆっくりと過ごすことが出来ます。

ピリカスキー場
初めての雪でも楽しく遊べるスノーチューブなどを用意して待ってます!!
営業時期：12月下旬～3月下旬



7 せたな



日本海に面した長い海岸線をもつせたな。ウニやアワビなど海産物の宝庫、さらに北海道らしい牧場や農場も広がり、大地の美味も豊穣です。

三本杉海水浴場
「水質が特に良好な海水浴場」に選定。海水浴を楽しめるよう専用の車いすを用意しています。
営業時期：7月中旬～8月中旬



モデルコース 北部エリア編



ヤマヨ第十八弘誠丸斉藤漁業の自社工場。自分で割ったウニをお持ち帰りまたはその場で食べることができます。

日本海の海の幸を堪能できるせたな町と農業のまちとして発展した今金町とを巡る札幌発の1泊2日コースです。水陸両用車いすでせたなの海を楽しみ、農業体験の後は歴史展示の見学やワークショップを体験。交通機関はJRと自動車（観光タクシーやレンタカー（福祉車両））を利用します。

【行程表】

1日目

- 午前：札幌駅 出発（函館方面出発の場合は 函館駅 から約1時間10分／新函館北斗駅から約50分／八雲駅から⑦まで約60km）
  - JR特急で約1時間30分
- 長万部駅 出発
  - 移動 約1時間15分（約65km）
  - ※車での移動の場合の時間と距離の目安です。
- 午後：昼食 ❶浜の母さん食事処（海鮮丼など）
- ウニの殻剥き体験 ❷ヤマヨ斉藤漁業
- 車いすで海水浴体験 ❸三本杉海水浴場
  - ドライブインわっかけ岩（お土産購入）
- 夕方：ホテル 到着 ❹温泉ホテルきたひやま

2日目

- 午前：ホテル 出発
- ミニトマト収穫体験 ❺よしもりまさば
  - 移動 約36分（約32km）
- 午後：昼食 ❻クアプラザピリカ
  - （ダムカレーやいまかね黒毛和牛など）
  - 移動
- 勾玉作り体験など ❼ピリカ旧石器文化館
  - 移動 約25分（約22km）
- 長万部駅 到着（函館方面へお帰りの場合は ※7から八雲駅まで約35km／新函館北斗駅へ約50分／函館駅 へ約1時間10分）
  - JR特急で約1時間30分
- 夕方：札幌駅 到着

※列車時刻や移動距離等は2019年7月現在のものです。
※車での移動はグーグルマップを利用した参考の時間と距離となります。
※各施設、レジャーについては休館日、実施時間等ございますので、事前にご確認ください。

行程表 ❸ 三本杉海水浴場

水に浮かぶ水陸両用車いすや診浜専用車いすを無料でレンタルできます。



行程表 ❺ よしもりまさば

国産サフォーク種を中心に、約60頭の羊を育てているよしもりまさば。
羊たちの堆肥を使ったオーガニック栽培のとても甘いミニトマトを収穫できます。



行程表 ❻ クアプラザピリカ

地元産の食材にこだわった人気のピリカコロッケダムカレーや今金黒毛和牛ステーキがおすすめです。



行程表 ❼ ピリカ旧石器文化館

旧石器の展示や、石器づくり、勾玉づくりなどの体験が楽しめます！



モデルコース 奥尻エリア編

バリアフリー対応の新造船で奥尻島へ!2008年からワイン醸造を始めたワイナリーや1993年の北海道南西沖地震の記憶を後世に伝える奥尻島津波館を見学します。
また農林業の盛んな厚沢部町の自然も満喫。歴史、自然、食を楽しめる函館発着のコースです。

【行程表】

1日目	午前	函館駅 出発	
		↓移動 約54分(約44km)	車での移動の場合の時間と距離の目安です。
	午後	BBQ 昼食❶ 道ダムオートキャンプ場 ハチャムの森	
		↓移動 約20分(約17km)	
		ヒバ爺さん散策❷ 土橋自然観察教育林	
		休憩❸ 道の駅あっさぶ	お土産購入、コロッケ、ソフトクリームなど
		↓移動 約15分(約12km)	
	夕方	ホテル 到着❹ 光林荘	
2日目	午前	ホテル 出発	
		↓移動 約22分(約15km)	
		江差港	
		↓ハートランドフェリー カランセ奥尻 2時間10分	
		奥尻港	
		↓移動 約1km)	
	午後	昼食❺ まつや食堂	
		↓移動 約23分(17km)	
		奥尻島津波館 見学❻	展望する北洋日出公園、時空間も見学
		↓移動 約20分(約14km)	
		奥尻ワイナリー 工場見学❼	
		↓移動 約35分(23km)	
	夕方	ホテル 到着❽ 国稀さくら	
3日目	午前	ホテル 出発	
		↓	
		勾玉づくり体験❾ 稲穂ふれあい研修センター	
		↓	
	午後	昼食❿ 北の砕さくらばな	
		↓移動 約15分(約11km)	
		なべつる岩 見学⓫	
		↓移動 約1km)	
		奥尻港	
		↓ハートランドフェリー カランセ奥尻 2時間10分	
		江差港	
		↓移動 1時間30分(72km)	
	夕方	函館駅 到着	

※行程例や移動距離等は2019年7月現在のものです。※フェリー運航便によって運行時間が異なります。※車での移動はグーグルマップを利用した参考の時間と距離となります。※各施設、レジャーについては休館日、営業時間等ございますので、事前にご確認ください。

行程表 ❶ 道ダムオートキャンプ場 ハチャムの森

バリアフリーコテージで家族みんなでBBQを楽しめます。



行程表 ❷ ヒバ爺さん散策 土橋自然観察教育林

デコボコの自然道を40分近く歩くと樹齢500年以上の巨樹「ヒバ爺さん」に出会えます。



行程表 ❻ 奥尻島津波館

北海道南西沖地震の被害の様子や体験談をガイドが解説。慰霊の碑であるだけでなく、島人が未来の奥尻を想う大切な空間です。



行程表 ❾ 稲穂ふれあい研修センター

歴史民俗資料展示室では奥尻島で出土した土器・石器や古い民具などを展示、勾玉作り体験や土器づくり体験を楽しめます。





モデルコース 南部エリア編



乙部町、江差町、厚沢部町、上ノ国町を巡ります。世界的民謡「江差追分」の実演を見学したり、農業体験をしたり。道の駅もんじゅの夕陽は最高に綺麗!宿泊は完全バリアフリーホテルあすなろでゆっくり温泉に浸かれます。新幹線と介護タクシーやレンタカー(福祉車両)を利用する新青森駅発着のコースです。

【行程表】

1日目

- 午前 新青森駅 出発
- JR北海道新幹線 約50分
- 木古内駅
- 移動 約50分(約42km)
  ※車での移動の場合の時間と距離の目安です。
- 午後 昼食 ❶ 道の駅もんじゅ
- 上ノ国歴史散策 ❷ 旧中村家住宅、姥神神社
- 染め物体験 ❸ 乙部町民会館
- 夕方 ホテル 到着 ❹ バリアフリーホテルあすなろ

2日目

- 午前 ホテル 出発
- 移動 約20分(約14km)
- いにしえ街道歴史散策 ❺
- 旧中村家住宅、姥神神社など
- 開陽丸記念館 見学 ❻
- 午後 昼食 ❼ お食事処えさし
- 江差追分会館・江差山車会館 見学 ❽
- 移動 約1時間(約58km)
- 新函館北斗駅
- JR北海道新幹線 約1時間
- 夕方 新青森駅 到着

※列車時刻や移動距離等は2019年7月現在のものです。
※車での移動はグーグルマップを利用した参考の時間と距離となります。
※各施設、レジャーについては休館日、実施期間等ございますので、事前にご確認ください。

行程表 ② 上ノ国歴史散策 旧中村家住宅、姥山館

歴史ガイドと共に北海道最古の民家「旧中村家住宅」や「勝山館ガイダンス施設」などを巡ります。



行程表 ④ バリアフリーホテルあすなろ

全室バリアフリールーム、車いすのまま入れる大浴場や露天風呂では入浴介助等介助サポートを受けられます。



行程表 ⑤ いにしえ街道歴史散策

かつてニシン漁と交易で栄えた江差の歴史的建造物や史跡、旧跡などを地元ガイドと巡ります。



行程表 ⑧ 江差追分会館・江差山車会館

日本を代表する民謡である「江差追分」の実演を、最100畳敷の桟敷席で満喫できます。



各エリアのおすすめスポット 江差

江差観光コンベンション協会

主要観光施設（開陽丸、追分会館・山車会館、旧中村家住宅）に介助スタッフを配置しています。



❶江差追分会館・江差山車会館





江差追分会館
江差追分の実演を堪能できる伝習演示室や本場の師匠が江差追分をわかりやすく手ほどきしてくれる追分道場がおすすめです。



江差山車会館
北海道最古の祭り「姥神大神宮渡御祭」の山車を展示。
床面もフラットで車いすの移動も安心です。

住所：江差町字中歌町193-3
電話：0139-52-0920
開館期間：通年（4月～10月 無休）
開館時間：9:00～17:00
休館日：冬季間（11月～3月）毎週月曜日・祝日の翌日、年末年始（12月31日～1月5日）

❷開陽丸記念館

江差沖で沈没した幕末の軍艦「開陽丸」を長さ約73mの実物大で復元した記念館です。船の歴史や海底から引き揚げられた遺物の展示のほか、大砲発射や帆船操作の疑似体験、引き上げた遺物の保存処理など体験メニューも充実しています。また1階への階段には昇降機が設置されています（甲板に上がるには階段のみ）。



住所：江差町字姥神町1-10 電話：0139-52-5522
開館期間：通年（4月～10月 無休） 開館時間：9:00～17:00
休館日：冬季間（11月～3月） 毎週月曜日・祝日の翌日 年末年始（12月31日～1月5日）

❸いにしえ街道

歴史的建造物や史跡、旧跡など、歴史のスポットを地元ガイドと一緒に気軽に街歩きが楽しめます。電動アシスト自転車・電動カート・ベビーカー・車いす等のレンタルもあります。





江差観光情報総合案内所
住所：江差町字姥神町1-10 電話：0139-52-0117
開館期間：通年（4月～10月 無休） 開館時間：9:00～17:00
休館日：冬季間（11月～3月） 毎週月曜日・祝日の翌日 年末年始（12月31日～1月5日）

おすすめスポット 上ノ国

上ノ国町観光協会



❶上ノ国歴史散策

咲き乱れる山野草を愛でながら、道路沿いに点在する旧笹浪家や上国寺、勝山館跡などの史跡を巡ることが出来ます。

勝山館跡ガイダンス施設
緩やかなスロープの入り口から中はフラット。車いすでの見学が可能です。勝山館を模型や映像等で楽しめます。



住所：檜山郡上ノ国町字勝山427番地
電話：0139-55-2400
開館期間：4月6日（土）～11月10日（日）※2019年
開館時間：10:00～16:00
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日

旧笹浪家住宅
（国指定重要文化財）
北海道日本海沿岸に今も残るニシン番屋の原型とも言われています。車いすで見学ができます。玄関の敷居には段差がある為、出入りの際、車いすの方は介助者が必要です。



住所：檜山郡上ノ国町字上ノ国236番地
電話：0139-55-1165
開館期間：4月6日（土）～11月10日（日）※2019年
開館時間：10:00～16:00
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日

❷道の駅もんじゅ



228号線沿いにある海沿いにある景観が美しい道の駅です。トイレは24時間利用可能（多目的トイレあり）です。2階レストランへのエレベーターはありませんが、1階にもテーブルが設置され、地元グルメが楽しめるようになりました。

住所：檜山郡上ノ国町字原歩3 電話：0139-55-3955
営業時間：9:00～19:30（4～10月）9:00～18:30（11～3月）
休館日：年末年始（12/31～1/5）
レストラン：毎週月曜定休日 ※月曜が祝日の場合は翌平日。臨時休業や時間短縮の場合あり

❸花沢温泉



入口がフラットで使いやすくなりました。源泉かけ流しの温泉で大きめの内風呂と小さめの露天風呂には手すり付き。 周辺にはキャンプ場、史跡、道の駅、釣りスポットがたくさん。思い切り遊んだ後は温泉に浸かって癒しの時間を過ごせます。

住所：檜山郡上ノ国町字勝山161 電話：0139-55-1770
営業時間：10:00～21:00
休業日：毎週火曜日（祝祭日の場合は翌日）・年末年始

各エリアのおすすめスポット 厚沢部

厚沢部町
観光協会



❶弱（よわ）ダムオートキャンプ場「ハチャムの森」



バリアフリー対応のオートキャンプ場です。センターハウス内にはシャワー施設や、洗濯設備、多目的トイレが整い、コテージA棟はエントランスをスロープ化、1階部分がフローリングになっており、車いす（レンダルあり）でも快適に利用できます。

住所：檜山郡厚沢部町字木間内60番地1
電話：0139-65-6886
予約受付：4月1日～4月25日　9:00～17:00
4月26日～9月末頃　9:00～20:00

❷道の駅あっさぶ



ジャガイモの女王メークイン発祥の地。新鮮な農産物や農産加工品のほか、毎年開催される「あっさぶメークイン・コロッケ・コンテスト」で優勝したコロッケを1年間限定で販売しています。電気自動車用充電スタンドあり。

住所：檜山郡厚沢部町緑町72-1　電話：0139-64-3738
休館日：年末年始（12/30～1/5）
開館時間：5月～10月　8:30～18:00　11月～4月　9:00～17:00

❸土橋自然観察教育林（ヒバ並さん）



自生北限となるヒノキアスナロ（ヒバ）や自生南限となるトドマツをはじめ、約560種もの植物と数多くの動物や鳥、昆虫など四季を通じて豊かな自然を楽しめます。遊歩道を40分ほど歩くと森のシンボルとなっている「ヒバ並さん」（樹齢500年以上）に出会えます。※健脚の方向けのコースとなります。

住所：檜山郡厚沢部町緑町18-1　電話：0139-67-2463

❹うずら温泉 中国料理 彩風塘



うずら温泉では「ふれあい農園」（貸農園）での農作業体験、「うずら温泉まつり」、「いも掘り体験農園」などイベントも開催しています。
併設されたレストランでは厚沢部産の新鮮野菜や、檜山管内でとれた魚介類をふんだんに使った本格広東料理が人気です。

住所：檜山郡厚沢部町館町853番地　電話：0139-65-6366
営業時間：ランチ／11:30～14:00、ディナー／17:00～21:00
休業日：毎週月曜日（月曜が祝日の場合は火曜休業）

おすすめスポット 乙部

乙部町
観光・特産品



❶バリアフリーホテルあすなろ



全館バリアフリーの宿泊施設です。客室には電動リクライニングベッドや空気清浄機があり、トイレも車いす対応です。浴室用車いすで入れる露天風呂やサウナ等が完備され、入浴や食事の介助サービスも利用できます。

住所：檜山郡乙部町字館浦494-1　電話：0139-62-3344

❷元和台海浜公園「海のプール」（バリアフリービーチ）



大きな波をガードする防波堤の内側に作られた海水浴場で、小さなお子様からお年寄りまで安心して海遊びを楽しめます。バリアフリーのトイレや更衣室、専用シャワー、海までスロープを設置し、水陸両用車いすをご用意しています。

住所：檜山郡乙部町元和
問い合わせ先：乙部町役場産業振興工労働観光係
電話：0139-62-2871

❸シコロ染め（乙部染め）体験



地域に自生する天然染料の木「シコロ（キハダ）」を利用した染色工芸です。
一つ一つのプロセスを丁寧に教えて貰いながら、ハンカチや、巾着袋を自分で染め上げます。旅の思い出に自分で作った作品が土産になるモノづくり体験です。

住所：乙部町字館浦480-5
問い合わせ先：乙部町急つきの森づくり協議会会長　鈴木裕二
電話：090-3119-3334

❹果物収穫体験



高いすから手を伸ばして届く位置におるプルーンを収穫します。もぎたてをほおばり甘さに感激。レシピを教えて貰い、お土産のプルーンで果実酒やジャム等を自宅で作り、体験が2倍楽しめます。

問い合わせ：大川農園　大川富士子
住所：乙部町字旭浜468　電話：0139-62-3672

各エリアのおすすめスポット 奥尻

奥尻島観光協会

奥尻港フェリーターミナル内にある観光案内所等で車いすや牽引式の車いす補助装置「JINRIKI」の貸し出しを行っています。



❶なべつる岩

奥尻島のシンボル。自然に形成されたもので、ドーナツ型で鍋の底に形が似ていることからその名がつきました。島に来たならば必ず写真を撮っておきたいポイントです。
普通車で10台、大型バスで3台ほど止められる駐車場があります。



住所:奥尻町字奥尻

❷奥尻島津波館



1993年に発生した北海道南西沖地震の記憶を永く後世に伝える施設として建てられました。駐車場から入口、館内の見学コースは基本的に段差がなく、お年寄りでもスムーズに移動できます。隣接する震災の慰霊碑「時空翔」と文化財「慰洋記念碑」も必見です。

住所:奥尻町字青苗36番地
電話:01397-3-1811
開館期間:4月15日～11月15日（期間中は無休）
開館時間:9:00～17:15(最終受付時間17:00)

❸奥尻ワイナリー 工場見学

日本海の潮風を受けて育ったミネラルたっぷりのブドウで醸造する奥尻島ワイン。前日までの電話予約で工場見学が可能です。車いすをご利用しての見学も可能です。テイスティングや工場限定ワインもご購入できます。



住所:奥尻郡奥尻町字湯浜300番地　電話:01397-3-1414
営業日　オンシーズン(4月下旬～10月下旬):不定休
　　オフシーズン(11月上旬～4月中旬):日曜定休日
営業時間:9:30～17:00

❹御宿きくち

完全バリアフリー対応の施設ではありませんが、マットレスを積み上げた簡易ベッドや車いすを拭く為のタオル等、おもてなしの心でお客様をもてなします。奥尻の海の幸、山の幸を堪能できる味覚の宿として人気があります。



住所:奥尻郡奥尻町字宮津11-6　電話:01397-2-2755
和室8室(全室冷暖房完備)　送迎有り(要予約)

おすすめスポット 今金

今金町観光協会



❶クアプラザピリカ

パークゴルフ場やキャンプ場、スキー場を備えた温泉リゾートです。玄関出入口に昇降機、館内に段差解消機が設置されています。お客様に少しでも快適に楽しんで頂けるようにお手伝い致します。

ピリカスキー場

障がいをお持ちの方でもブルート(大型そり)でゲレンデが楽しめます。
初めての雪でも、楽しく遊べるようスノーチューブなどを用意して待ってます!



レストランレラ

クアプラザピリカ内のレストラン。幻の今金黒毛和牛のステーキが食べられるのはここだけ!人気のダムカレーを始め今金町特産の食材が集うメニューが楽しめます。



住所:瀬棚郡今金町美利河205-1　電話:0137-83-7111
レストランレラ
　ランチ/11:30～14:00(平日)11:30～16:00(土日祝)
　ディナー/17:30～20:00　※ディナーは宿泊者のみとなります。

❷ピリカ旧石器文化館

約2万年前のものとされるピリカ遺跡から出土した石器などを展示しています。石器づくりや勾玉づくりなどの体験ができる体験学習室を備えています。※石器製作には階段を利用しての移動となります。



住所:今金町字美利河228-1　営業時間:9:30～16:30
入館料:無料
定休日:毎週月曜日(☆祝日と重なる場合は開館
　　祝日の翌日　12/1～3月31日(冬季閉)

❸交流促進センターあったからんど

今金町営の日帰り入浴施設。田園風景によく映えるオランダ風の外観が特徴で、バリアフリーの配慮がなされた館内には大きな休憩スペースがあります。

住所:今金町字今金435-270
電話:0137-82-3711
営業日
　月・火・水・金:10:00～22:00
　土・日・祝:9:00～22:00
　水:13:00～22:00
(休暇が祝日の場合9:00～22:00)
休業日:不定休



各エリアのおすすめスポット せたな

せたな観光協会



❶三本杉海水浴場（バリアフリービーチ）





町のシンボル「三本杉岩」が目の前に見える海水浴場です。バリアフリーの専用シャワー室・トイレが設置されており、駐車場～砂浜間はゆるやかなスロープが整備されています。水陸両用のビーチ車椅子を無料でレンタルできます。

住所:せたな町瀬棚区三本杉
問合せ先:せたな観光協会　電話0137-84-6205
営業時間:10:00～16:00　開設期間:7月中旬～8月中旬(無休

❷よしもりまきば



羊の飼育とお米、トマト、大豆などの有機農法を組み合わせた循環型の農場です。育った野菜を羊が食べ、その堆肥で野菜が育つという循環を作っています。暑いすでハウスの中に行くことができ、真っ赤に実ったミニトマトを自ら収穫できます。

住所:久遠郡せたな町北檜山区愛和275　電話0137-84-4188

❸農園おりざ北海道ふれあいファーム（収穫体験・フェルトクラフトづくり体験）



有機栽培や減農薬栽培の野菜、果樹等の収穫体験、動物（めん羊、ニワトリ、アイガモ、ウサギ等）とのふれあい体験、羊毛を利用したクラフト制作体験など、五感をフルに使った体験が楽しめます。

住所:久遠郡せたな町瀬棚区東大里72　電話0137-87-2716

❹温泉ホテルきたひやま



せたな名物のアワビや魚介類をはじめ北檜山の美味しさが味わえるスパホテル。ツインルーム2室と和洋室1室がバリアフリー対応。掛け流しの各種浴槽は手すりが設置されています。

住所:せたな町北檜山区後志4番地16　電話0137-84-4120

ひやま イベントカレンダー

春【4月～6月】

5月	上旬	江差	江差いにしえ夢開道	花緑行列がいにしえ街道に華をふりまく。
	第2日曜	厚沢部	館城跡まつり	桜の名所で餅子舞ショーなど賑やかな宴。
	第2日曜	せたな	玉川公園水仙まつり	水仙の名所でイベントを満喫。
	中旬～下旬	今金	春らんまん花いっぱい	30種類以上の花苗の販売。
6月	中旬	奥尻	奥尻ムーンライトマラソン	午後3時に始まり、月夜に走るマラソン大会。
	第3土・日	上ノ国	天王山まつり	たいまつ行列や歌謡ショーなど盛りだくさん。
	22・23日	奥尻	賽の河原祭	道南五霊場の一つで、法要とイベントを開催。
	27・28日	せたな	太田神社祭典	獅子舞が海上を渡御するさまは圧巻。
	下旬	厚沢部	うずら温泉&稲倉石まつり	歌謡ショーなどたくさんのイベント。

夏【7～8月】

7月	第1土・日	江差	江差かもめ島まつり	重さ500kgのメ縄を掛けかえる勇壮な行事。
	第2土・日	奥尻	室津祭	海上のイベントがたくさん。豊富な海の幸も。
	下旬	今金	24時間キャンプライブ	キャンプしながらコンサートに参加。
	下旬	今金	ピリカまつり	ダム湖でカヌーなどイベントいっぱい。
	下旬	せたな	温泉ホテルきたひやま「温泉まつり」	温泉を無料開放。ビアガーデンも。
	下旬	厚沢部	あっさぶふるさと夏まつり	世界一の巨大コロッケは必見。
	最終土曜	せたな	がっぱり海の幸フェスタ in わっためがして大成	道の駅「てっくいランド大成」で開催。アワビをまく「アワビもちまき」が大好評。
8月	第1土曜	せたな	漁火まつり	海上で花ひらく迫力の花火。
	第1日曜	乙部	元和台マリンフェスティバル	イカダこぎレースなど夏を満喫するお祭り。
	9～11日	江差	江差・姥神大神宮渡御祭	約370年前からの北海道最古のお祭り。
	14日	上ノ国	エゾ地の火まつり	上ノ国を代表するお祭り。花火大会も開催。
	14日	乙部	ふれあい交流盆踊り&花火大会	乙部漁港で盆おどりや花火大会。
	14～16日	乙部	乙部八幡神社例大祭	6台の豪華な山車が練り歩く。
	中旬	今金	今金いいとこ祭り	大地の恵みや自然を満喫できるイベント。
	最終土曜	奥尻	なべつる祭	島最大のイベント。島民あげて盛り上がる。

檜山管内７町と東京都特別区との
連携事業委託業務

２０２０年３月

株式会社 JTB　北海道事業部

目　次

第１章　事業概要 1
1-1　事業の背景・目的、事業概要 1
(1)2015 年～2018 年度の実施概要 2
(2)本年度事業の位置づけおよび事業概要 2
(3)５年間を通しての檜山エリアの入込客数等の変遷 4
第２章　OTA ふれあいフェスタ / ひやま食・観光フェア 5
1-1　ＯＴＡふれあいフェスタ 5
(1)実施概要 5
(2)実施結果 6
(3)実施結果のまとめ 13
2-2　ひやま食・観光フェア 15
(1)実施概要 15
(2)実施結果 17
(3)実施結果のまとめ 27
第３章　エリア別戦略の実施 29
1-1　檜山北部（今金町、せたな町） 29
(1)エリア別個別戦略の実施概要 29
(2)実施結果 30
(3)実施結果のまとめ 34
1-2　奥尻町 35
(1)エリア別個別戦略の実施概要 35
(2)実施結果 35
(3)実施結果のまとめ 38
1-3　檜山南部地区（江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町） 39
(1)エリア別個別戦略の実施概要 39
(2)実施結果 39
(3)実施結果のまとめ 44
第４章　人材育成研修の実施 45
4-1　北部人材育成研修 45
(1)実施概要 45
(2)研修内容 45
(3)事業者個別訪問 46
4-2　奥尻町人材育成研修 48
(1)実施概要 48
(2)研修内容 48
(3)事業者個別訪問 50
4-3　北部人材育成研修 51
(1)実施概要 51
(2)研修内容 51
(3)事業者個別訪問 53

第１章　事業概要

1-1　事業の背景・目的、事業概要

檜山管内７町は、北海道南西部の渡島半島西側に位置し、１町８千人から３千人弱の町が点在する地域で、７町の総人口は約３万６千人（平成 31 年住民基本台帳人口）である。

各町とも急激に進行する人口減少等により地域経済が衰退し、町の存続が危ぶまれる状況であるなか、交流人口や関係人口の拡大等により、移住・定住や産業基盤の強化を推進していくことが課題となっている。2016 年度には北海道新幹線が開業し、観光産業を軸とした産業振興や、利便性の向上による移住・定住の促進などが進められている。

上記に示した同じ課題を持ち、取り組みを進めている檜山管内７町は、連携しながら、東京都特別区との交流を深めることによって、地域課題を解消するための取り組みを行っている。

本事業は、檜山管内全体並びに各町及びエリアごとのイメージを活かした新たな観光商品の開発や特産品の販路拡大を行い、檜山管内経済に波及効果をもたらすことを目的として 2015 年度から行われているものである。

一過性で終わらないマーケティング戦略を推進する基盤の構築を実践していくため、各年度に明確な指針を掲げ、事業を展開してきた。

2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
戦略の策定	基盤の整備	戦略の検証と再展開	エリア別戦略の推進	ネクストステップへ
■基礎調査/現状分析 ■檜山エリアが推進すべきコンセプト/観光戦略を検討	■全体戦略およびエリア別戦略の試行 ■ホームページの多言語化等観光振興推進基盤の整備	■戦略を検証し、より実践的な戦略へとブラッシュアップ ■物販等による継続的な檜山ブランドの推進	■戦略に基づく商品造成・プロモーション等を着実に遂行 ■観光・物販両面での檜山ブランド確立に向けたファーストステップ	■地域全体での継続的なプロモーションと PDCA サイクル の進捗管理が自走化 ■「檜山ブランド」の浸透・定着を目指す

(1)2015 年～2018 年度の実施概要

2015 年度から取り組んでいる本事業は、2015 年度を「Plan」、2016 年度を「Do」、2017 年度を「Check」、2018 年度を「Action」とした「PDCA サイクル」に基づき推進してきた。

これまでの実施概要を、年ごとにまとめると、次の通りである。

これまでの取り組み

2015 年度	P	外部専門家を加えた官民協働の検討会議を開催し、資源調査･分析及びターゲット層の決定を行い、マーケティング戦略及びブランディング戦略を策定	2015 年度より、東京都大田区と連携し、「ひやま食･観光フェア」を開催 2016 年度からは、「OTA区民フェスタ」に参加 特産品のPRおよび販路拡大等に向けた取り組みを実施
2016 年度	D	2015 年に策定した戦略に基づき、アンケート･モニタリング調査を行い、その結果の整理分析を実施	
2017 年度	C	2年間の事業内容を検証し、エリアごとの戦略の見直しを図り、檜山管内のモデルとして北部2町(今金町･せたな町)の滞在型旅行商品を開発	
2018 年度	A	2017 年に見直しを図ったエリア別個別戦略を実行し、戦略に基づく人材育成研修を実施	

(2)本年度事業の位置づけおよび事業概要

PDCA サイクルによって進めてきた結果をもとに、エリア別の個別戦略を将来に向けて定着させていくため、2019 年度は、各エリアで次のような事業を行った。

①エリア別個別戦略の実行

【檜山北部】

・昨年度販売を開始した旅行商品の磨き上げを行い、プロモーション活動を実施した。また、合わせて体験プログラムの更なる磨き上げと、体験コンテンツ開発支援を行った。

【奥尻町】

・昨年度開発した体験コンテンツを活用した旅行商品のプロモーション活動を実施するとともに、新たな体験コンテンツの掘り起こしとプログラム開発支援を行った。

【檜山南部】

・昨年度テストマーケティングを実施した旅行商品の販売及びプロモーション活動を行うとともに、体験プログラム単体での販売を行っていくための支援も並行して行い、体制構築支援を実施した。

②人材育成研修の実施

・檜山エリアでの着地型体験観光を推進するため、昨年度から引き続き㈱アソビューと連携し事業者向け人材育成研修を各エリア１回実施した。

asoview!

アソビュー㈱とは、「asoview!」という「遊びのマーケットプレイス」をインターネッ上で展開している体験コンテンツ会社。日本全国 5,000 以上の提携パートナー・約 340 ジャンル・体験プラン数 17,500 以上を掲載し、体験予約プラットフォームとしては国内最大級の会社となっている。

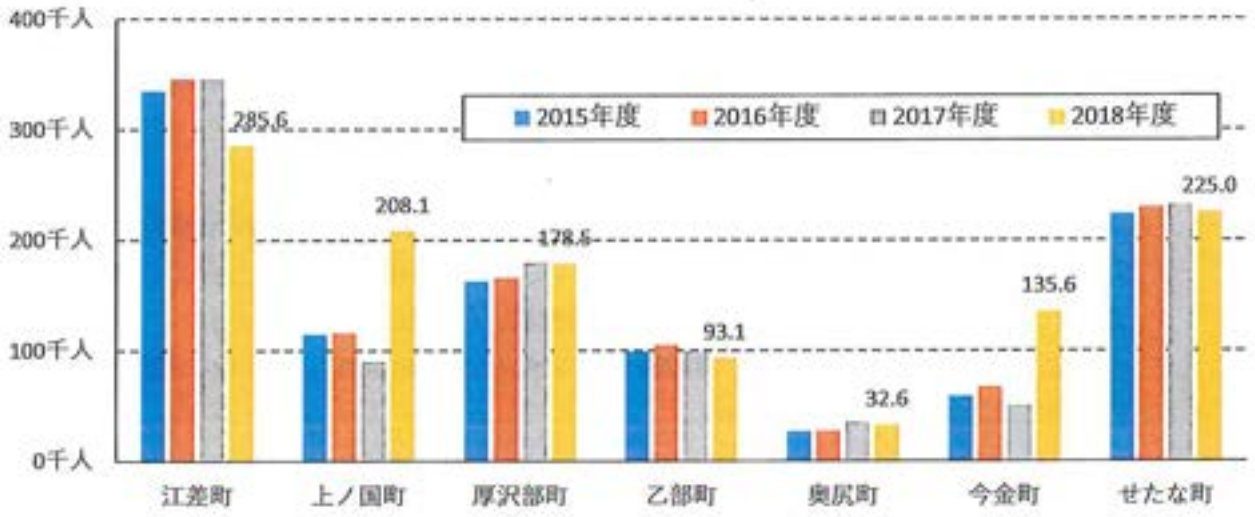
②「OTA ふれあいフェスタ」「ひやま食・観光フェア」の実施

・ひやまブランド定着に向けて、首都圏域への浸透を図るため、本事業で連携している東京都大田区で開催される「ＯＴＡふれあいフェスタ」へ参加するとともに、同区内を会場に「ひやま食・観光フェア」を開催し観光ＰＲ、特産品販売を行った。
・すでに設置している「ひやま 7 町連携ホームページ」を活用し、イベント開催等の周知や観光ＰＲ、特産品ＰＲを行った。

(3) 5 年間を通しての檜山エリアの入込客数等の変遷

事業を開始した 2015 年度から檜山管内の 7 町の観光入込客数の推移をみると、2015 年度から 2016 年度までは各町とも概ね増加傾向となっており、2017 年度は道の駅等の施設整備を行った関係で減少している町があるものの概ね増加傾向となっている。2018 年度は上ノ国町や今金町で大幅な増加となった。

入込客数



(北海道観光入込客数調査報告書)

同じく 2015 年度から檜山管内の 7 町の宿泊客延数の推移をみると、概ね 2015 年から 2017 年にかけて増加している。一方で 2018 年度は今金町を除き前年より減少傾向にあった。

宿泊客延数



(北海道観光入込客数調査報告書)

第２章　OTA ふれあいフェスタ / ひやま食・観光フェア

1-1　ＯＴＡふれあいフェスタ

ひやまブランドの定着に向けて首都圏域への浸透を図るため、本事業で連携している東京都大田区で開催される「ＯＴＡふれあいフェスタ」に参加するとともに、同地区を会場に「ひやま食・観光フェア」を開催した。

会場では、特産品の販売やスタンプラリーを通して檜山地域のＰＲに努めるとともに、来場者へのアンケート調査を行い、檜山地域の認知度や観光ニーズ等について把握した。

(1)実施概要

開催日時	令和元年 11 月 2 日(土)、11 月 3 日(日)
会場	東京都大田区平和島1－1－1　ボートレース平和島
ターゲット	東京都大田区在住のアクティブシニア、ファミリー層
来場者数	延べ32万人(2日間、4会場合計)　※昨年度より１万人増加
売上額	2日間　合計　576,100 円(参考:2018 年度 507,210 円)

①　物産コンテンツ

檜山管内の代表的な特産品を販売した。過去３年間の販売状況を考慮し、海産物・農産物・酒類の特産品販売を実施した。

②スタンプラリーへの参加

会場内で参加ブースを巡る中学生以下対象のスタンプラリーへ各町の特産品を提供した。

③観光コンテンツ

第 50 回江差追分全国大会優勝者の杉本武志氏（厚沢部町出身：東京都文京区在住)、ビクター専属の民謡歌手浅野優子のほか、２名による江差追分他５曲を披露した。

今年度は、出演者からの提案もあり職員２名のほか、江差観光みらい機構 浅見事務局長もステージに登壇し、唄の間に檜山地区のＰＲを行った。

④アンケート調査

フェア来場者を対象に、北海道新幹線の利用と檜山の観光振興に向けたアンケート調査を行った。

(2)実施結果

①物産コンテンツ

１１月２日（土）（天候：晴れ）

３日の天気が午後から雨予報であったため、朝のミーティングで売れる分は在庫を残すことなく販売することを全職員で確認し販売を実施した。また、昨年度は、販売テントの位置がメインストリート側であったが、今年度はメインストリート裏手で人通りが少なかったことから、職員同士が相談し、急遽手持ち看板等を作成し集客に努め、販売を行った。

１１月３日（日）（天候：曇り）

天気が午後３時頃から雨予報であったため、朝のミーティングで出来るだけ早く完売を目指すことを全職員で確認、昨日作成した手持ち看板をさらに追加で作成しＰＲを実施した。

幸いにも天候が崩れなかったこともあり、例年同様に土曜日より多くの来場者があり販売開始時より好調な売れ行きであった。

販売品の内容と販売状況

販売品の内容	販売状況	
	11月2日(土)(天候:晴れ)	11月3日(日)(天候:曇り)
乙部町産ホタテ	800枚(16時00分販売中止)	300枚(12時15分販売終了)
奥尻ワイン(ピノグリ) 〃（シャルドネ）	15本(15時30分販売終了、ボトル売り3本、他カップ売り) 15本(15時30分販売終了、カップ売り)	
今金町いももち	300枚(16時00分販売中止)	900 枚(15時30分販売終了)
せたな町フランクフルト	150本(16時00分販売中止)	150 本(13時30分販売終了)
厚沢部町とうもろこし	263本(16時00分販売中止)	37 本(12時15分販売終了)









②スタンプラリーへの参加

会場内で参加ブースを巡る中学生以下対象のスタンプラリーに、各町の特産品89品（1町4,000円相当）を提供し、檜山地区のＰＲに努めた。

③観光コンテンツ

第50回江差追分全国大会優勝者の杉本武志氏、ビクター専属民謡歌手浅野優子のほか2名が、江差追分他5曲を披露した。

また、職員2名で檜山地域を紹介するとともに、江差観光みらい機構 浅見事務局長もステージに登壇し、唄の間に檜山地区のＰＲ活動を実施した。





④アンケート調査

73 名の方から回答を頂いた。（昨年度は 62 名）

調査票

OTA ふれあいフェスタ『北海道檜山町村会』アンケート調査

このアンケート調査は、檜山地域の特産品の魅力発信や販路開拓等による地域力の向上や地域振興に向けて、皆様の意見を伺い、そのあり方などを検討するために実施するものです。お手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願いいたします。※回答内容はすべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。

【調査主体】	【調査協力】
北海道檜山町村会	※本アンケート調査は下記の機関に委託し、実施しています。 株式会社 JTB 北海道事業部 函館オフィス 担当：塩地・佐藤 TEL：0138-56-1711

該当する項目を○で囲んでください。

【性別】男性 ・ 女性　【年齢】10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・70代～
【同行者】一人 ・ 夫婦 ・ 家族 ・ 友人 ・ 仕事、職場関係 ・ その他（　　）
【お住まい】東京都（大田区 ・ その他）　その他都道府県（　　）

① 「OTA ふれあいフェスタ（北海道檜山町村会ブース）」をどのような方法でしりましたか？
チラシ ・ 大田区ホームページ ・ 大田区広報 ・広告 ・ ひやまホームページ ・ 来てから知った
その他（　　）

② 檜山 7 町で、訪れたことのある町はありますか？また、何回訪れたことがありますか？
上ノ国町（　回）・江差町（　回）・乙部町（　回）・厚沢部町（　回）
奥尻町（　回）・せたな町（　回）・今金町（　回）・なし

③ ②の質問で訪問目的を教えてください。また、滞在日数を教えてください
観光 ・ ビジネス ・ 帰省 ・ その他　／　滞在日数（　日間）

④ 北海道ひやまエリアでイメージするものは次のどれですか？一つお答えください。
豊富な海産物 ・ 雄大な自然 ・ 歴史的な街並み ・ 豊富な農作物

⑤ 檜山 7 町の特産品を購入できる『ひやま物産展』が開催された場合、参加したいですか？
是非参加したい ・ 時間が合えば参加したい ・ どちらでもない ・ 参加したくない

⑥ 檜山の特産品で購入したい種類は次のうちどれですか？ ※複数回答可
新鮮な海産物 ・ 新鮮な農作物 ・ ご当地お菓子 ・ 地酒（日本酒・焼酎・ワイン等）
地元特産の加工品

⑦ 檜山 7 町の特産品を購入する際、利用したい手段についてお選びください。
物産展（イベント）・ インターネット ・ 現地で ・ アンテナショップ ・ その他（　　）

⑧ 今回の OTA ふれあいフェスタで印象に残っているブース・商品を教えてください。
印象に残っているブース・商品（　　）

⑨ ⑧の質問でその理由を教えてください。（　　）

⑩ 今回のフェスタ（北海道檜山町村会ブース）の感想をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました！！

回答者の基本属性

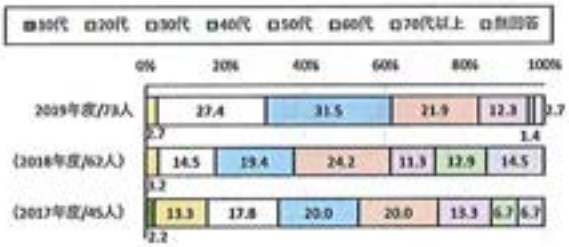
・性別については、男性が 41.1%、女性が 52.1%で、女性がやや多くなっている。

○2018 年度は男性の割合が高かったが、2019 年度は 2017 年度と同じく女性の割合が高くなっている。



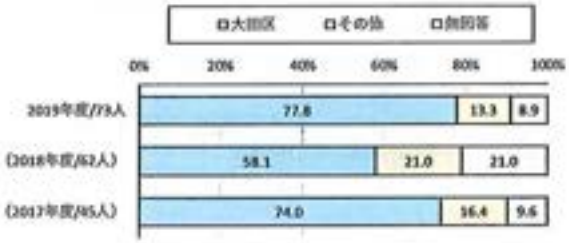
・年齢については、40 代が 31.5%で最も多く、30 代（27.4%）が続く。

○2017 年度、2018 年度と比較すると、30 代や 40 代の割合が高くなっている。



・住まいについては、開催地である大田区が 77.8%と約 8 割を占める。

○2018 年度は大田区の割合が低まったが、2019 年度は 2017 年度とほぼ同率となっている。



・同行者については、家族が 53.4%と約半数を占める。

○2017 年度、2018 年度と比較すると、家族や夫婦の割合が高くなっている。



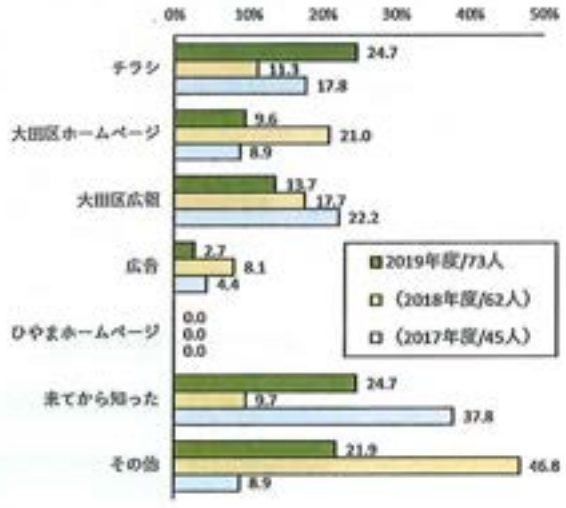
設問別調査結果

問 1　「OTA ふれあいフェスタ（北海道檜山町村会ブース）」をどのような方法で知りましたか？

・「チラシ」と「来てから知った」が同率（24.7%）で最も高く、「その他」（21.9%）が続く。

・その他の内容で最も多かったのは「毎年度来ている」という回答であった。

○2017 年度、2018 年度と比較すると、「チラシ」の割合が最も高くなっている。



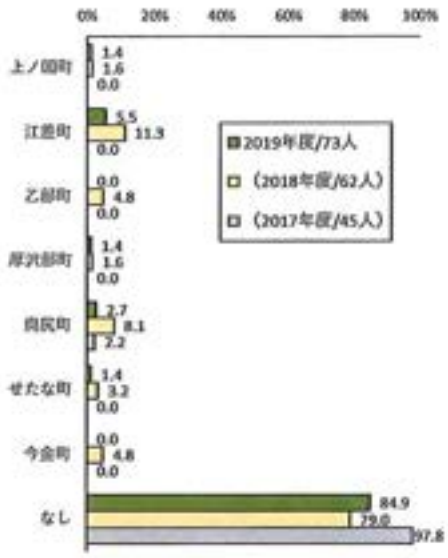
「その他」の記載内容　（　）の数字は回答者数

いつも来ている、毎年度来ている（6）
去年度もきた
出店者から、スタッフから（2）
友人
知人が檜山にいる
ネットニュース
区職員

問２　檜山７町で、訪れたことのある町はありますか？また、何回訪れたことがありますか？

・「江差町（5.5%）」が最も高く、「奥尻町（2.7%）」が続く。

○2017 年度、2018 年度と比較すると、いずれの町も回答率は伸びていない。



【訪れた回数】

江差町：1回（3人）、20回
奥尻町：1回（3人）
せたな町：1回
上ノ国町：20回
厚沢部町：5回

問３　問２の質問で訪問目的を教えてください。また、滞在日数を教えてください

・観光（3人）
・観光（滞在日数3日間）
・その他（3人）
・ビジネス（滞在日数各1日間）
・滞在日数（2日間）

問４　北海道ひやまエリアでイメージするものは次のどれですか？一つお答えください。

・「雄大な自然（42.5%）」が最も高く、「豊富な海産物（35.6%）」が続く。

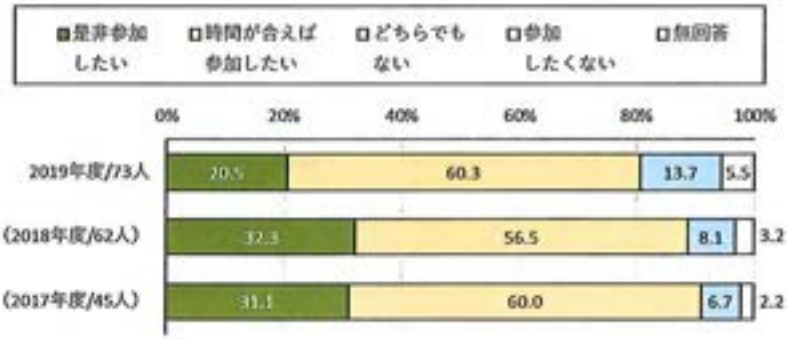
○2017 年度、2018 年度と比較すると、「豊富な海産物」は年々割合が低くなる一方、「雄大な自然」は年々高くなっている。



問５　檜山７町の特産品を購入できる『ひやま物産展』が開催された場合、参加したいですか？

・「時間が合えば参加したい（60.3%）」が約6割を占める。

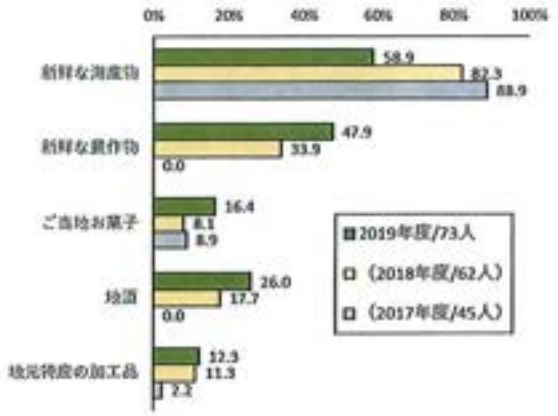
○2017 年度、2018 年度と比較すると、「是非参加したい」の回答率が低くなり、「どちらでもない」が高くなっている。



問６　檜山の特産品で購入したい種類は次のうちどれですか？

・「新鮮な海産物（58.9%）」と最も高く、「新鮮な農産物（47.9%）」が続く。

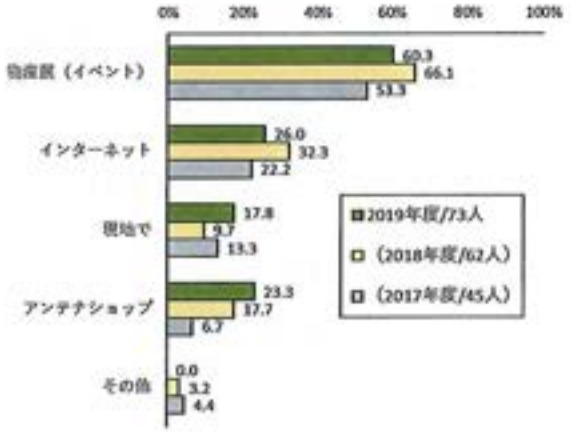
○2017年度、2018年度と比較すると、「新鮮な海産物」の回答率が低くなる一方、それ以外の項目が高くなっている。



問７　檜山７町の特産品を購入する際、利用したい手段についてお選びください。

・「物産展（イベント）（60.3%）」が最も高く、「インターネット（26.0%）」、「アンテナショップ（23.3%）」と続く。

○2017年度、2018年度と比較すると、「アンテナショップ」が年度々高まっている。



問８　今回のOTAふれあいフェスタで印象に残っているブース・商品を教えてください。

問９　問８の質問でその理由を教えてください。

印象に残っているブース・商品	印象に残っている理由
北海道のブース（2）	海産物、フランクなどおいしそう
北海道ひやま（2）	美味しそうだから 昨年ワインがおいしくボトルで買ったから
ひやまのフランクフルト（2）	2年前おいしかったから
北海道・いももち	おいしい！
ほたて・かき	―
ほたて	東京だとなかなか食べられないから
焼きホタテ	身が大きくておいしそう
蒸しカキ	―
カキ	好きだから
ここのホタテと東松島のむしがき	美味しいから
焼とうきび	未回答
牛タン串・カキ・ほたて・とうもろこし	おいしい
秋田（2）	秋田出身だから
長野　東御	親しみがある
菊づし（なすの漬物）	前回購入し美味だったので
手作りパン・のり	―
横手焼きそば・ひやまとうもろこし	おいしい
浦霞	日本酒を買いたかった
にじのステージ	―

問 10　今回のフェスタ（北海道檜山町村会ブース）の感想をご自由にお書きください。

・いい香りにさそわれました
・いつも来てます。まだ来たばかりです
・海の幸はうれしいです
・おいしいものをたくさん食べる
・おいしそうで楽しみにしています（ホタテやき）
・美味しそうなにおいがたまりませんでした
・全て美味しそうで迷いました
・食べものにひかれました
・会場を一周した中で、いちばん魅力的だったので行列していましたが並んでしまいました！食べるのが楽しみです。ホタテ・ワイン・とうもろこし
・とうもろこしがおいしそうだったので並んだ
・初めてですがホタテを買います
・ホタテおいしそう
・ホタテが安い！おいしそう！！
・ホタテはこれからなのでたのしみです
・ホタテ、ワインがおいしかった
・ワインとセットがうれしい
・これからたべるのでたのしみです
・毎回楽しみにしております
・また来年も来てください
・good.
・It's good

(3)実施結果のまとめ

大田区協力のもと、昨年度から引き続きテント２張りでの販売を実施した。

販売区画が昨年度のメインストリート側から競艇場入り口側へ変更となり、昨年度と比べると人通りが少ない場所での販売となったが、昨年度よりも販売額を伸ばすことができた。

販売品は昨年から引き続きホタテといももち、奥尻ワインに加え、今年度は厚沢部町のトウモロコシを追加した。

販売状況としては、乙部町ホタテは例年継続して販売を行ってきたこともあり、リピーターのお客様含め２日目の12時頃には完売となった。奥尻ワインはボトル販売が好調で、カップ売り含め１日目で販売終了となった。せたな町フランクフルト、厚沢部町とうもろこしも２日目の昼頃には完売、今金町のいももちも15時頃には完売と、すべての商品で好調な売れ行きであった。販売手法として、ワインといももちをセットで販売するなどの工夫を行い、売り上げ UP に貢献することができた。厚沢部町とうもろこしは、昨年度実施した「じゃがいもの詰め放題」から変更し販売が伸びるか不安だったが、北海道産とうもろこしは東京で潜在的に人気があることが分かり、しょうゆ味を付けて「焼きとうもろこし」として販売したことも効果的となり、「ひやまエリアには新鮮な食材がある」という食のイメージを海産物・農産物ともにバランス良くＰＲすることができた。

各販売品の状況

ホタテ	継続販売した結果、人気商品となり、認知度が定着してきた。 檜山の物産ブランドの向上につながっており、「ひやま＝新鮮な海産物」のイメージ定着に貢献している。
ワイン	今年度は他商品とのセット販売が好調な売れ行きとなり、早々に完売となった。海産物・農産物以外のひやまの魅力を伝える重要な商品のひとつなっており、ボトル販売含めリピーターのお客様も増え知名度が定着してきた。
いももち	２枚でのセット販売が好調な売れ行きとなり、購入者もファミリー層から高齢者まで幅広い年齢層の方が購入されていた。 手軽に食べることができる点や、「今金町男爵」を使っていることが支持された。
とうもろこし	昨年度の「じゃがいも詰め放題」に代わって初めて販売した商品であったが、しょうゆ味を付け焼き目をいれた販売方法が功を奏し、人気の商品となった。継続販売を実施していくことで更に販売を伸ばしてくことが可能な商品となった。

過去３年間継続的に出店を実施し、販売品を海産品・農産品ともにバランスよく PR を行ってきた結果、売り上げを年々伸ばすことができ「北海道ひやま」という知名度の定着を図ることができた。また、特産品だけではなく、ステージ上での江差追分実演や、ＰＲ活動などを通し、食の魅力に加えて、豊かな自然や深い歴史のあるエリアであることも周知することができた。

また、アンケート結果から、ひやまエリアのイメージとして、海産物だけでなく農産物など他のイメージを持つ人の割合も高まり、買いたいものについても、農産物やお菓子、地酒などを期待する声も高まっていることが分かった。さらに、インターネット販売だけなく、物産展やアンテナショップなど、直接見て買うことができる機会を望む声が高まっていることも分かった。

更なる檜山物産の知名度向上、販売拡大を図っていくためには、出店機会を増やすことに加え、販売商品の種類をバランス良く増やしながら、継続して実施していくことが重要といえる。

2-2　ひやま食・観光フェア

令和２年２月22(土)、23日(日)に「北海道ひやま　食・観光フェア」(東京都大田区)において、観光ＰＲ、特産品販売を行った。

あわせて、北海道新幹線の利用と檜山の観光振興に向けたアンケート調査を行った。

なお、厚沢部町は新型コロナウィルスの影響で不参加となった。

(1)実施概要

開催日時	令和２年２月22日(土)、２月23日(日) 開催時間: 22日　駅前広場 10:00～16:00　７階催事場　10:00～21:00 23日　駅前広場 10:00～16:00　７階催事場　10:00～19:00
会場	東京都大田区西蒲田7丁目69番1号 東急プラザ蒲田７階イベントスペース及び蒲田駅西口駅前広場
ターゲット	東京都大田区在住のアクティブシニア、ファミリー層 およびJR蒲田駅周辺での買い物客
来場者数	延べ2,700人(概算数値)（参考:2018年度3,300人）
購入客数	延べ725人（参考:2018年度延べ936人）
売上額	2日間　合計　280.9万円(参考:2018年度301.4万円)

①物産コンテンツ

檜山管内の特産品を「食」を中心に販売した。

また、特産品を景品とした抽選会を実施し、購入金額2,000円ごとに１回抽選を行った。

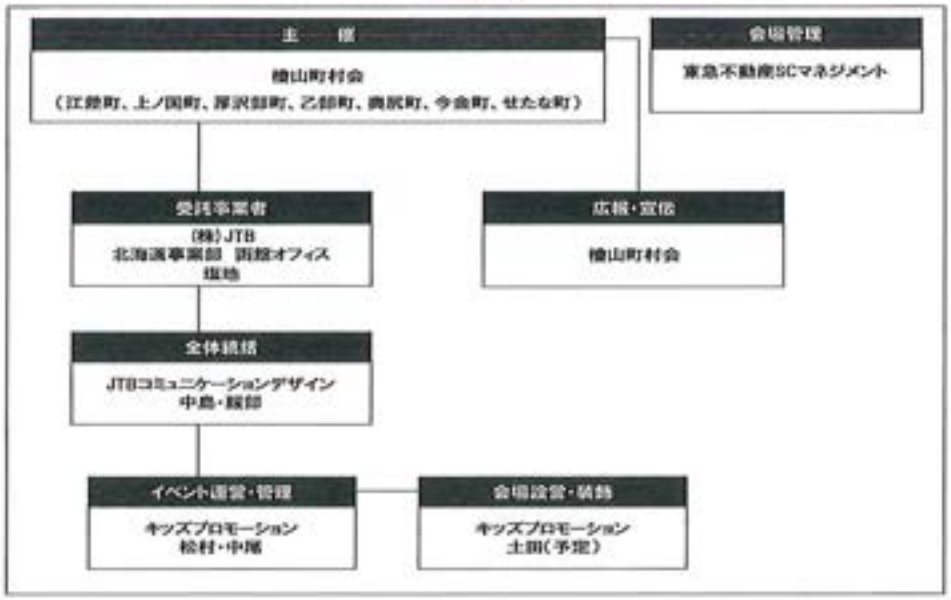
②観光コンテンツ

檜山の魅力を紹介するブースを設置し、ポスターを掲示のうえ、パンフレットを配布するとともに、ゆるキャラを配置した。

③アンケート調査

フェア来場者を対象に、北海道新幹線の利用と檜山の観光振興に向けたアンケート調査を行った。

実施体制



フェア開催にあたっては、事前にチラシの配布、「旅せよ、ひやま」ホームページでの告知を行うとともに、当日のチラシ配布、館内放送、屋外サイン等で誘客を行った。

事前	大田区・東急プラザ蒲田にてチラシ事前配布 大田区　各施設への掲示 大田区幹部職員会議での配布 蒲田西口商店街振興組合　各店舗への配布 蒲田駅周辺でのチラシ配布（開催日の２週間前・１週間前の土日、２日前及び前日）
当日	屋外サイン（懸垂幕・駅構内）の掲示 館内放送にて情報周知 西口広場にてチラシ配布

チラシ



(2)実施結果

①物産コンテンツ

2019 年度　売上額（※10%割引前）

	1日目	2日目	計
東急プラザ蒲田 7F	128.4 万円	112.1 万円	240.5 万円
駅前広場	20.1 万円	20.3 万円	40.4 万円
計	148.5 万円	132.4 万円	280.9 万円

販売数量実績（上位 30 品目）

2 月 22 日(土)		
順位	町 名	商品名
1	江差町	五勝手屋羊羹（ミニ）
2	今金町	マフィン
3	今金町	今金男しゃくポテト
4	乙部町	ゆり最中
5	奥尻町	キューブクッキー
6	奥尻町	粒うに
7	今金町	今金男しゃくポテト
8	乙部町	百合根
9	乙部町	百合根のパイ
10	せたな町	黒豆スナック
11	今金町	いまかね男爵いも
12	上ノ国町	かたこもち
13	江差町	鮭の切り身
14	江差町	五勝手屋羊羹（丸）
15	上ノ国町	カミゴンどら焼き
16	せたな町	スカモルツァスモーク
17	上ノ国町	煮タコ
18	江差町	五勝手屋羊羹（丸）
19	せたな町	ポークマンハンバーグ
20	江差町	だいこん漬物(醤油)
21	今金町	キャロットケーキえみな
22	上ノ国町	浜の母さんの塩辛
23	江差町	五勝手屋羊羹（ミニ）
24	江差町	だいこん漬物（酢）
25	江差町	ゆでタコ
26	乙部町	幻の黒千石大豆も
27	乙部町	ゆり根ぷりん
28	乙部町	鯖の缶詰（水煮）
29	上ノ国町	ほっけ開き M
30	上ノ国町	ほっけ開き 2 尾入

2 月 23 日(日)	
町 名	商品名
奥尻町	キューブクッキー
今金町	マフィン
せたな町	丸ニプリン
上ノ国町	カミゴンどら焼き
せたな町	飲むヨーグルト プレーン
乙部町	百合根
江差町	五勝手屋羊羹（ミニ）
奥尻町	粒うに
乙部町	百合根のパイ
上ノ国町	かタコもち
乙部町	ゆり最中
せたな町	黒豆スナック
今金町	いまかね男爵いも
今金町	今金男しゃくポテト
今金町	今金男しゃくポテト
上ノ国町	ほっけ開き M
せたな町	ポークマンハンバーグ
上ノ国町	浜の母さんの塩辛
乙部町	するめの塩辛
せたな町	飲むヨーグルト ブルーベリー
せたな町	飲むヨーグルト ストロベリー
江差町	だいこん漬物（酢）
乙部町	鯖の缶詰（みそ煮）
江差町	だいこん漬物(醤
せたな町	スカモルツァスモーク
乙部町	幻の黒千石大豆も
今金町	キャロットケーキえみな
江差町	五勝手屋羊羹（丸）
乙部町	鯖の缶詰（水煮）
上ノ国町	煮タコ

販売金額実績（上位 30 品目）

2 月 22 日（土）		
順位	町名	商品名
1	奥尻町	粒うに
2	奥尻町	お買得ｾｯﾄ
3	乙部町	おとべのはちみつ
4	奥尻町	奥尻ﾜｲﾝﾁｰｽﾞ ｾｯﾄ
5	江差町	ゆでﾀｺ
6	奥尻町	ｷｭｰﾌﾞ ｸｯｷｰ
7	乙部町	するめの塩辛
8	江差町	五勝手屋羊羹(丸)
9	今金町	いまかね男爵いも
10	奥尻町	煮つぶ
11	江差町	五勝手屋羊羹(ﾐﾆ)
12	乙部町	ゆり最中
13	上ノ国町	煮たこ
14	乙部町	酢いか
15	奥尻町	OKUSHIRI ﾒﾙﾛｰ赤
16	せたな町	ｽｶﾓﾙﾌｧｽﾓｰｸ
17	江差町	鬼ｴﾋﾞ(中)
18	乙部町	ｵﾄﾋﾞｱﾝﾎﾜｲﾄ
19	乙部町	ゆり根ぷりん
20	江差町	ﾎｯｹﾌﾗｲ
21	乙部町	するめの塩辛
22	せたな町	瀬棚海苔(大判)
23	今金町	ﾏﾌｨﾝ
24	奥尻町	OKUSHIRI ﾋﾞｰﾉﾜｰﾙ
25	乙部町	おとべのはちみつ
26	江差町	ﾏﾙﾐの焼き豚
27	江差町	五勝手屋羊羹(詰)
28	今金町	今金男しゃく黒毛（中辛）
29	江差町	鮭の切り身
30	上ノ国町	かたこもち

2 月 23 日（日）	
町名	商品名
奥尻町	粒うに
奥尻町	お買得ｾｯﾄ
乙部町	おとべのはちみつ
乙部町	するめの塩辛
奥尻町	ｷｭｰﾌﾞ ｸｯｷｰ
今金町	いまかね男爵いも
上ノ国町	煮たこ
上ノ国町	寒のり
江差町	ゆでﾀｺ
せたな町	丸ﾆﾌﾞﾘﾝ
江差町	五勝手屋羊羹(ﾐﾆ)
上ノ国町	調理済みｺﾞｯｺ
奥尻町	奥尻ﾜｲﾝﾁｰｽﾞ ｾｯﾄ
乙部町	ｵﾄﾋﾞｱﾝﾍﾟｰﾙｴｰﾙ
奥尻町	OKUSHIRI ﾜｳﾞｧｲ
乙部町	ｵﾄﾋﾞｱﾝﾎﾜｲﾄ
乙部町	ｵﾄﾋﾞｱﾝ IPA
せたな町	ｽｶﾓﾙﾌｧｽﾓｰｸ
上ノ国町	ほっけ開き M
江差町	五勝手屋羊羹(丸)
奥尻町	煮つぶ
今金町	ﾏﾌｨﾝ
今金町	今金男しゃく黒毛（中辛）
今金町	今金男しゃく黒毛（辛口）
奥尻町	OKUSHIRI ﾋﾞｰﾉﾜｰﾙ
上ノ国町	かたこもち
江差町	鮭ﾄﾊﾞ小
江差町	いか飯
上ノ国町	乾燥白きくらげ
乙部町	おとべのはちみつ







② 観光コンテンツ

ブースやポスター、パンフレット、ゆるキャラとの交流などを通して檜山エリアをＰＲすることができた。







③アンケート調査

フェアの来場者を対象に、北海道新幹線の利用意向、北海道旅行への期待、檜山の認知度などに関するアンケート調査を行った。調査方法は、檜山の観光ＰＲブースにおいて、来場者にアンケートの記入を依頼する形で行い、２日間で合計 265 名の方から回答を頂いた。

回答者の基本属性

・男性が 93 人（35.1%）、女性が 156 人（58.9%）であり、女性の割合が高い。

○過去４年の開催分と比較すると、H30 まで男性が 30%台、女性が 60%台であったが、今年度は女性が 60%を切り、男女の差が縮まった。



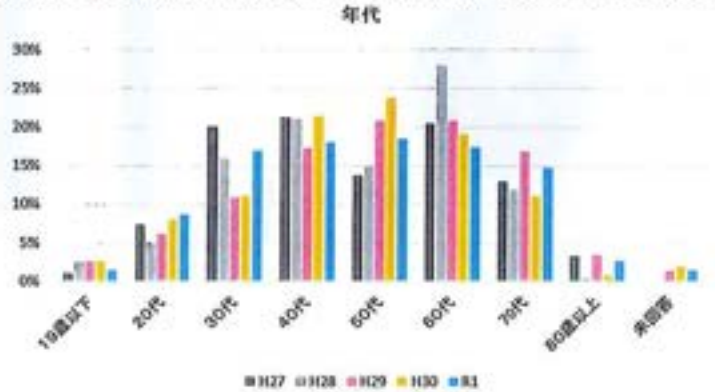


・年代は 19 歳以下４人（1.5%）、20 代 23 人(8.7%)、30 代 45 人(17.0%)、40 代 48 人(18.1%)、50 代 49 人(18.5%)、60 代 46 人(17.4%)、70 代 39 人(14.7%)、80 歳以上７人(2.6%)。

・30 代・40 代・50 代・60 代がそれぞれ 17～18%台であり、全体の約７割を占める。

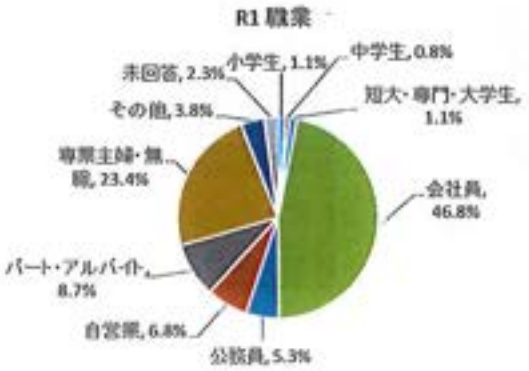
○過去４年の結果と比較すると、今年度は来場者の年齢層が比較的高く、30～60 代がほぼ同率だったため、年代の差がこれまでよりも小さく、70 代と 80 歳以上の割合は昨年よりも高くなった。

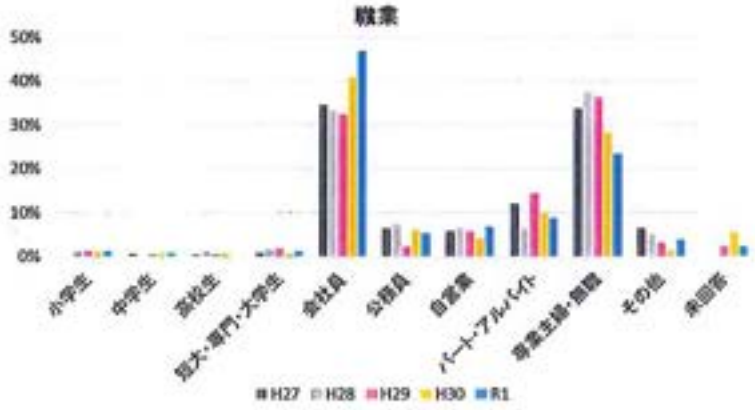




・職業は、小学生３人（1.1%）、中学生２人（0.8%）、短大・専門・大学生 3 人(1.1%)、会社員 124 人(46.8%)、公務員 14 人(5.3%)、自営業 18 人(6.8%)、パート・アルバイト 23 人(8.7%)、専業主婦・無職 62 人(23.4%)、その他 10 人(3.8%)であった。高校生の回答はなかった。

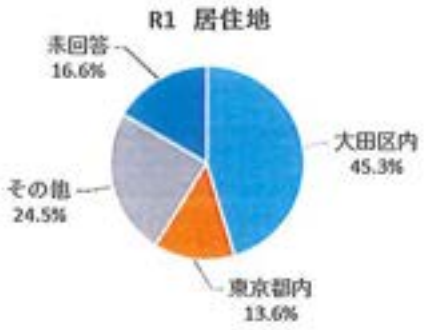
○過去４年の結果と比較すると、今年度は、会社員の構成比が最も高くなっている。

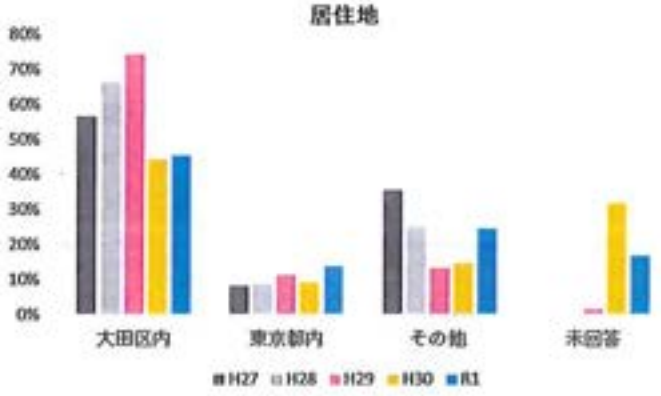




・居住地は、大田区内 120 人(45.3%)、東京都内（大田区を除く）36 人(13.6%)、その他 65 人(24.5%)であった。

○過去４年の結果と比較すると、その他が昨年よりも高くなったものの、昨年とほぼ同様の回答傾向である。



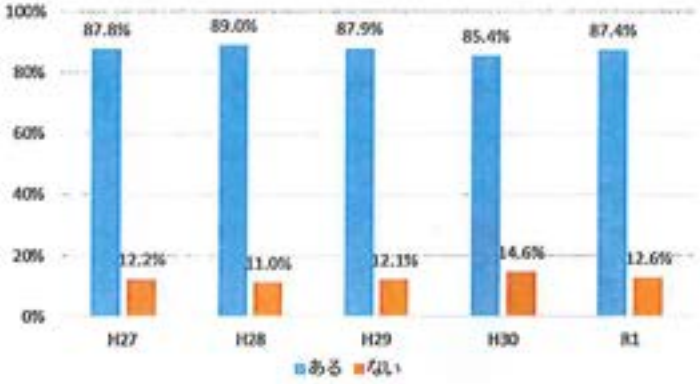


北海道旅行に関する意向

・北海道を訪れた経験は、「行ったことがある」が 228 人（87.4%)、「行ったことがない」が 33 人(12.6%)であった。

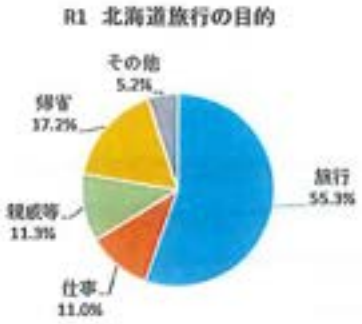
○過去４年の結果と比較すると、回答傾向は同じである。





・北海道を訪れた目的は、旅行 161 人(55.3%)、帰省 50 人 (17.2%)、親戚・知人等を訪問 33 人(11.3%)、仕事 32 人(11.0%)となっている。

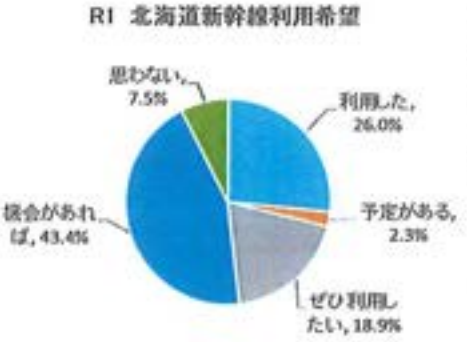
○昨年と比較すると、回答傾向はほぼ同様である。

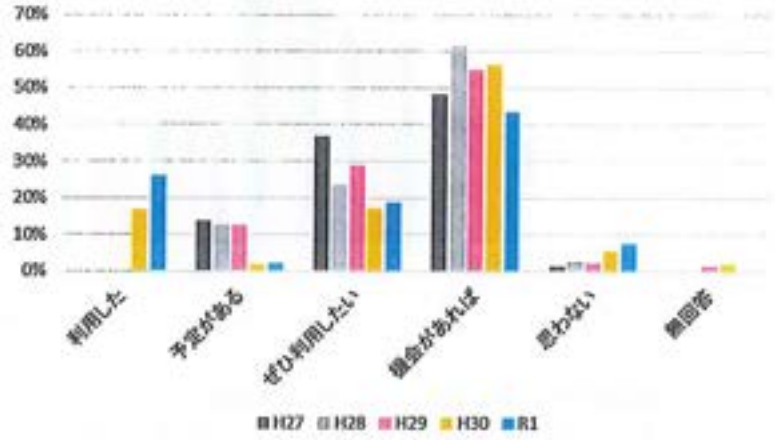




・北海道新幹線の利用の有無については「利用したことがある」が 69 人(26.0%)、「思わない」が 20 人(7.5%)。最も多かったのは「機会があれば利用したい」が 115 人(43.4%)で、「ぜひ利用したい」が 50 人(18.9%)、「利用する予定がある」が 6 人(2.3%)となっている。

○過去 4 年の結果と比較すると、「機会があれば」は昨年と比べて減少し、「利用したことがある」は昨年よりも増加している。

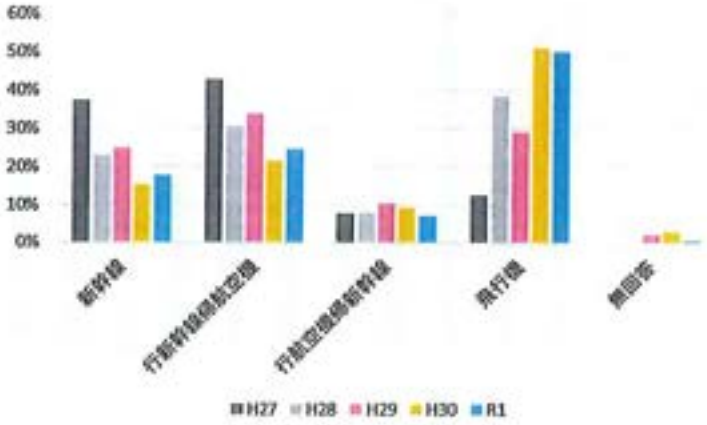




・北海道へ旅行する場合に利用したい交通機関として、「往復ともに飛行機」133 人(50.2%)が最も多く、約半数を占める。次いで、「往路は新幹線、復路は飛行機」が 65 人(24.5%)、「往復とも新幹線」47 人(17.7%)、「往路は航空機、復路は新幹線」19 人(7.2%)と続く。

○過去 4 年の結果と比較すると、昨年と同様に往復飛行機の割合が高くなっている。





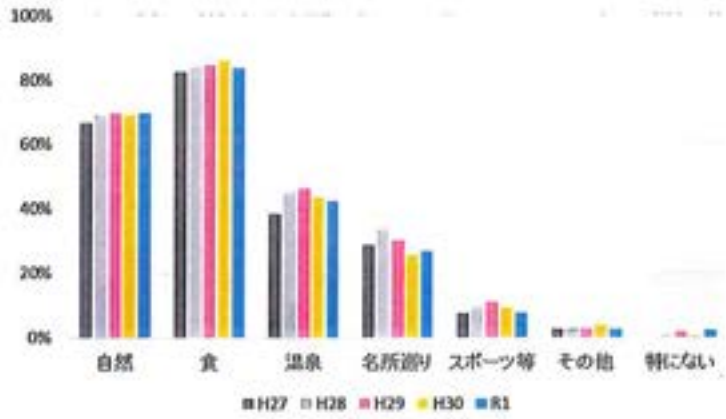
・北海道旅行に期待するものとして、食 222 人(83.8%)が最も多く、次いで、自然 185 人(69.8%)、温泉 112 人(42.3%)、名所巡り 71 人(26.8%)、スポーツ・アクティビティ 21 人(7.9%)と続く。

・男女別で比較すると、自然、スポーツ・アクティビティは男性、食、温泉、名所巡りは女性の回答率が高い。

○過去４年の結果と比較すると、概ね同様の回答傾向になっている。







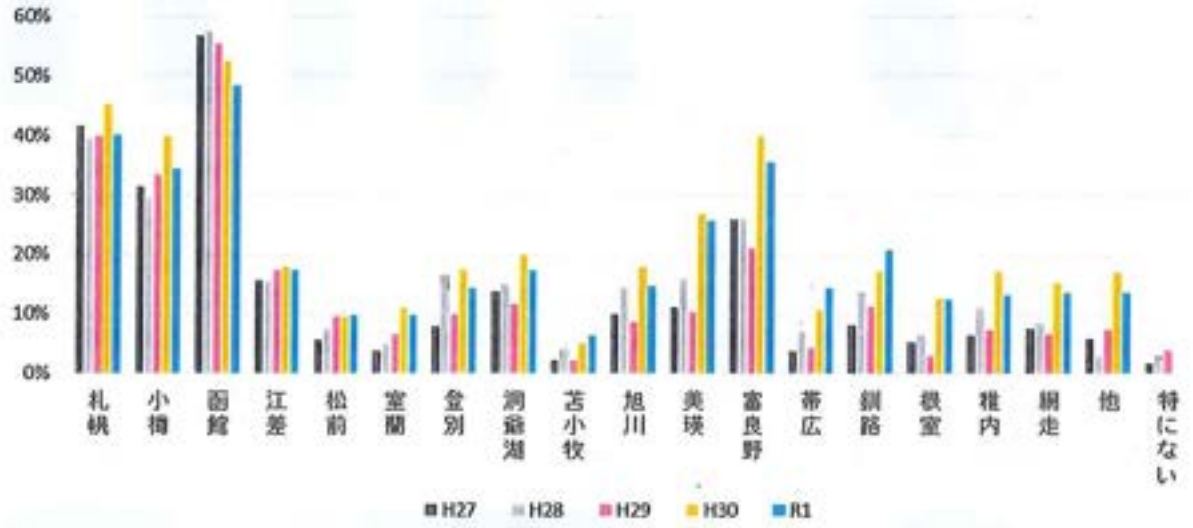
・北海道旅行で行きたいところは、函館 128 人(48.3%)が最も多く、次いで、札幌 106 人(40.0%)、富良野 94 人(35.5%)、小樽 91 人（34.3%）と続く。

・男女別で比較すると、すべてにおいて女性の回答率が高く、小樽、函館、美瑛、富良野は特に女性の方が高く、男女の差が目立つ。

○過去４年の結果と比較すると、第１位が函館、第２位は札幌という順位は変わらないが、第３位については昨年小樽と富良野が同率となり、今年度は富良野が第３位となっている。



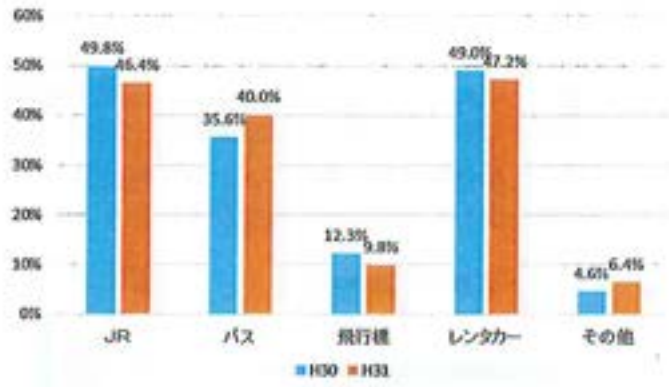




・北海道内で利用する移動手段としては、レンタカーが 125 人(47.2%)で最も高く、僅差で JR が 123 人(46.4%)で続く。次いで、バス 106 人(40.0%)、飛行機 26 人(9.8%)となっている。

○昨年と比較すると、大きな差は見られないが、JR、飛行機、レンタカーがやや減少し、バスがやや増加している。

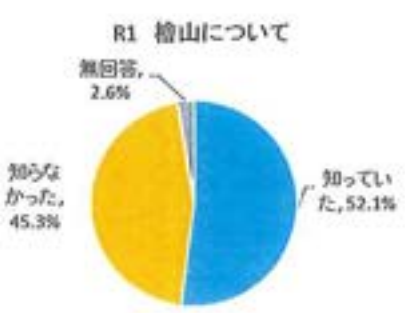


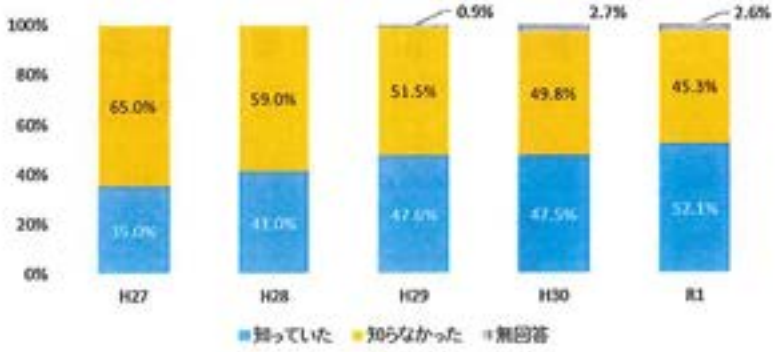


北海道檜山について

・北海道檜山という地域について、「知っていた」が 138 人（52.1%)、「知らなかった」が 120 人(45.3%)であった。

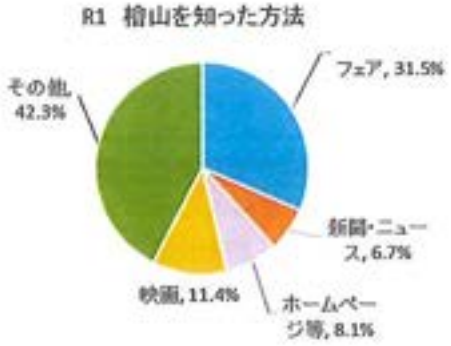
○過去４年の結果と比較すると、「知っていた」と回答した方の割合が今年度半数をこえ、徐々に知名度が伸びていることが伺える。





・檜山を知っていたと回答した方のうち、知った経緯としては、その他が 63 人（42.3%）で最も高く、本フェア 47 人（31.5%)、映画・テレビ番組 17 人（11.4%）と続く。

○昨年度と比較すると、その他が高くなっており、今年度はその内訳として、道南出身である、知人がいるなどの回答が多かった。

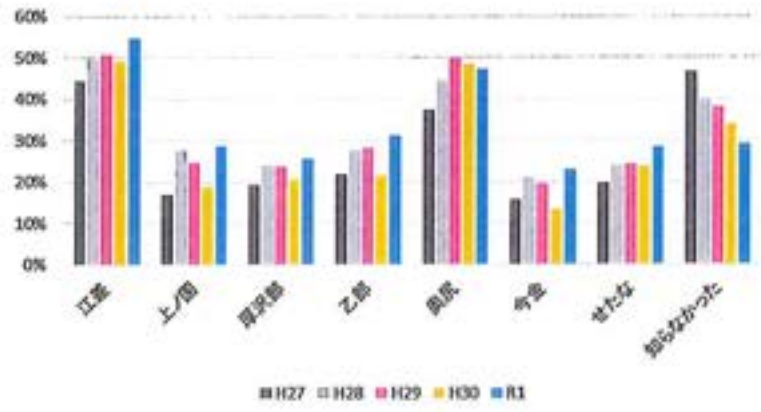




・檜山７町のうち、知っているという回答が最も多かったのは江差町が 145 人(54.7%)で最も多く、奥尻町 125 人(47.2%)、乙部町 83 人(31.3%)と続く。

○過去４年の結果と比較すると、奥尻町以外の町ではこれまでよりも回答率が高くなっている一方、「知らなかった」は年々低くなっており、徐々に認知度が高まっていることが伺える。

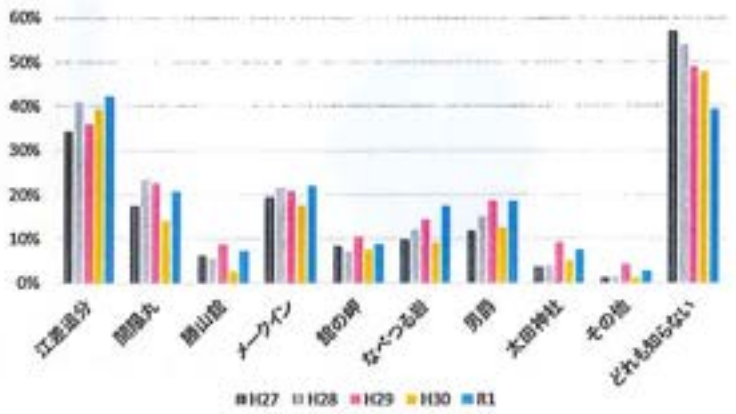




・檜山管内の観光施設・名物等のうち、知っているという回答が最も多かったのは江差追分が 112 人(42.3%)で最も多く、メークイン 58 人(21.9%)、開陽丸 55 人(20.8%)と続く。

○過去 4 年の結果と比較すると、多くの項目で知っているという回答率が高くなっている一方、「どれも知らない」は年々低くなっており、徐々に認知度が高まっていることが伺える。

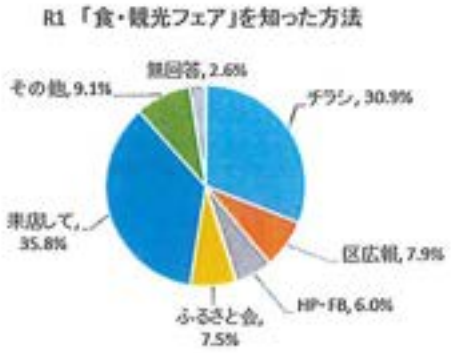


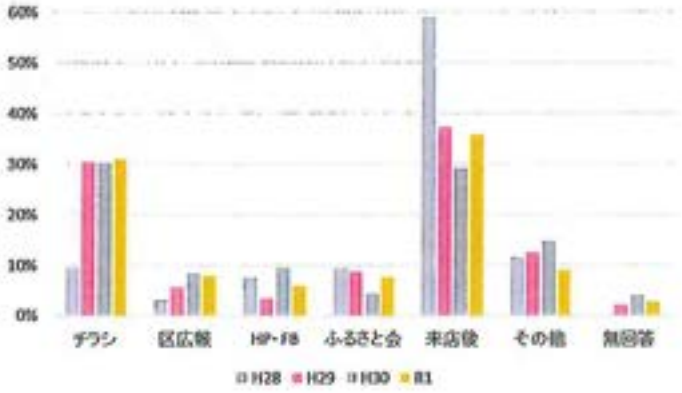


「食・観光フェア」について

・「食・観光フェア」を知った方法としては、来店してから知ったが 95 人(35.8%)が最も多く、チラシ 82 人(30.9%)、その他 24 人 (9.1%)、区の広報 21 人 (7.9%)、ふるさと会からの案内 20 人 (7.5%)、ホームページ・フェイスブック 16 人(6.0%)となっている。

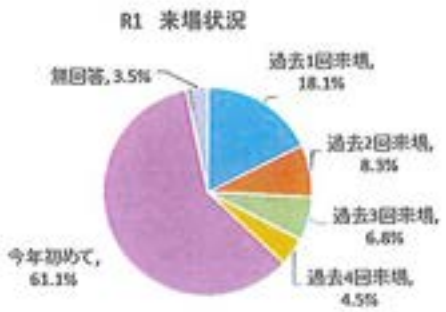
○過去 4 年の結果と比較すると、H29 以降は概ね同様の回答傾向である。

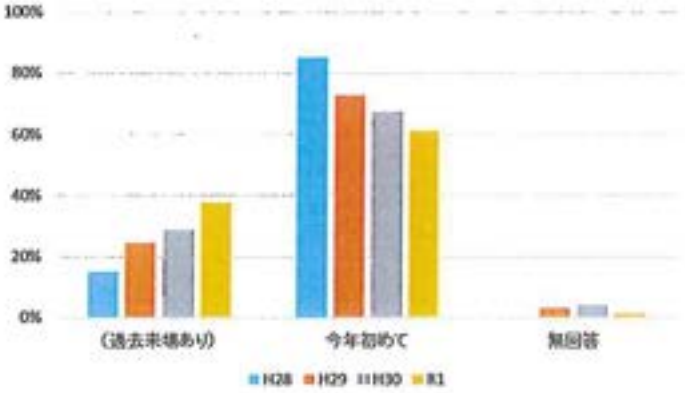




・「食・観光フェア」への来場状況について、今回初めて来場した方が 162 人(61.1%)であり、過去 1 回来場した方が 48 人(18.1%)、過去 2 回来場した方が 22 人(8.3%)と続く。

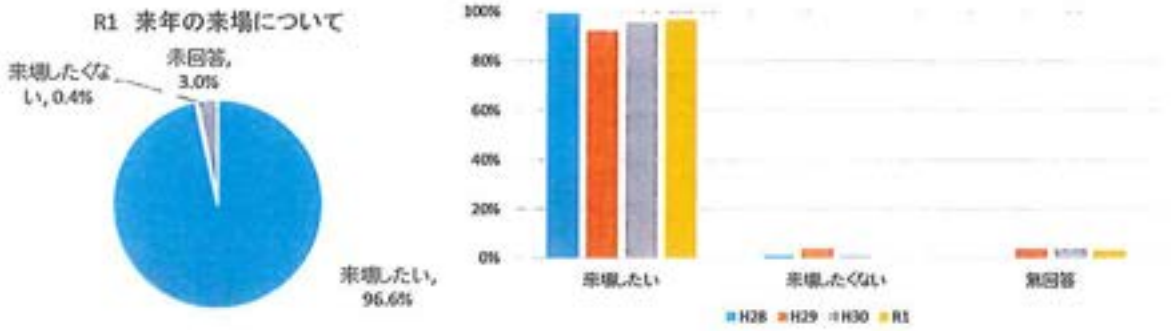
○過去 4 年の結果と比較すると、過去に来場したという回答率が年々高まっている。



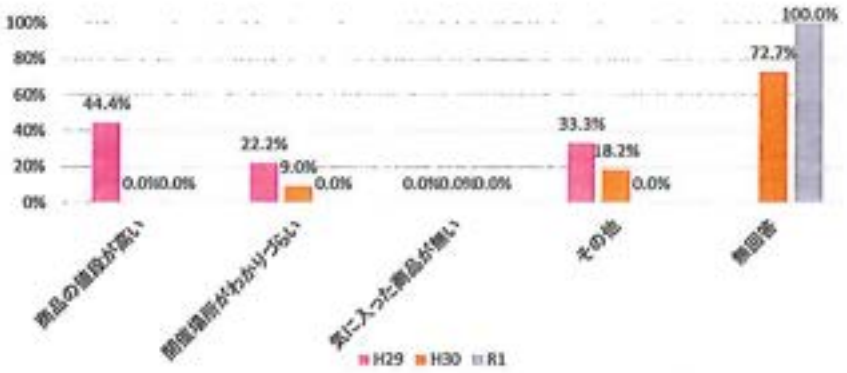


・来年の「食・観光フェア」への来場意向について、「来場したい」と回答した方は256人(96.6%)で、「来場したくない」は１人(0.4%)のみであった。

○過去４年の結果と比較すると、概ね同様の回答傾向となっている。



・「来場したくない」と回答した方の理由で具体的な回答をした人はいなかった。



(3)実施結果のまとめ

今年度で5回目の開催となる中、大田区協力のもと、パンフレット配布や駅前でのチラシ配りなどプロモーション活動を積極的に行い、イベントの日を迎えた。

そんな中、新型コロナウィルスの影響もあり外出を控える人が増え、出展参加ができない町が出てくる状況となった。会場である東急プラザに来場するお客様が延べ数で 500 人減少し、購入者も昨年から比べ約 200 名減少した。

売上金額を見ると、駅前広場での販売額については昨年度とほぼ同じ金額売り上げとなり、アワビやつぶ焼き等の海産物やいももち、フランクフルト等もすべて完売し、集客が厳しい状況においても販売を拡大することができた。

一方、催事場での販売については、1日目は昨年度よりも 10 万円以上販売額を伸ばすことができたものの、2日目の売上に苦戦する状況となった。

販売状況については、数量では奥尻町のキューブクッキーや江差町の五勝手屋羊羹などの菓子類が手頃な価格帯であることもあり上位となり、販売額では奥尻町粒うにや乙部町するめの塩辛などの海産物、せたな町の飲むヨーグルト等の乳製品などが販売を伸ばした。

また、過去 5 年の成果を踏まえ、販売品目を増やしたほか、お菓子のばら売り等により単価の安いものを揃えたり、ワインとチーズをセット販売するなど、販売手法の工夫を各町で協力し合ったこともあり、厳しい状況でも売り上げを残すことができた。

来場者数が 500 人近く減少する中で、このような売り上げを残すことができたのは、1 人あたりの購入金額（客単価）が高かったことが考えられる。1 日目の客単価は昨年の客単価(2,500 円/人)より約 1,200 円以上高い金額となったが、これは各町の販売手法や魅力的な品揃えにより購買意欲を促進したことが要因と考えられ、継続実施の効果が数字に表れていると思われる。

また、アンケート結果からも分かるように、過去来場経験がある人の来場が増え、「北海道ひやま」を知っていたという回答も徐々に高まっており、プロモーションを継続してきた結果がここに表れていることがわかる。

さらに、継続して実施してきたことで各町担当者と地域販売事業者との関係も深くなり、販売商品の選定や販売手法を工夫することができるようになった。

このように様々な経験を積み重ねてきたことが、今回の結果につながっている。

今後の展開として、これまでと同様に 7 町連携した販売手法が取れなかったとしても、各町がインターネット等を活用した販売ルートを整備したり、地域事業者と連携し物産展に出店するなど、この 5 年間で築いた大田区と檜山 7 町の連携を途切れさせることなく継続してくことが重要となっている。

2016～2018 年度の販売額の推移

2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
219.0 万円	307.1 万円	301.4 万円	280.9 万円



なお、アンケート調査結果をふまえた今後の展開の可能性については、次のとおりである。

●北海道旅行にあたっては、新幹線を利用せずに、往復ともに飛行機を利用する意向の方が多い。しかしながら、北海道新幹線利用の有無及び意向について、「利用したことがある」が約４分の１にとどまっているが、ぜひ利用したいが約２割、機会があれば利用したいが４割以上と、未利用であるものの関心を持っている人が６割以上いることから、今後の北海道新幹線利用者の増加が期待できる。

●北海道新幹線を利用して行きたい場所は、函館、札幌、小樽、富良野などが多い。今年度の結果を見ると、そのあと美瑛、釧路と続き、その次に江差町がひやまエリアとしてはトップにあげられている。また、その他として檜山管内の各町と答えた方が約20人であった。

●北海道檜山地域については、知っていたと回答した方の割合は、過去４年間は半数を下回っていたが、今年度は半数をこえた。知った経緯については、道南出身との回答が多かったほか、本フェアで知った方が多く、過去４年間の積み重ねの結果が見て取れる。

●本フェアの開催を知った経緯としては、来店後に初めてイベントを知った方の割合が高く、今回は会場（東急プラザ）の協力もあり、ＰＲ媒体の利用が過去４回と最も多かったことが理由として考えられる。加えて、過去来場したことがあるという方の割合も過去４年間で最も多く、本フェアのリピーターが定着し、増加していることが伺える。

第３章　エリア別戦略の実施

1-1　檜山北部（今金町、せたな町）

檜山観光のモデルケースとして青山学院大学と共同で開発した個人型フリープラン「自然満喫！ＤＩＹツアー」と女性をターゲットとした「食/花/水　デトックス＆リトリートツアー」の旅行商品の磨き上げを行い、戦略に基づくターゲット市場に効果的なプロモーション活動を実施し誘客を図った。

(1)エリア別個別戦略の実施概要

①旅行商品の販売

本年はターゲット層へ直接募集をかけ、購買につなげるプロモーション活動を実施した。
また、昨年度開発した旅行商品をベースに２泊３日の滞在型商品に磨き上げ、販売拡大を図った。

2018 年度　販売した旅行商品





『青山学院大学と共同で開発』

●体験×滞在　２泊３日バスツアー
〔今金町〕
宿泊：クアプラザピリカ
体験・観光：キャンドル作り・ピリカダム等
〔せたな町〕
宿泊：あわび山荘
体験・観光：三本杉海水浴場・村上牧場　等

②プロモーション

函館市公式観光情報サイト「はこぶら」を活用した販売を実施した。
「はこぶら」は、「函館」でのキーワード検索順位は、Google1 位　Yahoo!1 位の函館情報サイトで、年間ページビューは 1,000 万回超になっており、函館に来る、興味がある人に対しての情報伝達として効果的なサイトとなっている。
このサイト上にて、函館出発のツアー募集サイトに飛ぶバナーを張り、ネット上での募集⇒申込の一連のプロモーションを行った。
また、北海道新聞を活用したツアー募集も同時に実施した。

函館市公式観光情報サイト　『はこぶら』



北海道新聞

『函館発着オリジナルツアー』のバナー制作＆貼付を実施

(2)実施結果

①ツアーの造成、販売

一昨年度青山学院大学と共同で開発し、昨年度販売を実施した北部旅行商品を札幌・函館発着のバスツアーに磨き上げ、商品造成・販売を実施し、札幌発着２回、函館発着２回、合計４回のツアー募集を行った。

1.ツアー名	**せたな町・今金町　「食」と「自然」を満喫バスツアー　２泊３日の旅**
2.旅行内容	クアプラザピリカとあわび山荘を宿泊拠点にした体験バスツアー 札幌発着・函館発着 ○今金町：ピリカ自然塾と連携した自然体験 ○せたな町：「そらのレストラン」をフックとしたロケ地体験
3.募集	○募集ターゲット：40 歳～60 歳の女性 ○募集告知方法： ①函館来訪者向けのプロモーションとして、函館市公式観光情報サイト「はこぶら」を活用した集客 ②北海道新聞を活用したツアー募集
4.スケジュール	各日程　20 名募集 ①2019 年 9 月 27 日（金）～2019 年 9 月 29 日（日）２泊３日　札幌発着 ②2019 年 9 月 28 日（土）～2019 年 9 月 30 日（月）２泊３日　函館発着 ③2019 年 10 月 4 日（金）～2019 年 10 月 6 日（日）２泊３日　函館発着 ④2019 年 10 月 5 日（土）～2019 年 10 月 7 日（月）２泊３日　札幌発着
5.代金	札幌発着　２名一室利用　42,800 円 函館発着　２名一室利用　39,800 円

JTB ツアー申込　ランディングページ



商品行程

札幌発プラン

2019年9月27日(金)～9月29日(日) 2泊3日 札幌発着
2019年10月5日(土)～10月7日(月) 2泊3日 札幌発着

日時/月日(曜)		行程	食事
1	9/27(金) 10/5(土)	9:00 札幌(発) ＝＝ 12:30 クアプラザピリカ 昼食:ダムカレー ＝＝ 13:15 13:30 ●美利河ダム -特別見学- ＝＝ 14:30 14:45 ○ピリカ旧石器文化館 ＝＝ 15:30 16:00 クアプラザピリカ クアプラザピリカ泊	朝: × 昼:ホテル 夕:ホテル
2	9/28(土) 10/6(日)	9:30 ホテル ＝＝ 9:40 ○どんぐりの森 -キャンドル作り体験とカフェ休憩- ＝＝ 11:30 昼食 ＝＝ 12:00 13:00 ●ふれあいプラザ ＝＝ 13:10 ＝＝ 13:15 ●浮島公園 ＝＝ 13:25 13:45 ●三本杉海水浴場 ＝＝ 14:55 ●立象展望台 ＝＝ 15:05 15:15 ●村上牧場 ＝＝ 15:25 15:45 ＝＝ 16:25 ●太田山神社 ＝＝ 16:40 17:00 ●てっくいランド大成 ＝＝ 17:10 17:20 あわび山荘 あわび山荘泊	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:旅館
3	9/29(日) 10/7(月)	9:30 あわび山荘 ＝＝＝ 高速利用 ＝＝＝ 13:00 札幌(着)	朝:旅館 昼: × 夕: ×

凡例:バス ＝ 徒歩 ・・・ 入場観光 ○ 下車観光 ●

函館発プラン

2019年9月28日(土)～9月30日(月) 2泊3日 函館発着
2019年10月4日(金)～10月6日(日) 2泊3日 函館発着

日時/月日(曜)		行程	食事
1	9/28(土) 10/4(金)	10:00 函館(発) ＝＝ 12:30 クアプラザピリカ 昼食:ダムカレー ＝＝ 13:15 13:30 ●美利河ダム -特別見学- ＝＝ 14:30 14:45 ○ピリカ旧石器文化館 ＝＝ 15:30 16:00 クアプラザピリカ クアプラザピリカ泊	朝: × 昼:ホテル 夕:ホテル
2	9/29(日) 10/5(土)	9:30 ホテル ＝＝ 9:40 ○どんぐりの森 -キャンドル作り体験とカフェ休憩- ＝＝ 11:30 昼食 ＝＝ 12:00 13:00 ●ふれあいプラザ ＝＝ 13:10 ＝＝ 13:15 ●浮島公園 ＝＝ 13:25 13:45 ●三本杉海水浴場 ＝＝ 14:55 ●立象展望台 ＝＝ 15:05 15:15 ●村上牧場 ＝＝ 15:25 15:45 ＝＝ 16:25 ●太田山神社 ＝＝ 16:40 17:00 ●てっくいランド大成 ＝＝ 17:10 17:20 あわび山荘 あわび山荘泊	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:旅館
3	9/30(月) 10/6(日)	9:30 あわび山荘 ＝＝＝ 高速利用 ＝＝＝ 12:00 函館駅(着)	朝:旅館 昼: × 夕: ×

凡例:バス ＝ 徒歩 ・・・ 入場観光 ○ 下車観光 ●



魅力新発掘 2泊3日の旅

申込日等／札幌 ●2018年5月1日(火)～2日(水) ●2018年5月3日(木)～7日(月) 函館 ●2018年5月2日(水)～3日(木) ●2018年5月8日(火)～9日(水)	申込締切日／5月2日(水)まで
申込代金(お一人様)／[札幌発]3名一室 42,800円 [函館発]3名一室 39,800円	旅行タイプ／別府の湯 利用バス／北海道観光バス
申込人数／各社各1本の予約とする	(各ツアーに含まれるもの) 中国バス協会・登別観光ホテル協会・登別観光・登別温泉・ガイド料金
申込条件／契約書1名
最低催行人数に達しない場合は中止させていただきます。	

株式会社 JTB 北海道事業部	株式会社 JTB 函館営業所
	TEL:0138-56-1711 FAX:0138-56-4119

札幌発着	42,800円
函館発着	39,800円

魅力新発掘 2泊3日の旅





DAY 1	札幌発 4:00 新冠発 10:00	12:30 クアプラザピリカ 13:15 昼食:ダムカレー	13:50 奥利尻ダム特別展示 14:30	朝 × 昼 × 夕 ホテル
	14:45 ピリカ苔石遺跡文化館 15:30	18:00 クアプラザピリカ 泊		
DAY 2	4:30 ホテル 8:40	どんぐりの森(キャンドル作り体験とカフェ休憩) 11:30		朝 ホテル 昼 レストラン 夕 熟睡
	12:00 昼 13:00 食 13:30	ふれあいプラザ 13:10	13:13 奥尻公園 13:23	
	13:43 三本杉海水浴場 14:55	15:05 立岩を展望 15:15		
	15:35 村上牧場 15:45	16:25 太田山神社 16:40		
	17:00 どでっぱランド大成 17:30	あわび山荘 泊 17:39		
DAY 3	あわび山荘 8:30	(高速利用)	札幌着 10:10 函館駅着 10:00頃	朝 熟睡 昼 × 夕 ×





新聞募集広告



②募集結果

日程	対象町	申込人数	男女内訳
9月27日発	札幌発着	3名様(ご夫婦1組・1人様参加1名)	男1名 女2名
9月28日発	函館発着	募集人数に満たなかったため、催行中止	
10月4日発	函館発着	2名様(ご家族)	女性2名
10月5日発	札幌発着	募集人数に満たなかったため、催行中止	

(3)実施結果のまとめ

昨年度から青山学院大学と共同で開発し販売を開始した北部旅行商品について、販売マーケットを札幌と函館エリアに特化しツアーの販売を実施した。２泊３日のバスツアーの行程とし、今金町ではピリカダムの見学やキャンドルづくり体験、せたな町では「そらのレストラン」ロケ地である三本杉海水浴場や村上牧場をめぐるツアーを造成した。

販売方法としては北海道新聞でのツアー募集を札幌圏と函館圏にて実施した。またインターネットを活用した募集として、函館市公式観光情報サイト「はこぶら」内にバナーを掲載し、JTB ホームページ内にランディングページを作成し、ツアー情報掲載から申込までできる体制を構築した。

残念ながら４回実施うち２回は集客不足のため中止となったが、札幌発・函館発ともに１回のツアー催行となった。参加いただいたお客様はすべて50歳以上のお客様となっており、札幌発着のお客様２組は、クアプラザピリカの温泉とあわび山荘の温泉を楽しみしていたとのことで、温泉は勿論のこと、食事などもお楽しみ頂いた。

今回の行程では、今金町の事業者で昨年から体験情報サイト「アソビュー」内で商品販売を開始した「ツキアカリキャンドル」のボタニカルキャンドル作りを取り入れ、楽しんで頂いた。男性のお客様は当初キャンドル作りに戸惑っていたものの、徐々に慣れ、気に入った花を選びキャンドルにデザインしながら作成する工程を楽しんでいる様子だった。その他、ピリカダムの見学では階段を上り下りする場面があったものの、内部の見学は普段見ることができない特別感があり、満足頂ける見学となった。

せたな町の見学箇所では映画「そらのレストラン」のロケ地をメインとして町内観光を行った。天候にも恵まれたこともあり、三本杉海水浴場や立象山展望台、村上牧場をそれぞれ見学し楽しんで頂いた。檜山北部方面の来訪は初めてという方々であり、新たな魅力を発見することができたとの評価を頂いた。

過去 2 年間ツアー販売を実施してきたが、ツアー募集で重要なのは、そのエリアでしかできない「旅の体験」である。今回のツアーで実施した今金町の植物を活用したボタニカルキャンドル作りやピリカダム内の特別見学、せたな町での「そらのレストラン」ロケ地巡りなどオリジナリティある体験を、今後も充実させながら誘客を図っていくことが必要である。

バスツアーは団体での集客となり、催行人数に達しなかった場合には中止となるリスクがあるため、個人向けの体験メニューを今よりも多く開発し、その町・その土地オリジナルのメニューをどれだけ増やしていくことができるかが今後の誘客の鍵となってくる。

今回のツアーを通し、札幌や函館のお客様は、檜山北部エリアを訪れたことがない方が多いことが分かったことから、これらのエリアを戦略ターゲットとし、商品の展開を実施していくことで、更なる誘客を図ることができる可能性がある。

1-2　奥尻町

(1)エリア別個別戦略の実施概要

離島ならではの独自性のある体験型コンテンツを活用した旅行商品の販売とプロモーション活動を実施し、誘客拡大を図った。

また、新たな体験コンテンツ開発・磨き上げを図り、自然・生態系を活用した体験型プログラム単体での販売拡大を図った。

(2)実施結果

昨年度商品造成を実施した奥尻プランの販売を２コース造成し、販売を実施した。

①ツアーの造成、販売

【コース①】奥尻島・函館３泊４日の旅	
コンセプト	札幌圏の食に関心高い層ターゲットとして、ミシュランシェフで奥尻島出身の和田勇人氏の美食と体験アクティビティを合わせた３泊４日のツアーを造成。旅行代金*体験とし、現地の楽しみ方をすべてプロデュースした内容での旅行商品とする。
ターゲット	札幌圏に在住もしくはその近郊エリアの食に関心が高い層
募集人数	８名を募集（最小催行６名にて人数設定とする）
出発日	８月４日（日）～７日（水）

行程内容

日次	月日曜	行程	食事
1	8/4 (日)	10:05　10:45　11:25　11:55　12:30 丘珠空港 →→→→ 函館空港 →→→→ 奥尻空港 JAL2745　JAL2891 奥尻空港～宿泊施設間の送迎は、宿泊施設の無料送迎車がご利用頂けます。 (注)なお、この部分は弊社の取り扱いのご旅行には含まれません。	朝：― 昼：― 夕：―
2	8/5 (月)	体験メニューをお楽しみください	朝：― 昼：― 夕：―
3	8/6 (火)	12:30　13:00 奥尻空港 →→→ 函館空港 ･･･ 函館自由行動 ････ホテル JAL2890 宿泊施設～奥尻空港間の送迎は、宿泊施設の無料送迎車がご利用頂けます。 (注)なお、この部分は弊社の取り扱いのご旅行には含まれません。	朝：― 昼：― 夕：―
4	8/7 (水)	自由行動 15:15　15:55 函館空港 →→→ 丘珠空港 JAL2748	朝：ホテル 昼：― 夕：―


奥尻島・函館
3泊4日の旅
55,000円


奥尻島・函館 3泊4日の旅
TEL:0138-56-1711


奥尻島
和田 勇人が作る、
奥尻島の美食と大自然まるごと体験
TEL:01397-2-7720

【コース②】１泊から行ける！気軽に奥尻～大自然の中で時をゆったりすごそう～	
コンセプト	奥尻町のゲストハウス imacoco の宿泊をメインとした個人型フリープラン。出発日や移動方法は各自で自由に設定し、体験アクティビティ等も現地体験できる募集型プランとした。
ターゲット	札幌圏・函館圏及びこれらのエリアに観光客として来訪している人
募集人数	設定人員は設けず、人数は自由に申込できるように設計
旅行最後尾	9月1日（日）～10月31日（木）

パンフレット





②募集結果

コース１は、申込人数が催行人員に達しなかったため、残念ながら催行中止となった。
コース２は、申込人数　８名　×　２泊　＝　１６人泊

(3)実施結果のまとめ

昨年度開発した旅行商品をベースに、2コースプランを設定した。

コース1は奥尻島出身のミシュランシェフ和田勇人氏の美食と体験メニューを楽しむことができる奥尻島・函館3泊4日の旅を造成した。出発日を8月4日発に設定し、札幌から飛行機の移動と宿泊をセットにしたプランでの販売を行った。和田シェフのレストランやSNSを活用しプロモーションを実施したものの残念ながら集客ができず催行中止となった。予め出発日が設定され、旅行代金も旅費5万5千円+体験料金4万円=9万5千円となり、高額だったことが考えられ、ツアー催行に至らなかった。

コース2は奥尻島の体験型ゲストハウス imacoco（イマココ）の宿泊をベースとした個人型フリープランを造成した。出発日を希望の日時で自由に設定することができ、現地でのアクティビティ体験も希望の内容を申し込むプランとした。札幌圏や函館圏での募集のほか、JTBホームページを活用した募集活動も行い、8名の集客となった。各々がimacocoを起点として暮らすようにのんびり時間を過ごす旅を体験した。

奥尻島は夏場の観光がメインとなっており、交通手段も函館空港からの飛行機と江差町からのフェリーのみとなっている。加えて、大型の宿泊施設の閉鎖があり、団体型ツアーや募集型ツアー造成は難しい状況となっている。

このような中で、今後誘客を図っていくためには、「離島ならではの体験」をより磨いたり、「島観光ならではの楽しみは何か」を追求していくことなどが重要となってくる。

現在imacocoで実施しているSUP体験やテントサウナなどは魅力的な体験であり、これらの体験を今後も広く周知し、プロモーションを行っていき、奥尻島の誘客を図っていく必要がある。

1-3　檜山南部地区（江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町）

(1)エリア別個別戦略の実施概要

昨年度事業でモニターツアーを実施した「レストランバス」を活用した旅行商品の販売及びプロモーション活動を実施し誘客を図った。モニターツアーの結果を踏まえ、檜山南部の魅力を伝えるための付加価値化と魅力・訴求力の向上を図ったツアーを造成し販売を実施した。

磨き上げのポイント

- 檜山の食材を活用した食事メニューと豪華寝台列車「トランスィート四季島」の料理人を務める関川裕哉シェフを迎えての料理の提供を行った。
- 農業体験をじゃがいも掘り体験から雨天時でも対応可能なアスパラ収穫体験を入れた行程とした。
- 昨年度のモニターアンケート評価の高かった乙部町「ホタテ磨き体験」や「江差追分会館」を引き続き見学し、お土産ショッピングを江差町に本店がある五勝手屋本舗に立ち寄る行程に変更した。
- 上ノ国町の体験メニューを勝山館見学に変更し専門ガイドの案内を付けた内容に変更した。
- 旅行代金を昨年のモニターツアー代金 5,000 円から 12,800 円に UP し、食事と体験を楽しむことができる高付加価値商品へ磨き上げを行った。

(2)実施結果

①ツアーの造成、販売

昨年度の造成した２つのコースをベースに、食事内容の見直しと檜山ならではの体験メニューを組み込んだ、合計５回の日帰りツアーを実施した。

コース①　厚沢部町・江差町・乙部町

2019 年　9 月 11 日（水）・9 月 13 日（金）・9 月 15 日（日）

時間	場所	コース内容	
9:00	函館駅		
10:30	厚沢部町	アスパラ収穫体験 厚沢部町のアスパラ食事体験	前田農場でのアスパラ収穫体験 メニューを実施した
11:45	乙部町	ホタテ磨き体験 元和台(昼食)　(ほたて浜焼き付)	※体験会場まで駐車場から徒歩 10 分ほど
13:30	江差町	五勝手屋本舗 かもめ島・江差追分会館	江差町に本店がある 五勝手屋本舗でのお土産ショッピング
15:00	厚沢部町	厚沢部道の駅	トイレ休憩
17:00	函館駅		

コース②　厚沢部町・江差町・上ノ国町

2019年　9月12日（木）・9月14日（土）

時間	場所	コース内容	
9:00	函館駅		
10:30	厚沢部町	アスパラ収穫体験 厚沢部町のアスパラ食事体験	前田農場でのアスパラ収穫体験 メニューを実施した
11:45	上ノ国町	勝山館ガイダンス施設見学 道の駅もんじゅ（海鮮焼き付）	専門ガイドの案内のもと見学
13:15	江差町	五勝手屋本舗 かもめ島・江差追分会館	江差町に本店がある 五勝手屋本舗でのお土産ショッピング
15:00	厚沢部町	厚沢部道の駅	トイレ休憩
17:00	函館駅		

②プロモーション

旅行商品を幅広くメディアでの展開を行っていくために新聞広告やパンフレットでの告知の他に、函館市公式観光サイト「はこぶら」でのバナー広告＋JTB ホームページ内でのランディングページの作成、着地型体験サイト「アソビュー」での販売、旅行情報サイトへメディアプロモーションを実施した。また、申込方法も電話申し込みとインターネット上での申し込みを可能としたJTBサイト「たびーと」を活用したプロモーション活動を実施した。

旅行パンフレット





新聞募集広告



JTB ホームページ内ランディング



メディア広告





リストランバス in ひやま｜メディア掲載レポート（2019年8月16日～11月11日掲載記事）		
プレスリリースタイトル	【8月16日配信リリースタイトル】 映画『うまれ変わり』舞台地九州「食」と「自然」をまるごと体感！自由期間発着「リストランバスツアー in ひやま」2019年9月1日（水）～15日（日）の15日間限定催行	
配信方法・内容	【配信方法】 ・PR Timesプラットフォームからの配信 ・弊社メディアリストより各種媒体へ個別メール送付 計264媒体＋フリーランスライター等約13名へ送付	【備考】 ※下記一部サイトにおいて期間限定での掲載および別ページにあり、現時点でリンク切れの可能性があります。 ※広告換算額は、メディア上で記事として掲載された際の当該広告枠の広告換算額を元に算出したものです。 実際の広告費を元に算出されたものではございません。広告方法は環境により異なります。広告換算の効果測定としてご参照ください。
露出記事数合計	74記事	

No.	掲載日	掲載種別	サイトジャンル	メディア名	運営会社	記事タイトル	記事URL
1	2019/08/16	Web	ニュース	スッシュアイ	株式会社エスエスコミュニケーションズ		
2	2019/08/16	Web	広告系	BuzzGang	株式会社PR TIMES		https://buzzgang.jp/pr/69722
3	2019/08/16	Web	トレンドニュース	OREICON NEWS	オレコン株式会社		
4	2019/08/16	Web	ニュース総合	BIGLOBEニュース	ビッグローブ株式会社		
5	2019/08/16	Web	トレンドニュース	@DIME（アットダイム）	株式会社小学館		
6	2019/08/16	Web	トレンドニュース	eltha（エルザ）	オレコン株式会社		
7	2019/08/16	Web	ニュース	財経CEO経済新聞	C.S.T Entertainment Inc.		
8	2019/08/16	Web	トレンド情報	CREA WEB	株式会社文藝春秋		
9	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	JBpress（日本ビジネスプレス）	株式会社日本ビジネスプレス		
10	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	東洋経済オンライン	株式会社東洋経済新報社		
11	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	PRESIDENT Online	株式会社プレジデント社		
12	2019/08/16	Web	トレンドニュース	ananニュース	株式会社サンエスコープ		
13	2019/08/16	Web	ニュース総合	エキサイトニュース	エキサイト株式会社		
14	2019/08/16	Web	ニュース	30min. サンキュニュッツ	株式会社イード		
15	2019/08/16	Web	トレンドニュース	BEST TIMES（ベストタイムズ）	株式会社ベストセラーズ		
16	2019/08/16	Web	旅行・観光・地域情報	パピマリ	凸版株式会社		http://ure.pia.co.jp/articles/-/539937
17	2019/08/16	Web	主婦向け暮らし情報	暮らしニスタ	株式会社主婦の友社		
18	2019/08/16	Web	トレンドニュース	ウレぴあ総研	凸版株式会社		http://ure.pia.co.jp/articles/-/539937
19	2019/08/16	Web	ニュース総合	毎日新聞デジタルMW	株式会社毎日新聞社		
20	2019/08/16	Web	ニュース総合	Cubeニュース	株式会社キューブ・リンク		
21	2019/08/16	Web	トレンドニュース	Techable（テックアブル）	株式会社マッシュメディア		
22	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	財経新聞	株式会社財経新聞社		https://www.zaikei.co.jp/releases/350483/
23	2019/08/16	Web	ニュース総合	シェルガのニュース！	シェルガ株式会社		
24	2019/08/16	Web	ニュース総合	ROBOTODAY	株式会社イード		
25	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	Qreatyビジネス	ニフティ株式会社		
26	2019/08/16	Web	ニュース総合	Ina（イナ！）	株式会社産経デジタル		
27	2019/08/16	Web	ニュース	ゲゼロニュース	株式会社ゲゼロン		
28	2019/08/16	Web	トレンドニュース	STRAIGHT PRESS	株式会社マッシュメディア		
29	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	財界ビジネス	株式会社財界通信社		
30	2019/08/16	Web	ニュース総合	時事ドットコム	株式会社時事通信社		
31	2019/08/16	Web	ニュース総合	産経ニュース	株式会社産経デジタル		
32	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	ZDNet Japan	朝日インタラクティブ株式会社		https://japan.zdnet.com/release/35157999/
33	2019/08/16	Web	ニュース	LINE NEWS（ラインニュース）	LINE株式会社		
34	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	CNET JAPAN	朝日インタラクティブ株式会社		https://japan.cnet.com/release/35157995/
35	2019/08/16	Web	ニュース総合	Infoseekニュース	楽天株式会社		
36	2019/08/16	Web	ニュース	NewsCafe	株式会社イード		
37	2019/08/16	Web	ニュース	SEOTOOLS	プラスホールディングス株式会社		
38	2019/08/16	Web	ビジネスニュース	Biz速プラットフォーム	株式会社インフォマート		

39	2019/8/16	Web	トレンドニュース	ココニュース	株式会社アクシブ	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	http://news.ekiworld.jp/watch/hot/5802985
40	2019/8/16	Web	流行＆トレンドニュース	STRAIGHT PRESS	株式会社マッシュメディア	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	https://straightpress.jp/20190816/20190816_0277
41	2019/8/16	Web	ニュース	LINE NEWS	LINE株式会社	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	https://news.line.me/article/oa/ekiworld/5802985e7d3
42	2019/8/16	Web	女性向け情報サイト	Kirei Style	株式会社ビズキ	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	https://kireistyle.jp/news/20190816_0000000000
43	2019/8/16	Web	ニュース総合	YAHOO!JAPANニュース	ヤフー株式会社	予約殺到！？オープンキッチンのレストランバスで特別な絶景を楽しめる限定ツアー開催	https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190816-00010001-pathfinder-bus
44	2019/8/16	Web	ニュース総合	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_000000000/
45	2019/8/16	Web	トレンドニュース	ボランタリー通信	株式会社東京産業新聞社	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	https://voluntary.jp/archives/2019025
46	2019/8/16	Web	ニュース総合	NEWS CaTect	ノアテック株式会社	予約殺到！？オープンキッチンのレストランバスで特別な絶景を楽しめる限定ツアー開催	https://newscatch.jp/article/id=20190816000000
47	2019/8/16	Web	トレンドニュース	ORICON NEWS	オリコン株式会社	予約殺到!? オープンキッチンのレストランバスで特別な絶景を楽しめる限定ツアー開催	https://www.oricon.co.jp/article/898095/
48	2019/8/16	Web	ニュース	GNEE	グリー株式会社	北海道積山の"食と自然"を楽しめるレストランバスツアー	https://jp.news.gree.net/news/archive/20190816/
49	2019/8/16	Web	エンタメ情報	エンタメプラス	ノアテック株式会社	予約殺到!? オープンキッチンのレストランバスで特別な絶景を楽しめる限定ツアー開催	http://entertainment.plus.jp/article/id=20190816000000000
50	2019/8/24	Web	自動車総合サイト	chibica（チビカ）	株式会社カービー	北海道からオープンキッチンのレストランツアー企画段階説明書を登場！	https://carnews.jp/articles/5C1Nhg
51	2019/8/28	新聞&Web	新聞	道民新聞	株式会社道民新聞社	積山の味と観光楽しめる　9月にレストランバスツアー、ＪＴＢが開催	https://dohminshimbun.co.jp/hokkaido/article/4729
52	2019/8/29	Web	ライフスタイル情報サイト	IGNITE	株式会社マッシュメディア	旭観発【レストランバスツアー】！北海道・積山周辺の「食」と「自然」をまるごと体感！	https://ignite.jp/2019/08/171945/
53	2019/8/29	Web	ニュース	excite ニュース	エキサイト株式会社	旭観発【レストランバスツアー】！北海道・積山周辺の「食」と「自然」をまるごと体感！	https://www.excite.co.jp/news/article/Cyzrby_1019401/
54	2019/8/29	Web	トレンドニュース	8&6 by GMO	GMOアドマーケティング株式会社	旭観発【レストランバスツアー】！北海道・積山周辺の「食」と「自然」をまるごと体感！	https://news.mynavi.co.jp/article/gamer/8900263
55	2019/8/29	Web	トレンドニュース	冬野菜 ＋10/16ツアーご成約	ヤフー株式会社	旭観発【レストランバスツアー】！北海道・積山周辺の「食」と「自然」をまるごと体感！	http://topics.yahoo.co.jp/news/20190829-40745587/index
56	2019/8/29	Web	トレンドニュース	antenna		旭観発【レストランバスツアー】！北海道・積山周辺の「食」と「自然」をまるごと体感！	https://antenna.jp/articles/19005364
57	2019/8/29	Web	ニュース総合	Infoseekニュース	楽天株式会社	旭観発【レストランバスツアー】！北海道・積山周辺の「食」と「自然」をまるごと体感！	https://news.infoseek.co.jp/article/gotta_121945/
58	2019/9/12	新聞&Web	ニュース総合	積日新聞デジタル	株式会社積日新聞社	「積山」味わうレストランバス	https://www.asahi.com/articles/ASM9W5R9SMBUUHB.html
59	2019/9/22	新聞&Web	ニュース総合	道積新聞電子版	株式会社道積新聞社	どうdeeye／レストランバスで積山の魅力満喫	https://digital.tohoshin.jp/news/article/33699
取材記事（取材経費を負担し2時間による現地取材社実施→取材をもとにレストランバスで期間しの広告に「積山周辺観光紹介記事」月刊誌に掲載が決まる）							
60	2019/11/1	Web	旅行情報WEBポータル	TABIZINE タビジン	株式会社メンロア	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	https://tabizine.jp/2019/11/01/189007/
61	2019/11/2	Web	旅行情報WEBポータル	TABIZINE タビジン	株式会社メンロア	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://tabizine.jp/2019/11/02/189084/
62	2019/11/13	Web	旅行情報サイト	Trip note トリップノート	株式会社ノーマディック	【北海道冬に食べたい絶品鍋】地元の味覚が集まる小樽で堪能！（ひやま）満喫方法！	https://tripnote.jp/hokkaido-area/kyoto-vacation/hokkaido-winter-food
63	2019/11/1	Web	ニュース・情報	excite ニュース	エキサイト株式会社	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	http://www.excite.co.jp/news/article/Tabizine_190031
64	2019/11/1	Web	トレンドニュース	ボランタリー通信	株式会社東京産業新聞社	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	https://voluntary.jp/archives/2242246
65	2019/11/1	Web	ニュース・情報	Infoseekニュース	楽天株式会社	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	https://news.infoseek.co.jp/article/tabizine_189031
66	2019/11/1	Web	ニュース総合	GMO [オーヴォ]	株式会社共同通信社	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	https://ovo.kyodo.co.jp/news/?b=ovo-news-tb-189026
67	2019/11/1	Web	ニュース・情報	ウーマンエキサイト	楽天株式会社	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	https://woman.infoseek.co.jp/news/lifestyle/tabizine_190031
68	2019/11/1	Web	ニュース総合	MSN JAPAN	マイクロソフト株式会社	秋の北海道で極上フレンチと自然を満喫！自分主導型バスツアーが新たなかたちに注目！	
69	2019/11/2	Web	ニュース・情報	excite ニュース	エキサイト株式会社	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://www.excite.co.jp/news/article/Tabizine_190058/
70	2019/11/2	Web	トレンドニュース	ボランタリー通信	株式会社東京産業新聞社	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://japannews.jp/archives/2242246/plan
71	2019/11/2	Web	ニュース総合	MSN JAPAN	マイクロソフト株式会社	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://www.msn.com/ja-
72	2019/11/2	Web	トレンドニュース	8&6 by GMO	GMOアドマーケティング株式会社	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://news.mynavi.jp/article/gamer/8240753
73	2019/11/2	Web	トレンドニュース	ココニュース	株式会社アクシブ	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://news.ekiworld.jp/watch/hot/5829427
74	2019/11/2	Web	トレンドニュース	GMO [オーヴォ]	株式会社共同通信社	絶景と食の宝庫！北海道南西部のとっておきスポット巡り（ひやま）満喫方法！	https://ovo.kyodo.co.jp/news/?b=ovo-news-tb-189058

③募集結果

	函館圏	札幌圏	首都圏	東北圏	合計
9月11日	7名	1名	4名		12名
9月12日	20名		1名		21名
9月13日	募集人数が満たなかった為、催行中止				
9月14日	20名				20名
9月15日	11名	4名		2名	17名
総合計	58名	5名	5名	2名	70名

(3)実施結果のまとめ

昨年度実施したモニターツアーの結果を踏まえ、食事内容の見直しやツアー行程の磨き上げを行い販売・プロモーション活動を実施した。

昨年度は札幌から招聘したイタリアン料理シェフによる食事提供を行ったが、今年度は道南に所縁があり、映画「そらのレストラン」のシェフのモデルの一人である関川シェフにひやまの食材を活用したコース料理メニュー作りから提供までのすべて依頼し、食事の磨き上げを行った。プロモーション活動においては、従来の新聞メディアを活用した募集方法と並行し、インターネットやSNSを活用したメディアプロモーション手法も取り入れ、北海道エリアだけにとどまらず、全国に情報発信を実施した。

ツアー内容では昨年のモニターツアーで評価の高かった「乙部町ホタテ磨き体験」や「江差追分会館」「上ノ国町海鮮浜焼き」をそのまま組み込み、新たに「厚沢部町アスパラ収穫体験」を入れた内容に磨き上げを行った。

8月中旬頃よりプロモーション活動を行い、メディアでの告知や新聞告知を実施した。レストランバスという全国でも3台しかないバスを活用した「その土地ならではの体験+地元の食材と有名シェフの食事」という新たな切り口の商品となったことにより、74の新聞及びWEB媒体に取り上げられ、全国への情報発信を行うことができた。

ツアー5回のうち9月13日のみ集客不足のため催行中止となったが、4回のツアー催行で合計70名の募集結果となった。メディア広告の効果もあり、東京や東北からインターネットを通じた申込もあり、メディア広告を活用したプロモーション効果を残すことができた。

レストランバスを次年度以降も実施を検討していく上で課題となっているのが、道南エリアにレストランバスを運搬する経費上の問題点と有名シェフを採用した際の料理単価の問題点が挙げられる。レストランバスは東京にあるバス会社ウィラー社が保有しており、通常は東京と京都で運行を行っている。このバスを北海道に運搬し網走バスが道内の運行を請け負っているが、運搬経費とバス運行費用が高額となってしまうことから、1人当たりの旅行代金も同様に高額となってしまう点がある。また有名シェフを活用した場合に1人当たりの料理単価も上がることから、旅行代金の高額商品になる傾向がある。

地域ならではの商品として「レストランバス」を活用した商品は今後も集客を伸ばすことが期待できる商品となっているが、経費上の問題点や集客リスクを鑑みた商品造成を行っていくことが継続していく重要なポイントとなっており、これらの問題を地域と解決していくことが今後の継続のカギとなっている。

檜山管内の観光客など受入環境体制を整備していくため、地域の課題解決及びサービス改善や質の向上等を図るため、地域の核となる人材などを育成する研修をエリアごとに実施した。

4-1　北部人材育成研修



(1)実施概要

開催日時：11月27日（水）17:00～19:00
講演テーマ：『マーケティングの基礎と情報発信』
ワークショップ『今日からはじめる
　　マーケティング施策を考えよう』
開催場所：せたな町民ふれあいプラザ　２F研修室
参加者：19名
講師：アソビュー㈱　地域戦略室
　　室長兼シニアコンサルタント　内田　有映氏

(2)研修内容

2018年度から引き続きアソビュー㈱内田氏による着地型体験観光の推進に向けた人材育成研修を実施した。昨年度に実施した２回の人材育成研修を通し３件の事業者登録があり、今年度は事業者の拡大・体験プランの拡大はもちろんのこと、より実践的な「プラン売り方」や「マーケティングの考え方」を学ぶ研修を実施した。

はじめにアソビュー㈱内田氏より「今日からはじめるマーケティング施策を考えよう」と題し、講演を頂いた。今回の初めて研修に参加する人もいることから、アソビュー㈱が運営する体験サイトの説明や着地型観光について振り返り説明の後、マーケティングの考え方についての説明となった。

～マーケティングの一般的な考え方～

1．「お客様」はだれか？（ターゲット）
2．お客様にとっての「価値」は何か？
3．「他社と比較して」何が違うのか？
4．価値を「どうやって届けるの」か？
5．それは「どれだけのお金」をいただけるのか？

この考え方をベースに、体験事業者の例を挙げ、具体的な売り上げUPの方法を説明頂いた。体験事業者の多くは事業状況を把握していないまま、ただ新規のお客様を増やす方法を考える人が多く、まずは自社の売り上げや顧客を分析することがポイントであると説明頂い

た。新規のお客様を増やすこともちろん必要だが、売り上げの増加を考えるのであれば客単価を上げる方法も一つの施策であり、それぞれの事業者にとっての「優先順位」を考え施策を実施していく必要があると示唆を頂いた。

ワークショップでは考えた体験プランが現在どのレベルにあるのかワークシートを基に分析を行い、事業者の具体的施策を効果的に事項していくポイントについてグループワークを実施した。ワーク内ではサイトの「申込が多い時間帯」や「口コミ情報の重要性」を説明しながら、売上 UP のポイントを説明頂いた。





(3)事業者個別訪問

昨年度、事業者登録を行った大津牧場とクアプラザピリカを個別に訪問し、体験型プログラムの具体的な掲載方法や商品展開方法について打ち合わせを実施した。

大津牧場では今年度 1 件の申し込みが入ったものの、その後のお客様とのやり取りについてうまくできなかった課題があったことから、内田氏よりメールでの開始時間や集合場所などのやり取りを密に行う重要性を説明頂いた。クアプラザピリカでは冬のメニューを中心にリフト券＋温泉セット券プランやリフト券割引プランなど今年度も実施していくとの報告があり、販売増加に向けたサポートを引き続き実施してくことを確認した。

今金町　クアプラザピリカ　2019 年度　販売プラン





今金町　Tuki akari candle（ツキアカリキャンドル）2019 年度　販売プラン





せたな町　大津牧場　2019 年度　販売プラン





【２０１９年度販売実績】

○今金町　Tuki akari candle　　申込件数　２件　申込人数　４名
・北海道と埼玉県から 20 代女性の申込が１組（２名）ずつあった。

○今金町　クアプラザピリカ　　申込件数　０件　申込人数　０名
・冬季スキー場のリフト券販売等実施した。雪不足の影響等あり期間が短く、０名となった。

○せたな町　大津牧場　　申込件数　１件　申込人数　３名
・2019 年４月に公開し、１件（３名）東京都在住（30 代女性）から申込実績があった。

4-2　奥尻町人材育成研修



(1)実施概要

開催日時：1月29日（水）14:00～16:00
講演テーマ：『離島の現状と観光事例の紹介』
ワークショップ『奥尻島の魅力と
体験観光を考えてみよう』
開催場所：奥尻町海洋研修センター
参加者：12名
講師：アソビュー㈱　観光プロデューサー
日比野　理人氏

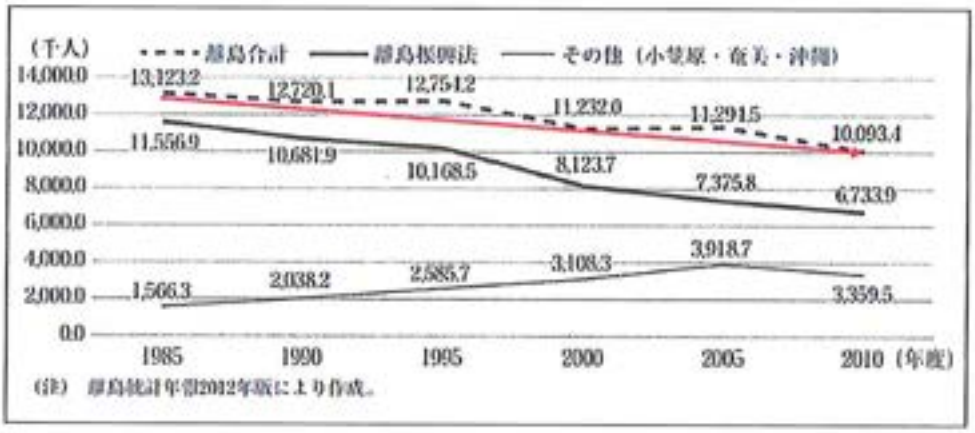
(2)研修内容

2017年度から引き続き、アソビュー㈱と連携し着地型体験型の推進を目的とした研修を実施した。今回は離島観光の推進や誘客促進事業を数多く携わっている観光プロデューサー日比野氏による講演「離島観光の現状観光事例の紹介」及びワークショップ「奥尻島の魅力と体験を考えてみよう」を実施した。

今回初めて研修に参加した方もいることから、アソビュー㈱が運営する体験型観光サイトについての説明や着地型観光のトレンド情報等の説明を入れながら、離島観光の現状について説明頂いた。日比野氏は全国に存在する有人離島を50以上訪問した経験があったものの、奥尻島は今回が初めての訪問となり、奥尻島の魅力を参加者にヒアリングを入れながら講演を進めていった。

まず日本における離島の現状として、本州・北海道・九州・四国・沖縄本島を除き日本全国に離島は6,847あり、そのうち有人離島では418であり、離島は珍しいものではなく全国に数多くあり、離島への観光客の推移をみても減少傾向にあるという現状を説明頂いた。

～離島観光客数の推移～



また、観光の観点で離島であることのメリット・デメリットを整理し、メリットを生かしながら、デメリットの解消を意識しながら観光推進していくことの重要性を指摘頂いた。

～離島観光のメリット・デメリット～

メリット	デメリット
• 本土にはない自然・生態系・文化を観光資源として活用できる • エリアが広くないため、観光事業者同士で連携を取りやすい • 宿泊前提で訪れる人が多いため、滞在時間が長くなりやすい	• 交通手段が限られており、費用面やスケジュール面での調整が必要となりやすい • 季節（冬）や天候（雨）や自然（台風・津波）による影響を大きく受けやすい • 外部からの刺激が少なく、島内で競争が生まれにくい

他地域の人気の離島観光の事例についても説明を頂いた。日本でも人気の小豆島や石垣島、直島等の人気がある離島の観光入込客数の大幅な変化はないものの、それぞれの島では特色を出しながら観光振興を進めている具体的な事例を挙げて頂いた。また、サイクリストやダイビング等の「趣味を楽しむ層」にターゲットを絞り込み誘客を実践しているしまなみ海道や御蔵島の例やアート作品を島内に設置し写真好きやアート好きを世界から誘客している直島、佐久島の事例など紹介した。

ワークショップでは、奥尻島の魅力を各人に考えてもらい、グループで共有していくワークを実施した。一般的な観光資源の情報だけではなく、島民の方が楽しいと感じるものやお勧めしたい場所、島ならではのお祭り等をそれぞれのグループで話し合い、地域に埋もれている価値の掘り起こしを行った。その後、その資源を体験コンテンツに置き換えた場合、どのような体験プランにすることができるかを考え、グループごとに発表頂いた。奥尻島の尻ふり音頭や球島山の夜景等、新たな魅力を掘り起こすことができたワークとなった。

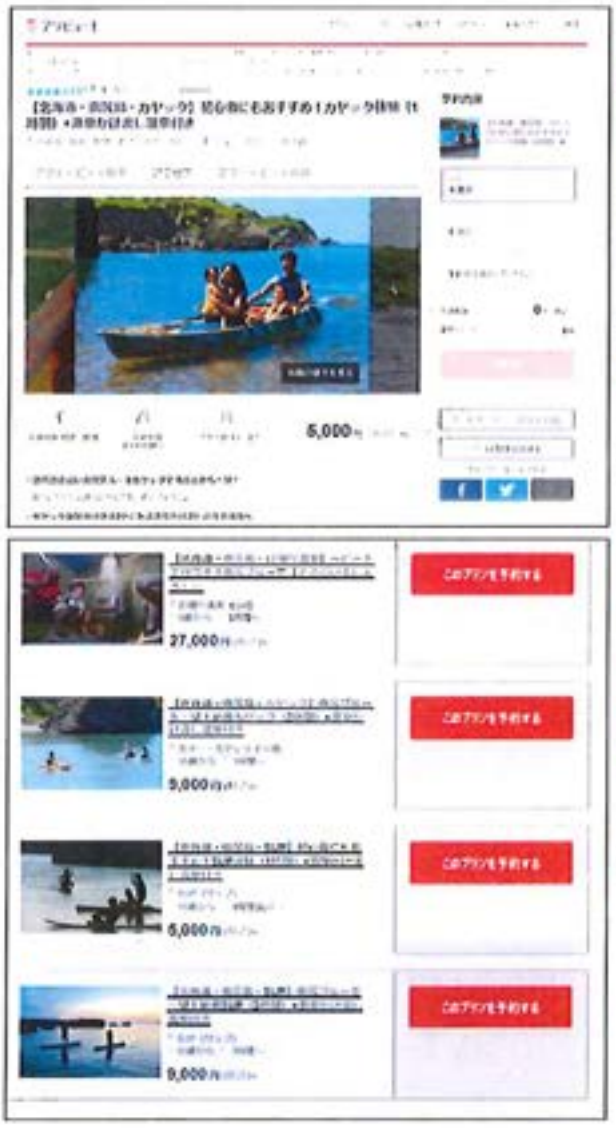




(3)事業者個別訪問

ゲストハウスを運営している imacoco（イマココ）へ訪問を行った。昨年度から販売を開始した SUP 体験プランの販売が好調となっており、次年度の販売に向けた新たなプラン展開や販売法についての打ち合わせを行った。

奥尻町　ゲストハウス imacoco　2019 年度　販売プラン





【２０１９年度販売実績】

申込件数　１１件　申込人数　１９名

・2019 年度は即予約設定などにより、5~9 月の 5 カ月で 11 件（19 名）の申込があった。
・北海道内だけではなく、愛知・東京都からも申込があった。

4-3　南部人材育成研修



(1)実施概要

開催日時：11 月 26 日（火）15:00～17:00
講演テーマ：『体験商品の企画の考え方』
ワークショップ『体験・企画を考えてみよう』
開催場所：乙部町民会館 1 F 青少年研修室
参加者：18 名
講師：アソビュー㈱　地域戦略室
　　室長兼シニアコンサルタント　　内田　有映氏

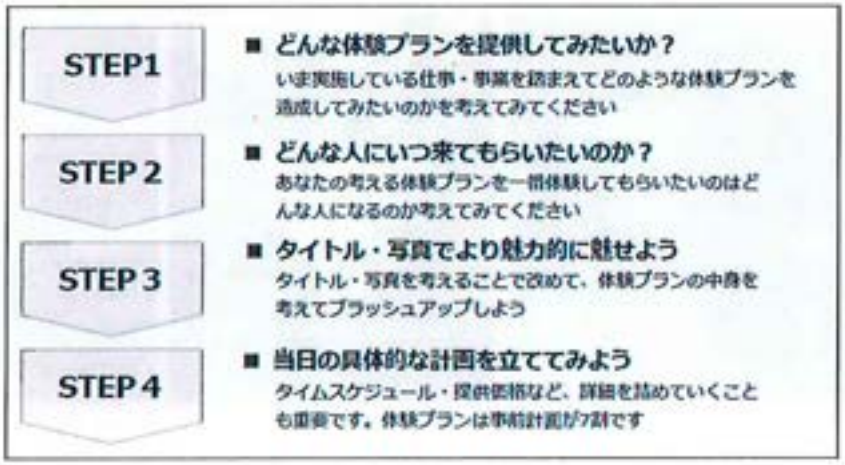
(2)研修内容

2018 年度に引き続きアソビュー㈱内田氏による着地型体験観光の推進に向けた人材育成研修を実施した。昨年度に実施した人材育成研修では「体験型観光とは？」や「各地の事例紹介」等を通し、現在の旅行トレンドを学ぶとともに、実際に自地域で行う体験メニューの造成ワークを行ったが、今回の研修では、この研修を踏まえ、具体的な販売に向けた「体験メニューの造成ポイント」や「販路拡大方法」を中心に講演頂いた。

初めて研修に参加者する方もいることから、アソビュー㈱が運営する体験サイトの紹介や旅行トレンドである「観る観光」から「体験する観光」が主流になっている現状についての説明や今まで観光産業として認識されていなかったコンテンツが体験型観光として販売されている事例をご紹介頂いた。

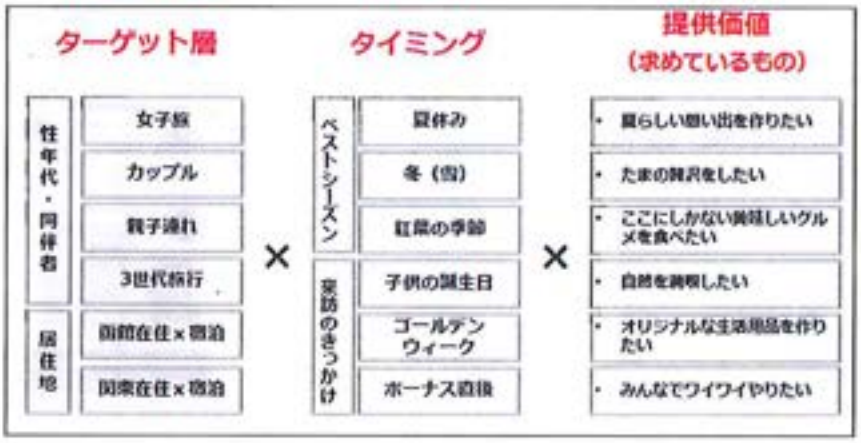
「体験プラン」を作っていくうえで、４つのステップに段階分けを行い、商品造成のポイントを説明頂いた。

～体験プランをつくる４つのステップ～



体験プランを企画するにあたり「どんな資源（ネタ・スキル・強み）を活用して体験プランの造成を行なっていけばいいのか？」や「どんな人にいつ来てもらいたいのか？」を具体的に想定し、商品企画を考えていく手順を整理していった。

～ターゲットの選定～



アソビューのサイト上では数多くの体験メニューが掲載されていることから、ターゲットであるお客様に選んでいただくためのポイントとして、「商品タイトル」と「掲載写真」の重要性にてついて説明頂いた。

WEB上で検索中に目につくものはタイトルと画像となっており、その商品のイメージや特別感を想像させるようなタイトルや、ターゲットの心をくすぐるプラン画像を載せることで閲覧数を増やすことができるというポイントを踏まえたうえで、各人が体験プランを考えるワークショップを行った。

その後、参加者それぞれが企画したプランをグループ内で発表を行い、「提供する体験プラン」を考え、ターゲットに来てもらいたい時期の検討やタイトル写真の魅力的な見せ方をグループ内で話し合った。

㈱上ノ国町観光振興公社や乙部町のレストラン「Guild　Endeavour」、㈲五勝手屋本舗等を中心に体験メニューの企画を行い、今後の販売につながっていくワークとなった。





(3)事業者個別訪問

研修終了後、(一社)北海道江差観光みらい機構へ個別訪問を実施した。北海道江差観光みらい機構では現在 DMO の登録を目指し、ホームページの改修作業や体験メニューの開発を実施している最中というとこで、ホームページの活用方法や体験メニューの掲載の仕方、販売手数料の仕組み等、商品の販売に向けた情報を説明した。

ホームページ上では、江差町の説明や体験商品の紹介は行っているものの、申し込むためには電話での申し込みやメールでの問い合わせのみの方法を取っているため、営業時間外での対応や即申し込みを受ける体制が整っていないことが課題となっており、アソビューサイトの事業者登録や商品展開を今後検討していくこととなった。

檜山南部エリアでは乙部町観光協会が今年度事業者登録を行い、ホタテ磨き体験とハスカップ狩り体験を実施しているほか、上ノ国町観光振興公社が事業者登録を行った。

乙部町　乙部町観光協会　2019 年度　販売プラン







【２０１９年度販売実績】
申込件数　0件　申込人数　0名
・2019 年 6 月　乙部町観光協会としてハスカップ狩りとホタテ磨きプランを公開した。
・開催期間/最高日数が非常に短く予約は入らなかった。
常時掲載できるプランがあると集客に寄与する可能性がある。

資料6

令和２年度　当初予算

新年度実施事業の概要

この資料は、一般会計予算において計上された事業を『今金町第５次総合計画』の
政策区分に基づき、各部署において分野ごとに整理されたものを取りまとめたものです。

まちづくり推進課

～ 目　次 ～

第1節　あんしん・今金　～安全・安心な暮らし～

1 行政経営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
2 消防・防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
3 住生活 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
4 環境保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
5 健康 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
6 福祉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7

第2節　いきいき・今金　～育ち、輝く地域人材～

7 人の育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
8 子育て支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
9 学校教育 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13
10 社会教育 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14
11 スポーツ振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16
12 文化振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P17

第3節　はつらつ・今金　～力強い地域産業～

13 農林業振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18
14 商工業振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P22
15 観光・交流・定住 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P24
16 情報通信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P25
17 交通 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P26

●添付資料　政策事業調書（新規事業のみ）

① 滞納管理システム導入事業	P29	⑨ 有害鳥獣駆除推進事業	P37
② 指令車更新事業	P30	⑩ 高性能林業機械導入支援事業	P38
③ 防災行政無線整備工事事業	P31	⑪ 空家住宅リフォーム助成事業	P39
④ 避難施設光ケーブル敷設工事事業	P32	⑫ 空家等除却支援事業	P40
⑤ 今金町保健福祉総合計画策定事業	P33	⑬ 地上デジタル放送共聴施設改修事業補助金	P41
⑥ 患者バス購入事業	P34	⑭ 戸籍電算化システム改修事業	P42
⑦ 住吉地区用水路改修事業	P35	⑮ 雪寄機械等導入事業	P43
⑧ 種山の森づくり植樹祭会場設営事業	P36		

第１節　あんしん・今金　～安全・安心な暮らし～

単位:千円

項　目	綱項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源内訳	摘要
１行政経営	１ 今金町まち・ひと・しごと総合戦略の推進	結婚新生活支援事業	経済的理由により結婚に不安を抱える方に対して、住居費を支援することにより結婚に伴う経済的不安を解消し、結婚の希望を叶えるとともに、少子化対策を推進する。 ・新規に婚姻した世帯（34歳以下で世帯の年所得３４０万円未満の世帯に限る。）１世帯 ・現に婚姻している世帯（34歳以下で世帯の年所得３４０万円未満の世帯に限る。）１世帯 ・補助金　→　30万円を上限	600	600	まちづくり推進課	
		北渡島檜山４町地域連携推進事業	八雲町・長万部町・せたな町・今金町が連携し、域内の資源を活用した「食」と「観光」を切り口とした取り組みによって経済活性化を図るとともに、事業の実施を通じた人材の育成や民間事業者等による連携を促進し、それを持続させるための域内ネットワーク構築を目指す。	658	688	まちづくり推進課	
	２ 地域づくり活動の推進	自治会町内会連合会活動補助事業	自治会町内会連合会の運営・活動費に対する助成。 ○各種部会活動 環境衛生部会、フラワー部会、生活安全部会、保健福祉部会、女性部会 ○自治会育成交付金、活動費など ○補助率　定額	5,977	5,977	まちづくり推進課	
		ふるさと創生支援事業	ふるさと創生基金を活用し、町民が主体となったまちづくりに寄与する取組を支援。 ○補助枠　　３，０００千円	3,000	3,000	まちづくり推進課	
		消費者行政推進事業	町民が振り込め詐欺等の消費者トラブルに巻き込まれないように啓発物品の配布や老人クラブへの出前講座などを実施し啓発を行う事業。 また、窓口で相談対応に従事する職員の基本知識を向上させるため研修等へ参加する。	649	626	まちづくり推進課	
	３ まちづくり情報の共有化	広報紙作成事業	町民に対し広報紙を通し様々な情報の周知を行う。 ○年１２回発行　　○月２，６００部作成	1,743	1,731	まちづくり推進課	

項　目	綱項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
１行政経営	４ 町民との協働による計画行政の推進	第6次今金町総合計画策定支援事業	第5次今金町総合計画は令和２年度をもって終了することから、これまでの計画を踏まえ、第6次今金町総合計画策定審議会への策定支援協力を行い、第6次総合計画基本構想、基本目標を策定する。	6,248	1,620	まちづくり推進課	
	５ 組織基盤の強化	職員研修（派遣研修）	職員の資質向上のため、道・町村会等が主催する各種研修などへの参加派遣に要する経費。 ○管理・指導・政策能力研修 ○専門研修 ○初任者・初級・中級職員研修 ○視察研修（道内・道外研修）	1,731	1,954	総務財政課	
		職員研修（集合研修）	職員の資質向上のため、行政課題に応じたテーマによる研修会を開催する。 ○評価制度 ○目標管理制度 ○職場のコミュニケーション　など	690	766	総務財政課	
	６ 財政の安定化	納税貯蓄組合奨励事業	町税の納期内完納などを啓蒙普及する納税貯蓄組合に対する奨励金等の交付。 ○納入奨励金　　９３２，９００円 納期内納付率90%以上の場合、納付額の０．５～１．０%を交付 ○事務費補助（@１３０円/人）×１，１７０人＝１５２，１００円	1,085	1,085	税務住民課	
		納税貯蓄組合連合会補助事業	納税貯蓄組合連合会の運営に要する経費に対する一部助成。 ○補 助 率 ：定額 ○事業内容：納税広報、啓蒙など	90	90	税務住民課	
		ふるさと納税促進事業	平成２０年度より制度運用開始。平成２８年度より納税件数の増を図るため、専用サイトへの登録及び収納サービスを拡充。また、令和１年１２月より新たな専用サイト「さとふる」を登録し「ふるさとチョイス」とあわせて収納サービスと町のＰＲに繋げる。 ○専用サイト登録、返礼品送付、決済代行手数料	5,574	8,445	税務住民課	
		渡島・檜山地方税滞納整理機構負担事業	滞納額の縮減を図るため町単独では処理困難な事案（多額滞納者や悪質滞納者）の整理を行う機構の運営経費を負担。（一般会計281,400円、国保事業特会656,600円） ○構成町 北斗市・福島町・知内町・木古内町・七飯町・鹿部町・森町 八雲町・松前町・長万部町・江差町・上ノ国町・乙部町 厚沢部町・奥尻町・せたな町・今金町 ○負担割合　一般会計　３割、国保会計　７割	938	1,041	税務住民課 保健福祉課	
		滞納管理システム導入事業	複雑かつ難易度の高い延滞金計算・徴収や滞納者に対する滞納処分を適正なタイミングで実施できるよう、システムを整備したい。導入後は各種照会及び滞納処分に活用する。令和３年度課税分より延滞金の徴収強化を行う。	3,427	0	税務住民課	新規①

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
2 消防・防災	7 防火意識の啓発と防火指導の徹底	今金町婦人防火クラブ助成事業	火災予防教育や、活動を行う組織に対する助成。 活動内容 ○消火器による消火訓練の実施 ○火災予防週間においてＰＲ活動の実施 ○防火講習会の開催	112	112	今金消防署	
		消火栓取替修理事業	設置後４０年以上経過し、老朽化した消火栓を順次取替修理する事業 事業費内訳：需用費　７９９千円、原材料費　８４７千円	1,646	1,589	今金消防署	
	8消防力の強化	指令車更新事業	平成１９年に購入した指令車の更新事業。 指令車　1台　　8，629，320円 車両本体（艤装・公課費含む）　　8，600，070円 役務費（自賠責・任意）　　29，250円	8,630	0	今金消防署	新規②
	9 災害予防対策・危機管理対策の強化	災害予防・危機管理対策事業	関係機関・団体等の連携・協力による災害予防及び危機管理体制の確立。 ○防災会議運営　　５７千円 ○国民保護協議会運営　　４９千円	106	240	まちづくり推進課	
		防災行政無線施設整備工事事業	○自然災害に対する事前の周知、啓発及び災害時の避難勧告等の情報を瞬時に全住民に伝えるため防災行政無線の整備行う。また、平時は行政無線としても利用し、住民生活に必要な様々な情報提供を行う。 ○光台地区の消防施設に併用して基地局を設置し、役場庁舎及び消防庁舎に統制台を置き、町内21カ所に屋外拡声局の設置と全戸に戸別受信機を配布する。 ○工事施工費　外　291,206,300円　○施工監理業務委託料：7,933,200円	299,140	0	まちづくり推進課	新規③
		避難施設光ケーブル敷設工事事業	○国土交通省が管理する河川管理用光ケーブルを活用し、種川小学校へ敷設工事を実施することによって、平常時にインターネットを活用した学校教育の授業で活用することができる。また、災害時には同校が避難所として指定されていることから、避難所での情報収集にも活用することができる。 ○工事施工費　外　10,000,000　円	10,000	0	まちづくり推進課	新規④
	10 応急体制の強化	災害扶助事業	災害見舞金 ○全焼・全壊・流出　２００千円 ○半焼・半壊　　１００千円 ○弔慰金　　２００千円	500	500	まちづくり推進課	

項　目	綱項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	目的課	摘要
3 住生活	12 良好な住生活の確保	町営住宅屋根塗装事業	町営住宅を良好に維持していくための屋根塗装に要する経費。 第5次総合計画　登録事業 ○対象施設　　緑団地（H16築）　2棟8戸	0	13,750	経営財務課	
	14 防犯体制の強化	安全で住みよい町づくり推進協議会運営事業	町民の安全意識の高揚と自主的な安全活動の推進を行い、安全で住みよいまちづくりの実現を図るために要する経費。	184	184	まちづくり推進課	
		街路灯防犯灯設置管理事業	国道の街路灯及び町内一円の防犯灯の設置並び維持管理事業 ○街路灯設置数　２５灯（国道分） ○防犯灯設置数３９３灯	1,985	1,985	まちづくり推進課	
		町内街路灯LED取付業務委託事業	国道230号線沿い（本町～東町間）の街路灯25基をLEDへと切り替える事業。 ポールについては既設の外灯ポールを再利用し、灯具のみの取り換えを行う。 LED取り換え後は電気料の削減を図る。	4,880	0	まちづくり推進課	
4 環境保全	15 自然環境の保護・再生	後志利別川清流保護の会活動事業	ＮＰＯ法人後志利別川清流保護の会が行う清流維持活動に対する経費を負担。 ○負担金　　定額 ○事業内容　河川清掃、植栽・植林	108	108	まちひと交流課	
	16 汚水処理の普及促進	浄化槽設置整備事業	公共下水道整備計画区域外での合併処理浄化槽設置経費に対する助成。 ○事業主体　　浄化槽設置者 ○事業期間　　平成26年度～35年度 ○補助額・５人槽　　８０万円/基　　・７人槽以上　１００万円/基	9,400	9,400	住宅政策課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
4 環境保全	18 公害防止・環境美化・景観形成の推進	ゴミ箱作成、修理補助金事業	自治会・町内会が主体となって設置するゴミ箱の制作・修繕に要する経費に対する助成。 ○補助率　2／3　〈上限額〉新規　66千円　修繕　15千円	360	360	まちづくり推進課	
		花いっぱい運動推進事業	自治会・町内会が主体となった公園や歩道に設置の花壇等への花苗定植による環境美化運動。 まちづくり推進課　509千円　公営施設課　525千円	1,034	958	まちづくり推進課 公営施設課	
		高美公園整備事業	新総合体育館が高美公園に建設されたことから、旧総合体育館解体工事及び解体後の新高美公園を整備する。 ●高美公園整備工事　外　令和2年度　110,000千円 令和3年度　40,000千円（令和3年度までの2か年で整備）	110,000	226,500	公営施設課	
5 健　康	20 主体的な健康づくりの促進	食生活改善事業（食育事業）	豊かで健全な食生活を実践することができる人間を育成するとともに、地域全体が食育の重要性を認識し、かつ適切な食生活を送ることで住民の心身の健康保持、増進を図る。 ○事業内容 栄養教室・個別相談・「健康増進計画」による減塩活動他	115	166	保健福祉課	
		健康まつり事業	健康まつり運営事業費 概要：講演会、食育、各種健康相談、体力測定、キッズイベント、健康デモ等 経費：講演会講師謝金、食イベント経費、広告費、バス運行費等	356	387	保健福祉課	
	21 成人保健の充実	基本健康診査事業	心臓病・脳卒中等の要因となる生活習慣病予防の一環として、住民検診の実施に要する経費。 ○検診日数　13日間（集団）・通年（個別） ○検査項目　問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、眼底、心電図 ○結果報告及び保健指導など実施	2,642	2,610	保健福祉課	
		がん検診事業	がん等の早期発見・予防を図るため、検診の実施に要する経費。 ○胃、大腸、肺、乳、子宮、前立腺がん検診、ピロリ菌検査、肝炎ウイルス検査、エキノコックス症検査	5,215	5,924	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
5 健　康	21 成人保健の充実	健康相談事業	定期又は自治会・団体の要請に応じ健康相談等を実施。 ○健康相談に併せて、生活習慣病や介護予防などの教室を実施 ○一部国・道費補助	1,958	2,146	保健福祉課	
		健康手帳交付事業	健康相談や検診などの保健サービス利用時の記録や健康状態などを記入し、自らの健康管理と適切な医療の確保に資する。			保健福祉課	
		集団健康教育事業	各種健康教室・講演会等を通し、住民の主体的な健康増進の取り組みを支援する。 健康づくり講演会及び研修会の実施、その他生活習慣病予防の啓発。 感染症予防対策の総合的な推進。			保健福祉課	
		訪問指導事業	家庭における療養方法等に関する指導や生活習慣病予防に関する指導。	49	49	保健福祉課	
	24 地域医療体制の維持確立	救急医療啓発普及事業	休日・夜間における第1次救急医療体制の確保と住民に対する普及啓発に要する経費。 ○委託先　　北部檜山医師会 ○事業内容　休日当番医謝金、普及啓発事業費	5,050	5,050	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
6 福　祉	27 高齢者介護・福祉の充実	今金町介護人材育成支援助成事業	今金町内の福祉サービス事業所等において無資格者や高等学校在学生に研修受講料を支援し、介護職員初任者研修の資格を取得させ介護に従事する職員の採用・定着、介護サービスを担う人材を確保・育成し質の高い介護サービスの供給に資することを目的とする。 ○助成対象者 ◆ 今金町に住所を有し、今金町内の福祉サービス事業所で就職をしている者 ◆ 今金町に住所し檜山北高等学校に在学中の者 ◆ 今金高等養護学校に在学中の者 ○助成費　　上限額７８，０００円とし介護職員初任者研修受講料を助成する。	234	390	保健福祉課	
		高齢者温泉パスポート事業	65歳以上の高齢者を対象に、温泉施設利用料の軽減に要する経費。 ○クアプラザピリカの入浴料の差額分を扶助	360	360	保健福祉課	
		長寿健康祝金支給事業	高齢者を敬愛し、長寿を祝福するため祝い金を商品券で贈呈。 満100歳到達者　３０万円相当　　９人 満 88歳到達者　　５万円相当　　６５人 満 80歳到達者　　３万円相当　　８２人	8,410	2,020	保健福祉課	
		敬老会運営事業	満７５歳以上の高齢者を対象に、長寿を祝して行う敬老会経費の助成。 ○事業主体　町内会、婦人会 ○補助率　定額（@2，１００円/人）	1,680	1,680	保健福祉課	
		老人クラブ運営事業	各地区老人クラブ、連合会の活動等に要する経費。 ○各種事業、研修会、会報誌など ○補助率 ・単位クラブ　定額　均等割 @46，５６０円/ｸﾗﾌﾞ　人数割 @　１，５００円/人 ・連合会分　定額 ・健康づくり運動会　定額	1,566	1,566	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
６福　祉	27 高齢者介護・福祉の充実	高齢者事業団訪問開拓員設置事業	高齢者に適した仕事の訪問開拓事業に対する助成。 ○事業主体　高齢者事業団 ○補助率　　人件費 １０/１０　事務費 2/3 ○一部道費補助	2,185	2,183	保健福祉課	
		高齢者共同生活施設せせらぎ運営事業	概ね65歳以上で、居宅生活が困難な者に対する共同生活施設の運営に要する経費。 ○指定管理者　　㈱ササキ総合管理サービス ○事業内容　介助及び身体機能回復指導や趣味活動などの支援	32,115	31,716	保健福祉課	
		給食サービス事業	自ら調理が困難な在宅高齢者に対する食事の提供に要する経費。 ○対象者 　高齢者の単身世帯又は世帯の構成員が全て高齢者である世帯等で、老衰・障害等により調理が困難なもの。 ○提供内容　・毎日、昼・夕配食　　・利用料 @520円/食 平成２９年度から一般会計分と介護保険特別会計分の２本立てとなる （令和２年度内訳　一般会計分１７，４７０千円＋介護保険５，２４０千円）	22,710	22,266	保健福祉課	
	28 障がいのある人への福祉の推進	障がい者雇用促進補助事業	今金町における障がい者（児）雇用の関心と理解を深め、障がい福祉の向上のために、新たに障がい者（児）を雇用する事業者に対し支援を行う。 ○補助対象者　　新規に障がい者（児）を通年雇用する町内事業者 ○補助金　　1雇用に対し月額30，000円、臨時雇用の場合は１／２	2,700	1,980	保健福祉課	
		身体障害者福祉協会補助事業	今金町身体障害者福祉協会の活動経費に対する助成。 ○研修会、スポーツ大会への参加 ○補助率　定額	90	90	保健福祉課	
		重度障がい者タクシー料金助成事業	重度障がい者の社会参加を促進するため、外出する際利用するタクシー料金の助成に要する経費。 （助成券　１人につき１２，０００円　）	720	720	保健福祉課	
		じん臓機能障害者通院交通費助成事業	人工透析療法による医療給付を受けるため、医療機関への通院に要した経費の道費補助残額を助成。	101	101	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
６福　祉	28 障がいのある人への福祉の推進	障がい者地域生活支援事業	障がい者がその有する能力及び適正に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう福祉の増進を図る。 ○事業内容 ・コミュニケーション支援事業(聴力障がい者への手話通訳者派遣) ・日中一時支援事業(機能訓練等の日中活動支援) ・自発的活動支援事業（旧ボランティア活動支援事業）等	11,348	11,082	保健福祉課	
		重度心身障がい者医療費助成事業	重度の障害者手帳を受けた者を対象とし医療費の一部負担金を助成していたが、更に満１８歳未満については医療費を無料化する。 対象者　３名　　助成額　４９２，０００円（拡大分）	18,833	19,094	保健福祉課	
	29 低所得者福祉の推進	民生委員児童委員協議会運営事業	住民の相談・支援を行う今金町民生委員児童委員協議会の運営経費に対する助成。 ○定例会、調査研究、研修など ○補助率　定額	3,614	3,614	保健福祉課	
	30 地域福祉の推進	今金町保健福祉総合計画策定事業	福祉施策の総合的な指針となる「今金町保健福祉総合計画」を策定し、子どもから高齢者、障害のある方もきめ、保健福祉の総合的・計画的な推進を図っていくことを目的とする。 この計画は地域福祉計画をはじめとする４つの分野の個別計画の性格をあわせ持ち、町民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進することを基本理念に掲げた施策・事業の展開をする。今金町地域福祉計画、第７期今金町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、第５期障がい福祉計画の３計画について令和２年度をもって終了することから、前回と同様に今金町地域福祉計画、今金町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時において対象町民へのアンケート調査の実施をはじめ計画策定の事務支援等の業務委託を実施する。	7,935	0	保健福祉課	新規⑤
		患者バス購入事業	無医地区等から町内医療機関への送迎及びあったからんどへの送迎をおこなっており、現在使用している患者バスは、平成２６年１１月に購入したものであるが、デマンドバス新路線運行に伴う患者バス路線の減少やそれに伴う利用者数の減、また、患者バス利用者からもドアtoドア（利用者宅での乗降車）による運行要望も高まっており、既存車両では車両の大きさから対応が困難な事から既存車両より小型の１４人乗りのワンボックス車両を購入するもの。	5,456	0	保健福祉課	新規⑥
		高齢者住宅等除雪サービス事業	冬期間の高齢者や障がい者において、除雪が行えず、生活困難になる者等に対して、生活道を確保するための除雪及び流雪溝居住地区については排雪を支援する。 ○玄関から最も近くの道路までの間を概ねスノーダンプ１台分の道幅を除雪する支援をする。	10,000	10,000	保健福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
６福　祉	30 地域福祉の推進	患者バス運営事業	無医地区等からの町内医療機関への交通確保などを図るため、バスの定期運行に要する経費。 令和２年度より利便性向上のため予約制を導入し、利用者宅での乗降車に対応することから民間への業務委託を実施する。 ○月～金曜日(土・日・祝祭日・年末年始等を除く)　３系統運行	6,812	4,721	保健福祉課	
		緊急通報電話設置事業	身体機能に障がいのある高齢者に対し、緊急ボタンにより消防署へ通報される「あんしん電話」の貸与。（緊急通報電話購入費、取付料）	1,725	1,697	保健福祉課	
		地域包括支援センター運営事業（地域支援事業）	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のため必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。 ○事業内容 ・権利擁護事業　・総合相談事業　・介護予防ケアマネジメント事業　・任意事業　他	64,381	57,317	保健福祉課	
		社会福祉協議会補助事業	社会福祉協議会の運営に要する経費に対する助成。 ○活動費、人件費・事務費 ○補助率　定額 ※H18ボランティアセンター創設 高齢者の施設入所抑制を図るため、在宅福祉サービスの普及などに要する経費。 ○委託先　社会福祉協議会（人件費２名、事務費） あんしんサポートセンター運営事業 ○委託先　社会福祉協議会（人件費１名、事務費）	26,921	26,514	保健福祉課	
		子ども発達支援センター運営事業	■児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業 今金町・せたな町に居住する心身の障がいやまたは発達に不安等のある乳幼児、就学児童への発達状況に合わせた療育（自立支援）支援の実施に要する事業経費。 ○常勤職員　4名（管理者を含む） ○事業内容　個別療育・グループ療育・集団療育（療育時間は月～金曜日・１家族1時間半） ■発達支援センター事業 今金町・せたな町に居住する子育て世帯および子ども発達支援センターを利用する児童等への専門的支援の提供や地域における発達支援啓発・早期支援等に要する事業経費。 ○療育相談支援（専門支援員の招聘）○子育て訪問・巡回相談　○発達支援教室「あい」 ○乳幼児健診訪問　等 ■障がい児相談支援事業 障がいのある児童が身近な地域で適切な支援が受けられるよう、障がい・発達の特性に応じた専門的支援の提供と質の確保を図るため、一人ひとりのニーズに沿った障がい福祉サービス利用支援計画の作成に要する経費 ○通所受給者証を取得する全ての児童が対象	23,479	19,962	教育委員会	

第２節　いきいき・今金　～育ち、輝く地域人材～

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
7 人の育成	32 子どもたちへの地域人教育の推進	「読書と作文のまち」ワーキングチーム運営事業	児童生徒の学力向上や望ましい学習・生活習慣の定着に取り組んできたが、さらに創造力や表現力を養うことや集中して課題に取り組む力を身に付けるため、「読書と作文のまち」を共通のテーマとして、学校・家庭・地域・行政の役割を明確にするための研究をはじめ、様々な実践活動を展開する。	300	300	教育委員会	
	33 産業人の育成	産業後継者育成就業奨励金事業	町内農林商工業者の子弟が、新たに町内で後継者として従事した場合に奨励金を交付。 ○奨励金 ・独身者　700千円 ・配偶者を有する者　1,000千円 ○交付時期 従事することになった日から、３年経過後。(6ヶ月経過時要届出) ○交付予定者(既届出者) 商工業　R２：交付対象予定者なし 農　業　R2：2名 1,700千円（配偶者有　1名1,000千円　独身者　1名700千円）	1,700	1,000	まちひと交流課 農林振興課	
	34 福祉分野におけるマンパワーの充実	今金町赤十字奉仕団運営事業	赤十字奉仕団のボランティア活動に対する助成。 ○施設訪問、花壇造成、研修など ○補助率　定額	42	42	保健福祉課	
8 子育て支援	36 幼児教育・保育の充実	保育料助成事業	子育て支援の充実をはかっていくため、平成２７年９月からの認定こども園いまかね、今金町立へき地保育所利用者負担額のさらなる軽減を行う。	12,228	31,383	教育委員会	
		ブックスタート事業	地域に生まれた全ての子どもと保護者に、子育て応援のメッセージをそえて絵本を手渡す運動。近年全国で取り組まれるようになり、今金町でも3ヶ月乳幼児健診において実施。	30	34	教育委員会	
		育ちの支援事業	今金町の責務として、心身発達の心配や遅れのある乳幼児に対して、保育所等において、集団保育、必要に応じて個別保育等を実施することにより、育ちの支援を要する乳幼児等の心身の機能の伸長と健全な社会性の成長発達を促進することを目的とする。 必要に応じ、教育支援委員会専門委員会や子ども発達支援センターと連携する。	7,942	4,803	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源	摘要
８ 子育て支援	37 親と子の健やかな成長の支援	子ども医療費助成事業	満１８歳に達した年度末までの子どもにかかる医療費助成を無償化し、子育て世帯の軽減を図る。 対象事業費　19,209,000円（地方創生事業費計上分　内１２,０００,０００円）	19,209	19,209	保険福祉課	
		不妊症治療費等扶助費助成事業	妊娠を希望する夫婦への不妊治療費助成により総合的な少子化対策の一助とする。 一般不妊治療費　１００，０００円×４回分＝４００，０００円 特定不妊治療費　１５０，０００円×４回分＝６００，０００円	1,000	1,000	保険福祉課	
		中学生ピロリ菌検査事業	中学２年生におけるピロリ菌検査・除菌治療の実施により、子ども自身及び将来の家族感染等を防ぎ、胃がんの発症リスクを軽減させる。	196	209	保険福祉課	
		母子保健事業	妊娠・出産・育児に係る一貫した健診体制構築や乳幼児の疾病・障がいの早期発見や適切な相談・助言等を通じ、子どもの健やかな成長と保護者の子育てを支援する。 ○妊産婦健康診査受診券の発行 ○妊産婦安心出産支援事業 ○乳幼児健診（3ヵ月・1歳6か月・3歳・5歳） ○新生児・健診事後等訪問事業 ○児童虐待予防・養育支援訪問事業 ○新生児聴覚検査助成事業	6,981	7,461	保険福祉課	
		歯科検診事業	歯科検診・フッ素塗布、健康教育等に要する経費。 ○「幼児歯科検診・フッ素塗布事業」 ○「子どもの歯みがき教室」（就学前、小学生、中学生）	1,172	1,253	保険福祉課	
		予防接種事業	感染症の罹患を防ぐため、各種予防接種の実施に要する経費。 ○定期接種　ロタ、B型肝炎、ヒブ、肺炎球菌、四種混合、日本脳炎、BCG、麻しん風しん混合、水痘、二種混合、子宮頸がん、高齢者の肺炎球菌、高齢者のインフルエンザ ○任意接種　小児インフルエンザ費用助成事業、おたふくかぜ費用助成事業 ○定期予防接種再接種費用助成事業 ○風しんの追加的対策事業（クーポン券の送付、風しんの抗体検査）	16,096	15,875	保険福祉課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
8 子育て支援	38 子育て支援の強化	出生児記念品贈呈事業	出産を奨励し、児童の健全育成を図るため、保護者に対し記念品を贈呈。 ○商品券の贈呈 第1子　５０千円相当 第2子　１００千円相当 第3子　２００千円相当	2,900	1,000	健康推進課	
	39 ひとり親家庭支援の充実	ひとり親家庭等医療費助成事業	満１８歳に達した年度末までの子どもにかかる医療費助成を無償化し、ひとり親家庭等の世帯の負担を軽減。 対象事業費　３００，０００円（拡大分）	1,646	1,646	保険年金課	
9 学校教育	41 小中学校の教育内容の充実	小中学校絵画書道展事業	児童生徒の文化芸術に親しむ機会の確保と学習活動の発表の場として、総合文化祭に書道絵画の作品展示を行う。 ○記念品の贈呈　町長賞、議長賞、教育長賞及び佳作	50	75	教育委員会	
		学校体育芸術文化連盟事業	今金中学校生徒の体育・文化活動の普及向上を図るため、中体連などの各種大会参加経費に対する助成。	1,530	1,530	教育委員会	
	42 学校給食による食育推進	学校給食食育推進事業	「食を大切にできる子」を育むことを目標に学校給食食育推進委員会において学校・家庭・地域・行政が連携した食育の推進を図る。	540	304	教育委員会（給食センター）	
		学校給食センター給食配給事業	児童・生徒の望ましい食習慣の形成（基本的な栄養基準量の摂取）を行うことにより、子供達の成長及び健康の増進を図る。	56,088	44,224	教育委員会（給食センター）	
	43 特別支援教育環境の充実	今金高等養護学校後援会運営事業	高等養護学校の教育活動を支援し、生徒の社会自立に寄与するため、後援会の運営に要する経費を助成。 ○事業内容　学校教育活動支援、啓発、研修 ○補助率　定　額	500	500	教育委員会	
		特別支援教育支援員配置事業	障がいのある児童生徒に対し、将来の社会参画と自立支援を目指し、個々に応じたきめ細かな対応を図るため、特別支援教育支援員を配置する。 ○小中学校担当支援員５名（各小中学校配置）	10,302	10,662	教育委員会	
	44 各種就学援助の充実	奨学基金貸付事業	成績が優秀で、経済的理由により就学が困難な者に対し、基金より奨学資金を貸し付ける。 ○貸付額（月額） 国立、公立と私立で区分あり 高等学校等　２０千円以内　　専修専門課程等　２５千円以内 短期大学等　２８千円以内　　大　学　等　３０千円以内 大学院　３５千円以内	3,697	3,576	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
9 学校教育	45 教育環境の充実	コミュニティスクール導入・推進運営事業	コミュニティ・スクール制度は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能になる「地域とともにある学校」に転換するための仕組み作りであり、この制度を導入することにより、地域ならではの創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。	480	480	教育委員会	
		教職員研修等事業	教員の資質向上や指導方法の先進視察などに要する経費。 ○道内大規模校・先進校の視察 ○研修及び家庭訪問等に要する旅費	346	232	教育委員会	
		教育研究会運営事業	総合的な学校教育のあり方やへき地複式教育に係る研究・協議を行う今金町教育研究会の運営に要する経費を負担。	1,275	1,260	教育委員会	
		学校運営協議会運営事業	円滑な学校運営を図るため、今金町学校運営協議会の運営に要する経費を負担。 ○全道・管内組織との研究交流 ○校長会・教頭会の開催	432	412	教育委員会	
		スクールバス運行事業	児童生徒の登下校などや町民各層の研修・学習機会確保のため、スクールバスの運行に要する経費。 ○委託先　民間 ○臨時運転者経費、維持費	31,466	24,460	教育委員会	
	46 こどもたちへのサポート推進	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（スクールガードリーダー）	子どもが登下校時などに事件や事故に巻き込まれる事案が社会現象となっていることを踏まえ、子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校、家庭、地域社会が一体となって、学校や通学路における子どもの安全・安心の確保に取り組む体制を整備する。	36	36	教育委員会	
	47 高等教育との連携の推進	檜山北高等学校振興会運営事業	教育環境整備や学校活動・地域社会活動の支援を行う振興会の運営に要する経費を負担。	1,280	1,280	教育委員会	
10 社会教育	50 青少年教育の推進	こども会連合会運営事業	こども会の親睦・交流を促進し、児童福祉の向上を図るため、連合会の運営に要する経費を助成。 ○事業内容 ドリームバスツアー、レクリエーション大会、かるた・百人一首教室等 ○補助率　定 額	140	122	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
10 社会教育	51 成人教育の推進	成人祭運営事業	町内成人者の社会人としての意識向上を図るため、成人祭式典・交流会の開催に要する経費。 ○開催日　8月13日 ○講師　百成位年氏（今金町出身で現在、東京青山インターナショナルビューティーアカデミー理事）	349	337	教育委員会	
	52 読書活動の推進	学校図書購入事業	児童生徒の学力向上をはじめ、自立性や創造性の向上を図るため、小中学校の図書整備に要する経費。	570	570	教育委員会	
		町民センター図書室運営事業	日常的な読書活動の普及啓発を図るため、図書室の運営に要する経費。 ○図書室司書（嘱託職員）1名 ○図書購入費・備用費等、運営経費	3,930	3,396	教育委員会	
		本のふれあい便事業	「いつでもどこでもだれでもが」本にふれられる機会づくりを目指して、八雲町立図書館と今金町民センター図書室が連携し、町民の読書環境の充実を図る。	60	70	教育委員会	
	53 国際交流活動の推進	国際交流推進アドバイザー招聘事業	学校教育及び町民における国際理解の充実を図るため、アドバイザーの招聘に要する経費。 ○アドバイザー報酬	3,757	4,636	教育委員会	
		国際国内交流事業	異なる文化圏での体験による国際理解・地域理解を深めるため、今金町国際国内交流事業実行委員会が行う各種交流事業に対する助成。 ○NZパーンサイド高校生受入事業	500	5,917	教育委員会	
	54 社会教育団体の育成支援	人づくり推進会議運営事業	「まちづくり」は「人づくり」の観点から、社会教育、文化・芸術、スポーツ、地域の教育研究の充実・振興を目的とする事業に対し、その事業費の一部を助成。 ○対象者　社会教育・文化芸術・スポーツ関係及び教職員で構成する団体 ○補助率　定額（1団体1事業10万円以内）	900	900	教育委員会	
		女性団体連絡協議会運営事業	町内女性団体の相互理解・交流を促進するため、協議会の運営に要する経費を助成。 ○事業内容　研修活動、女性団体育成 ○補助率　定額	188	188	教育委員会	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源内訳	摘要
１０ 社会教育	54 社会教育団体の育成支援	ＰＴＡ連合会運営事業	学校教育の振興と管内・町内ＰＴＡの相互理解・交流を促進するため、連合会の運営に要する経費を助成。 ○事業内容　研修活動、研究大会など ○補助率　定額	225	225	財源内訳	
		青年会議運営事業	町内青年団体の相互理解・交流を促進するため、青年会議の運営に要する経費を助成。 ○事業内容 研修活動、青年団体育成 ○補助率　定額	665	665	財源内訳	
１１スポーツ振興	55 スポーツ活動の促進	スポーツ少年団運営事業	青少年のスポーツ振興と町内スポーツ少年団の育成強化を図るため、今金町スポーツ少年団本部の運営に要する経費を助成。 ○事業内容 ドリームパス研修、各種大会参加、指導員講習会・活動費、研修事業等 ○補助率　定額 ○全道大会・全国大会助成金　800千円追加	1,550	1,550	財源内訳	
		スポーツ協会運営事業	町民がスポーツに対する関心と理解を深め、自ら実践する体育の振興・発展を図るため、今金町スポーツ協会の運営に要する経費を助成。 ○事業内容　町民体育祭運営、講習会・研修会、各種スポーツ大会・事業 ○補助率　定額	2,250	2,250	財源内訳	
		ふれあいスポーツ交流会運営事業	スポーツを通じた町内外の交流を推進するため、今金町ふれあいスポーツ交流事業実行委員会が行う冬季スポーツ競技の開催経費を助成。 ○事業内容　歩くスキーを通じた地域間交流、健康増進。 ○コース整備委託料を本交付金に組み込んだため増額。	669	600	財源内訳	
		総合型地域スポーツクラブいまかね運営事業	町民が日常的にスポーツに親しむ環境をつくり、スポーツに対する意識の向上と健康の維持増進を狙いとして活動する「総合型地域スポーツクラブいまかね」への運営補助金。 ○事業内容　カヌー体験、マラソン大会、フロアカーリング大会、冬リンピック、地域支援等	682	682	財源内訳	
		地域スポーツ等コーディネーター事業	スポーツの普及・推進活動等により、町民の健康増進及び青少年の健全育成等を図り、健康で明るく元気なひとづくりを目的とする。	500	500	財源内訳	
		スポーツアドバイザー配置事業	新たな総合体育館がスポーツ振興と健康・体力づくりの拠点として、全ての世代が、いつでも、気軽に集える施設づくりを目指し、施設を積極的に発信し、スポーツを通じて、いきいきと活躍するひとづくりを担うため。 ○アドバイザーの配置1名	2,060	4,000	財源内訳	
		今金高等養護学校プール一般開放事業	町の財政状況を考えたとき、小中学校プールの新設・大規模改修は難しい状態にあるため、今金高等養護学校プールを一般開放を行うための経費の一部を負担する。	330	330	財源内訳	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
１２ 文化振興	58 文化・芸術活動の促進	いまかねミュージックサマースクール事業	生徒の音楽に対する関心を高め、演奏技術の向上を目指し、互いに交流を深め、協力し合う態度を育てる。中・高生のためのバンドクリニックと参加者によるガラ・コンサート。技術指導は札幌交響楽団メンバーを招聘。すべて公開とし聴講・鑑賞可能とする。北渡島檜山4町連携推進事業として実施。	500	500	教育委員会	
		文化協会運営事業	文化・芸術の振興と広く町民に鑑賞や発表の機会を与える協会の運営に要する経費を助成。 ○事業内容　総合文化祭、文化団体育成、研修事業 ○補助率　　定額	600	700	教育委員会	
		幼少年芸術劇場運営事業	日頃接する機会の少ない芸術鑑賞機会を提供し、豊かな心を育む。 ○幼児の部・小学生の部・中学生の部の3部で実施 ○いきいきふるさと推進事業助成金活用予定	1,200	900	教育委員会	
	59 文化財の保存と継承・活用	ピリカ旧石器文化館管理運営事業	史跡指定を受けたピリカ遺跡の保存と保護意識を高めるため、体験学習の場を設け、文化財に対する正しい理解と知識を広めながら、貴重な文化遺産として後世に伝える。館のもつ機能を活用し、学校教育での社会科見学や各種団体研修を受け入れ、文化財保護意識啓発、郷土史教育へと広げる。	1,380	2,658	教育委員会	

第３節　はつらつ・今金　～力強い地域産業～

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源内訳	摘要
１３ 農林業振興	61 農業経営体質強化の促進	担い手対策事業	農業経営を新たに営む者に対して支援を行い農業経営の安定と定着を図り、農業振興を推進する。 ○農業後継者に対する支援　　○結婚対策支援 ○新規就農者に対する支援 ○集落営農及び法人化に対する支援	4,000	4,000	財源内訳	
		農業経営基盤強化資金利子補給事業	農業経営基盤強化資金に伴う利子補給事業	647	875	財源内訳	
		多面的機能支払交付金事業	今金集落が活動計画（対象地における水路・農道等の維持管理）に基づいた取り組みに対し交付金を交付する。 対象農用地面積　田　32,522ａ×2,300円/１０a＝　7,480,060円 畑　5,309a×1,000円/１０a＝　530,900円	8,011	6,537	財源内訳	
		新酪農ヘルパー事業	酪農家の定期的な休日確保や傷病時などの代行による経営の安定を図るため、酪農ヘルパー組合の運営経費を助成。 ○事業内容　ヘルパー人件費等を農協、町、生産者で負担 ○補助率　定額	1,500	1,500	財源内訳	
		中山間地域等直接支払交付金事業	地理的条件などが不利となる中山間地域に対して、地域に応じた農業振興施策に要する経費を負担。 ○負担割合　国５０%・道２５%・町２５% ○事業主体　今金集落 ○事業内容　環境整備、管理経費など	2,194	2,194	財源内訳	
		農民連盟活動促進事業	農業者の青色申告の推進を図るため、今金町農民連盟の活動経費に対する助成。 ○活動内容　所得申告指導など ○補助率　定額	720	720	財源内訳	
		農業後継者奨学資金貸付事業	農業後継者育成のため、卒業後の農業従事が確実である者に対し、奨学資金を貸付。 ○高等学校　　年額１００千円 ○専門学校･大学等　　年額１４０千円 ※卒業後５年以上従事した者は償還免除	480	560	財源内訳	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
１３ 農林業振興	63 販売強化の促進	野菜集出荷施設運営事業	広域連が運営する集出荷施設の維持運営管理に必要な経費の一部を助成することで、施設利用農家の負担軽減を図ると共に、広域連の安定的運営に資する。	1,166	1,166	農林振興課	
	64 基盤整備による効率的な農地利用の推進	住吉地区用水路改修事業	住吉地区第４幹線用水路の経年劣化による改修に伴う費用の一部を支援する事業。	5,850	0	農林振興課	新規⑦
		農地耕作条件改善事業	区画拡大及び暗渠排水を整備することにより営農の効率化及び排水性の改善を行い、担い手への利用集積を促進し、地域の営農体制の確率を図るとともに、乾畑化により水稲のほか小麦・大豆等の畑作物及び人参・ブロッコリー等の振興作物の品質の安定化と生産拡大に取り組み、農業競争力の強化を図る。 ○国営受益地外のほ場の暗渠排水　　施行予定　０．６ｈａ	1,400	26,000	農林振興課	
		国営緊急農地再編整備事業	区画整理、用排水路、付帯施設の整備及び換地 ○事業主体　北海道開発局（函館開発建設部） ○事業期間　今金南地区　H25~R6　・今金北　H27~R8予定 ○事業費負担割合　国：75%　道：18.3%　町：4%　受益者：2.7%	234,600	236,489	農林振興課	
		用水路維持管理事業補助事業	用水路の維持管理・補修に係る受益者負担の軽減を図るために維持管理補修費の一部を補助。	688	705	農林振興課	
		水土里情報システム運用事業	水土里情報システムの利用料	605	605	農林振興課	
		真駒内ダム基幹水利施設管理事業	真駒内ダムと一元管理を行う幹線用水路の管理費の地元負担金。	2,046	2,031	農林振興課	
		国営造成施設管理体制整備事業	国営造成施設及びその付帯施設の管理体制の整備を図るためその推進活動及び体制整備の支援を行う。	4,281	4,281	農林振興課	
		中里頭首工基幹水利施設管理事業	中里頭首工の施設管理費の地元負担金。	3,037	3,990	農林振興課	

項　目	綱項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	増減額	摘要
１３ 農林業振興	65 林業の振興	檜山の森づくり植樹祭会場設営事業	森林資源回復のため檜山管内各町持ち回りにより開催し、令和２年度今金町開催。植樹会場の地拵え、看板設置を行う事業。	331	0	皆増皆減	新規⑫
		有害鳥獣駆除推進事業	狩猟免許新規取得者育成及び既存ハンターへの助成を強化する事業。	666	0	皆増皆減	新規⑬
		高性能林業機械導入支援事業	今金町森林組合への高性能林業機械導入に係る費用の一部を支援する事業。	17,066	0	皆増皆減	新規⑭
		町有林林況等確認事業	町有林を適正に管理するために、定期的な現況確認の調査と、また、私有林内においても森林施業計画の適正な執行を図るため、現況を確認する。	583	605	皆増皆減	
		森林国営保険	自然災害等により町有林が消失した際の補償を受けるため、保険加入に要する経費。 ○保険期間　１０年間 ○対象箇所　４箇所　21.11ha	730	460	皆増皆減	
		森林作業員就業条件整備事業	森林作業員の就労安定化を促進し、林業労働力を確保するため、作業奨励金の負担に要する経費。 ○事業主体　北海道造林協会 ○作業員、事業主、町、道が一定の掛け金を負担 　町負担は、作業日数区分に応じて㊀８０円～㊁１４０円	141	166	皆増皆減	
		町有林作業路補修事業	作業の円滑化を図るため、町有林の作業路補修に要する経費。　L＝152,948㎡	8,404	8,063	皆増皆減	
		森林管理道住吉支線開設事業	町内の森林環境整備並びに、近年伐採時期を迎える森林資源の循環活用を効果的に実施していくことを目的として、森林路網を整備する。 住吉支線　　開設工事　L＝１８３m、W＝４．００m	50,000	50,000	皆増皆減	
		町有林造林事業	町有林を適正に管理し、森林の多面的機能を十分に発揮させるための経費 ○事業内容　新植事業　10.57ha　17,116千円　下刈事業　20.06ha　2,673千円 伐採事業　10.32ha　20,700千円	40,489	66,010	皆増皆減	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源	摘要
１３ 農林業振興	65 林業の振興	未来につなぐ森づくり推進事業	森林の有する多面的機能を発揮するために、民有林の伐採跡地等へ造林する者に対して、経費の一部を補助する。　30.00ha	8,621	8,471	森林環境譲与税	
		野そ駆除事業	町有林内における野ねずみの食害を予防するため、薬剤散布を行うために要する経費。 17.04ha	77	75	森林環境譲与税	
		森林活性化間伐搬出事業	森林所有者自らがおこなう搬出間伐材の運搬費用に対し1㎥当たり@1,000円を交付し、民有林所有者の負担軽減を図るとともに森林の多面的機能の維持増進を図る。　1,500㎥	1,500	1,500	森林環境譲与税	
		育成林下刈り推進事業	森林環境整備のため、民有林の下刈りに対し町は1ha当たり@3,000円を補助する。　140ha	420	360	森林環境譲与税	
		民有林育成指導事業	森林施業の後継者育成を図り多面的機能の維持増進を図るために補助する。 町内民有林面積から、組合員加入面積を除いた積算面積に３００円を乗じて補助。	1,000	1,000	森林環境譲与税	
		未利用林地残材活用事業	未利用となっている林地残材の搬出を行うために要する経費に補助をする。 林地残材搬出　１㎥に対し2,500円補助、予定数量　2,500㎥	6,250	6,250	森林環境譲与税	
		森林認証協議会負担金事業	本町内から産出される木材の流通・販路を確保し、林業の産業基盤を保つために、はこだて森林認証協議会に加盟し、認証取得および認証業務の事務経費を加盟団体（道南１３市町、８森林組合、１事業所）で負担する。	196	196	森林環境譲与税	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	根拠法	摘要
14 商工業振興	66 事務所の体力づくりへの支援・指導	小規模事業者経営改善資金融資制度利子補給費補助事業	小規模事業者の経営安定化を図るため、借入資金償還額に対する利子補給に要する経費。 ○融資限度額　運転資金　1,500万円以内 設備資金　1,500万円以内 （資金併用の場合は合計で1,500万円以内） ○融資機関　日本政策金融公庫 ○末端利率　日本政策金融公庫が定める金利（国民生活事業利率のうち特利Ｆを適用） ○利子補給率　融資額のうち500万円までの融資利率のうち、融資利用者の負担利率が1％を下回らない範囲において、1％以内の利率分を補給する。	100	100	まちひと交流課	
		中小企業融資制度利子補給費補助事業	中小企業の経営安定化を図るため、借入資金償還額に対する利子補給に要する経費。 ○融資限度額　・運転資金　1,500万円以内 ・設備資金　1,500万円以内 ○融資機関　・北海道銀行、渡島信用金庫 ○末端利率　・国民生活金融公庫基準金利（国民生活事業特利F適用）＋2％以内 ○利子補給率　・信用保証率＋貸出金利と公庫基準金利の差(2％以内)	1,155	1,133	まちひと交流課	
		中小企業経営改善普及事業	今金町商工会が行う小規模事業者の経営・技術などの向上対策に要する経費の助成。 小規模事業者の売上げの増加及び消費者に対する還元策を拡充し、小規模事業者の振興と安定改善に要する助成。 ○補助率 ・経営改善普及　80/100以内 ・地域振興　50/100以内 ・事務局長、記帳指導職員設置費　70/100以内 ○事業主体　今金町商工会	15,180	16,160	まちひと交流課	
		地域消費活性化事業	個人所得の減少による消費の鈍化傾向を解消し、地元消費を活性化することにより購買力の流出防止を図り、小規模事業者の経営改善に資する。	1,000	1,000	まちひと交流課	
		プラザ２１指定管理事業	プラザ21の管理運営に要する経費。 ○指定管理者　今金町商工会 ○事業内容　利用計画立案、清掃など	1,300	1,400	まちひと交流課	
		起業・移住定住者支援事業	新規参入と起業の支援などに対し、総合的かつ多角的な支援施策を展開し地域産業の構築を図る。 ○企業立地助成、クリエイティブな人材の短期滞在受入事業	410	475	まちひと交流課	

	細項目	事業名	事業概要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
14 商工業振興	67 多様なビジネス展開の促進	地域力再生プロジェクト事業	商店街活性化事業として、にぎわい商店街、空き店舗活用事業（チャレンジショップ・ワンポックスショップ）の実施 ○実施主体：今金町商工会 ○補助率：10/10	1,107	1,247	まちひと交流課	
		ソーシャルタウン今金町推進協議会補助事業	ソーシャルタウン今金町の実現に向け、多様な人材が地域内産業で活躍できる仕組みづくりや、障がい者と農・観ビジネスの仕組みづくりとして、雇用シェアリングシステムの構築や空き店舗を活用した観光案内所の運営、障がい者旅行商品造成等に対する支援。	4,900	4,950	まちひと交流課	
		商店街空き店舗活用事業	空き店舗を活用した「にぎわいプラザ」の店舗賃借料に対する助成。 ○事業主体　今金町商工会 ○補助率　1／2	372	372	まちひと交流課	
	68 勤労者の就労環境の向上	建築技能者協会活動事業	奉仕活動及び技能者の育成や能力の向上を図るため、協会の活動費に対する助成等に要する経費。 ○事業主体　今金町建築技能者協会 ○事業内容　技能講習、修講等奉仕活動、視察研修など	218	218	まちひと交流課	
		渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会負担事業	雇用確保及び通年雇用化を促進する各種ソフト事業を実施する。労働者側、雇用者側双方への働きかけ、各種講習や講演、合同研修視察実施のほか、雇用促進支援員を設置し、季節労働者の通年雇用化を図ることを目的とする。	51	45	まちひと交流課	
	70 観光・交流・定住に関するコーディネート機能等の整備	観光協会観光事業補助事業	今金町観光協会が行う観光情報発信、イベント及びＰＲ活動などに対する助成に要する経費。 ○事業内容　組織管理費、イベント、ＰＲ事業　など	3,660	4,010	まちひと交流課	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	担当課	摘要
１５ 観光・交流・定住	71 地域資源を活かした観光・交流の推進	美利河環境保全林等整備事業	美利河地区における森林のレクリエーション利用等を促進するため、環境保全林等整備に要する経費。	814	800	まちひと交流課	
		クアプラザピリカ指定管理運営事業	四季を通して観光宿泊施設として利用される、クアプラザピリカの管理運営に要する経費。 ○指定管理者　㈱ＴＴＮコーポレーション（R2年度～R4年度） ○事業内容　　宿泊施設、温泉施設、スポーツ施設、遊戯施設などの管理運営	40,680	38,600	まちひと交流課	
		クアプラザピリカ宿泊施設町民利用助成負担事業	町民及び町民同伴の宿泊利用者に対する料金の割引助成に要する経費。 ○対象施設　クアプラザピリカ ○割引料　１，５００円	900	630	まちひと交流課	
		美利河ダム周辺公園等整備事業	美利河ダム周辺の施設・公園の整備、維持管理に要する経費。 ○公園管理委託費、トイレ・外灯の維持管理費など	708	695	まちひと交流課	
		観光宣伝啓発事業	まちの観光資源の宣伝啓発や各種イベント出展、着地型観光プログラムの旅行商品化に要する経費。	4,919	8,919	まちひと交流課	
		全国国有林レクリエーション協会負担事業	森林レクリエーションに関する情報交換・研修を行うため、協会の運営に要する経費の負担。 ○レクリエーション利用に関する調査研究・普及啓発　など	50	50	まちひと交流課	
	72 定住のための宅地・住宅の確保	住宅リフォーム助成事業	町内に建設されている既存住宅の改修工事を行う方に対し、それに要する経費の一部を助成し、快適な居住環境の向上と定住人口の確保及び地域経済の活性化を図る。 ○助成金額　事業費の２０％（上限30万円） ○事業期間　平成31年度～平成34年度 ○補助対象　事業期間内同１住宅当たり1回の助成。 ただし、過去に住宅リフォーム助成を受けた方は補助対象外。	15,000	5,000	まちづくり推進課	
		マイホーム取得奨励金交付金	住宅の新築・増築や建て替えまたは建売住宅の購入に対し奨励金を交付 基準額：４０万円　加算額：１０万円から５０万円	6,000	8,000	まちづくり推進課	
		空家住宅リフォーム助成事業	空家の有効活用の促進を図るため、空家住宅の改修工事を行う対象者に対し、それに要する経費の一部を助成し、快適に暮らす居住環境の向上と定住人口の確保及び地域経済の活性化を図る。 助成対象者：空家住宅を取得又は借りた方。空家住宅の相続を受け転居予定の方。 助成条件等：町内の施工業者を利用して行う住宅リフォーム費用の一部を助成 助 成 率：対象工事費の２０％以内　上限額３０万円 助成期間：令和２年度～令和５年度(助成期間内同一住宅1回限り)	600	0	まちづくり推進課	新規⑮
		空家等除却支援事業	町内に存在する老朽化が著しく、周辺の生活環境や地域に悪影響を及ぼしている又は及ぼすおそれのある空家等の除却に要する経費の一部を補助し、地域住民の安全安心を確保を図る。 補助対象：町内の空家等で個人所有の専用住宅、併用住宅で不良住宅判定が100点以上の空家を対象。 町内の施工業者を利用して行う費用の一部を補助 補 助 率対象工事費の２０％以内　上限額３０万円 補助期間 令和２年度～令和５年度	1800	0	まちづくり推進課	新規⑯

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源内訳	摘要
１６ 情報通信	74 町民の情報化の推進	テレビ共同受信施設維持管理補助事業	地デジのケーブルを北電柱に共架している共聴組合に対し、移設に伴う経費を補助し、共聴組合間の格差是正を図る。 ○補助率　2/3	96	96	まちづくり推進課	
		地上デジタル放送共聴施設改修事業補助金	地上デジタル共聴組合が管理する施設の老朽化等に伴い改修費に要する費用の一部を共聴組合に対し補助　総工事費（経費）から組合員総数×自己負担35千円を差し引いた額を補助 （施設設置後15年以上の施設） ○Ｒ２年　金原テレビ共同受信施設改修事業補助　外	13,915	0	まちづくり推進課	新規⑬
		戸籍電算化システム事業	平成26年度電算化完了。戸籍情報データ化により、事務処理の迅速性、正確性、住民サービスの向上の他、自然災害等からの保護機能も備えている。 ○運用経費 ・戸籍総合システム保守、ソフト使用料、機器購入割賦金	9,470	4,151	財務税務課	
	75 行政内部の情報化の推進	戸籍電算化システム改修事業	「戸籍法の一部を改正する法律」が令和元年５月２４日に成立し（令和元年法律第１７号）同月３１日に公布され、法令改正に伴うシステム改修を実施することによって令和６年（時期未定）全ての戸籍が全国とつながり、全国どの市町村でも戸籍謄抄本が取得可能。便利になり今金に愛着のある本籍人口の増加が見込まれる。	7,524	0	財務税務課	新規⑭
		情報化推進事業	業務の効率化を推進するため、各種電算システムの運用に要する経費。 ○住民基本台帳システム、財務会計システムなど１５システム ○機器一括更新により備荒資金組合より借入れた費用の償還	18,196	12,558	財務税務課	

項　目	経項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源内訳	摘要
１６ 情報通信	75 行政内部の情報化の推進	庁内LAN構築事業	グループウエアの整備を行い、内部情報の共有化による業務効率の向上を図る。 ○庁内ＬＡＮ保守 ○機器一括更新により備荒資金組合より借入れた費用の償還	17,666	12,043	財源内訳	
		LGWAN整備事業	専用回線を整備することによりセキュリティの確保や今後の電子自治体の基盤整備を行う。 ○事業内容 ・LGWAN回線使用料、総合行政ネットワーク通信機器使用料	521	512	財源内訳	
		電子自治体推進事業	インターネットを通して各種申請、届出や申請用紙のダウンロードなどを住民が利用できるサービスの提供。 ○事業内容 ・北海道電子自治体共同運用委託料、北海道電子自治体共同運営協議会負担金	634	634	財源内訳	
１７ 交通	77 道路環境の向上	雪寒機械等導入事業	冬期間の交通確保のため除雪作業をしている雪寒機械の老朽化により能率低下したものを更新し、円滑な除雪作業を確保する。 ○除雪トラック　７ｔ級　４×４　39,000千円	39,000	33,000	財源内訳	新規⑮
		橋りょう長寿命化修繕事業	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの予防的な修繕を行い長寿命化を図る。 ○豊田橋長寿命化修繕交付金工事　外　90,000千円 ○橋りょう点検業務委託　45,000千円	135,000	177,450	財源内訳	
		道路維持事業	町道（310km）に係る夏期の維持修繕に要する経費。 ○路肩除草、路盤材布設、倒木の除去、側溝・雨水桝管理、車頭維持修繕など	33,357	43,767	財源内訳	
		防塵処理事業	生活道路の防塵処理（簡易舗装）に要する経費。 ○延長282m予定	5,000	5,000	財源内訳	

項　目	細項目	事　業　名	事業概要	令和２年度予算額	令和元年度予算額	財源区分	摘要
１７ 交通	77 道路環境の向上	冬期交通対策事業	除雪及び防雪柵設置による冬期交通確保に要する経費。 ○除雪　63,485千円 ・路線　１４３km（直営33km、委託１１０km） ・公共施設駐車場　１３箇所（１８，４９１㎡） ○防雪柵　70,100千円 ・設置・撤去　10,223m ・借地料　83,252㎡ ○固定式設置　26,300千円 ・神丘１０号線　L=63m ○吹払い防雪柵購入　16,800千円 ・延長　Ｌ＝３００m	176,685	193,260	公益費用区分	
		流雪溝維持管理事業	市街地の降雪を速やかに投雪排除するため、流雪溝(3,670m)の維持管理に要する経費。 ○取水ポンプ、切替ゲート、監視システムの点検等 ○一部国・道受託事業　国道1,900m、道道920m、町道850m	45,351	34,325	公益費用区分	
		町道整備事業	安全で快適な走行を確保するために町道を整備する事業。 ○実施事業　中央通線交付金事業　36,800千円 道路付属物修繕交付金事業　49,600千円	86,400	98,300	公益費用区分	
	78 交通安全対策の推進	交通安全運動推進委員会補助事業	交通安全運動推進委員会が行う交通事故防止や、交通安全啓蒙などの活動に対する助成。 ○事業内容　一般啓発費、特別啓発費、指導員活動費など ○補助率　10／10	2,524	2,904	まちづくり推進費	
	79 公共交通の維持・確保	生活交通路線確保対策事業	住民生活に必要不可欠な図館バス路線（瀬棚線）の確保維持などに要する経費。 ○維持運営費欠損額補助　5,387千円　○通学定期券運賃補助　4,224千円	9,611	10,306	まちづくり推進費	
		集落支援交通対策事業	集落における新たな地域公共交通路線を予約制バスで運行する民間事業者への補助。 ○今金町デマンドバス運行事業	4,230	2,906	まちづくり推進費	

この頁は余白です。

○政策事業調書（新規用）

課名等	税務住民課課税収納グループ

事業名 ① 滞納管理システム導入事業

歳出科目名		
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	2	賦課徴収費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	3,080
13. 使用料及び賃借料	347
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	3,427

1 目的、期待される効果

預貯金等の各種調査にかかる時間の短縮ができ、調査項目の拡大ができる。
今後、延滞金徴収も予定しており、複雑かつ難易度が高い延滞金計算に係る時間の短縮が見込まれ、納期内納税者と滞納者の公平性が図られる。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

今後も滞納額を圧縮すべく、今まで実施していない無店舗型の銀行や生命保険などの調査を効率よく行い、その結果をシステムに登録することで差押え等の滞納処分を適正なタイミングで実施できるよう、システムを整備したい。
また、滞納税に係る複雑な延滞金の徴収（計算）にはシステムの整備が必要不可欠のため。

② 根拠法令

国税徴収法及び地方税法、民法

※延滞金の徴収根拠については、地方税法第３２６条（町民税）、第３６９条（固定資産税）、第４５５条（軽自動車税）、第７２３条（国保税）

3 事業概要について

① 事業主体　税務住民課課税収納グループ

② 事業内容及び積算内訳

導入後は各種照会及び滞納処分に活用する。
令和３年度課税分より延滞金の徴収強化を行う。

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　(無)

② 施策体系

③ 項目

④ 細項目

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

延滞金の徴収強化は、令和3年度課税分からの予定のため、令和2年度を周知期間とする。
各種照会及び滞納処分には運用する。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R01	R02	R03	R04	R05
予算額	0	3,427	462	462	462

6 時限について

① 事業期間

令和２年度　～　※システム導入は令和２年度のみ

② 時限設定

・事業見直し年次　令和　年度予算編成時
・事業終了年次　令和　年度事業終了

〔当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容〕

森町、鹿部町の北海道新聞の記事

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	3,427			
合計	3,427			

○政策事業調書（新規用）

課名等	今金消防署

事業名 ② 指令車更新事業

歳出科目名		
款	9	消防費
項	1	消防費
目	1	常備消防費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	30
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	8,600
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補助及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	8,630

1 目的、期待される効果

火災等災害時の人員・資機材の搬送、通常業務における移動手段としての使用及び、ドクターヘリ要請時の支援活動としてフライトスタッフの搬送としても使用し、消防活動の中で使用頻度が高く必要不可欠な車両である。また、令和元年度より運用開始した救命ボートの搬送用としても使用でき、多岐にわたり使用できる車両として期待される。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

平成19年に購入し、更新基準年を12年に設定。令和元年度に更新予定であったが、車両状況、整備点検状況を加味し2年先送りとした経緯はあるが、早急に部品交換を行わなければならない故障が発生し、今後においても修繕料がかさむ事が顕著に予想されることから、令和2年度において更新としたい。

3 事業概要について

① 事業主体　檜山広域行政組合

② 事業内容及び積算内訳

指令車　1台　8,629,320円

車両本体(艤装・公課費含む)　8,600,070円

役務費(自賠責・任意)　29,250円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　(有)　・　無

② 施策体系　あんしん・今金 ～ 安全・安心の暮らし ～

③ 項目　2 消防・防災

④ 綱項目　消防力の強化

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H29	H30	R1	R2	R3
予算額				8,630	

6 時限について

① 事業期間

令和 2 年度 ～ 令和 2 年度

② 時限設定

・事業見直し年次　平成　年度予算編成時

・事業終了年次　令和 2 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金			
道支出金			
地方債	7,700	過疎対策事業債	90%
その他			
一般財源	930		
合計	8,630		

備考欄

参考資料④

○政策事業調書（新規用）

課名等	まちづくり推進課

歳出科目名		
款	9	消防費
項	1	消防費
目	2	防災費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	7,934
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	285,919
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	293,853

事業名 ③ 防災行政無線施設整備工事事業

1 目的、期待される効果

○防災行政無線を整備することによって、自然災害に対する事前の周知、啓発及び災害時の避難勧告等の情報を瞬時に全住民に伝えられることから、住民の財産や命を守ることができる。また、平時は行政無線としても利用できることから、住民生活に必要な様々な情報を提供することによって住民生活の向上につなげることができる。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

○近年の台風や低気圧による自然災害の発生は多発化しており、被災した地域では、その被害は激甚災害となっている傾向にある。当町では事前に気象情報を取り入れながら町広報車で周知啓発に取り組んでいるが、情報を行き渡らせることが非常に困難な状況である。よって、防災行政無線の整備が求められており、「緊急防災・減災事業債」の期限が令和2年度までとなっていることから、それを活用して整備を行うものである。

3 事業概要について

① 事業主体：町

② 事業内容及び積算内訳

○光台地区の消防施設に併用して基地局を設置し、役場庁舎及び消防庁舎に統制台を置き、町内21カ所に屋外拡声局の設置と全戸に戸別受信機を配布する。

○施工監理業務委託料：7,933,200円

○工事施工費：285,918,600円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有 ・ 無

（無の場合は理由）

② 施策体系　第1節　あんしん・今金

③ 項目　2. 消防・防災

④ 細項目　9. 応急体制の強化

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

○自然災害に関する事前の準備や啓発情報の周知を図るとともに、平時の生活情報を適切に住民へ提供する。また、戸別受信機についても全戸配布とすることから、適切な使用方法や管理等についても周知を図る。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2				
予算額	293,853				

6 時限について

① 事業期間

令和2年度 ～ 令和2年度

② 時限設定

・事業見直し年次　年度予算編成時

・事業終了年次　年度事業終了

〔当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容〕

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金				
道支出金				
地方債	205,697	緊急防災・減災事業債	70%（充当率100%）	
その他				
一般財源	88,156			
合計	293,853			

参考資料⑤

○政策事業調書（新規用）

課名等	まちづくり推進課

事業名 ④ 避難施設光ケーブル敷設工事事業

歳出科目名		
款	9	消防費
項	1	消防費
目	2	防災費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	10,000
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	10,000

1 目的、期待される効果

○国土交通省が管理する河川管理用光ケーブルを活用し、種川小学校へ敷設工事を実施することによって、平常時にインターネットを活用した学校教育の授業で活用することができる。また、災害時には同校が避難所として指定されていることから、避難所での情報収集にも活用することができる。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

○市街地以外では光ファイバ網の整備がされておらず、電気通信事業者に継続した要望をしつつもブロードバンド整備が進んでいないのが現状となっている。市街地以外にある種川小学校においても充分にインターネットを活用できないことから、他の学校との情報格差がある。

3 事業概要について

① 事業主体：町

② 事業内容及び積算内訳

○今金河川事務所から種川築堤指定クロージャまでの光ファイバ芯線を利用し指定クロージャ以降は芯線の管を借用、北電柱等への共架をして学校まで引込する。

○工事施工費（概算）：10,000,000円

○施工業者は開発局が指定する電気通信事業者とされる。

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　あんしん・今金

③ 項目　2　消防・防災

④ 細項目　9　災害予防対策・危機管理対策の強化

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

○単年度での工事により整備されるので、施工年度以降は維持経費のみ。維持経費は河川光ファイバ芯線利用料、北電柱等共架料、道河川占用料、ＷＩＦＩ使用料等があり、学校教育経費での計上となる。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2				
予算額	10,000				

6 時限について

① 事業期間

令和2年度　～　令和2年度

② 時限設定

・事業見直し年次　年度予算編成時

・事業終了年次　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他	6,600	公衆無線ＬＡＮ環境整備支援事業	2/3補助（財政力指数0.4以下等）	
一般財源	3,400			
合計	10,000			

○政策事業調書（新規用）

課名等	保健福祉課

事業名 ⑤ 今金町保健福祉総合計画策定事業

歳出科目名		
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	672
12. 委託料	7,263
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	7,935

1 目的、期待される効果

福祉施策の総合的な指針となる「今金町保健福祉総合計画」を策定し、子どもから高齢者、障害のある方も含め、保健福祉の総合的・計画的な推進を図っていくことを目的とする。

この計画は地域福祉計画をはじめとする4つの分野の個別計画の性格をあわせ持ち、町民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進することを基本理念に掲げた施策・事業の展開をする。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

今金町地域福祉計画、第7期今金町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、第5期障がい福祉計画の3計画について令和2年度をもって終了することから、前回と同様に今金町地域福祉計画、今金町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時において対象町民へのアンケート調査の実施をはじめ計画策定の事務支援等の業務委託を実施する。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　町

② 事業内容及び積算内訳

計画策定の事務支援等の業務委託料及び対象町民へのアンケート調査用郵便料

今金町地域福祉計画	3,253,668円
第8期今金町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	4,009,027円
役務費（アンケート用後納郵便料）	672,000円
合計	7,934,695円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

② 施策体系　第1節　あんしん・今金

③ 項目　6　福祉

④ 細項目　30　地域福祉の推進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	7,935			6,300	

6 時限について

① 事業期間

令和2年度　～　令和2年度

② 時限設定

・事業見直し年次　令和　年度予算編成時

・事業終了年次　令和2　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	7,935			
合計	7,935			

○政策事業調書（新規用）

課名等	保健福祉課

事業名 ⑥ 患者バス購入事業

歳出科目名		
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	198
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	5,258
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	5,456

1 目的、期待される効果

現在使用している患者バスは、平成２６年１１月に購入したものであるが、デマンドバス新路線運行に伴う患者バス路線の減少やそれに伴う利用者数の減、また、患者バス利用者からドアtoドア（利用者宅での乗降車）による運行要望も高まっており、既存車両では車両の大きさから対応が困難な事から既存車両より小型の１４人乗りのワンボックス車両を購入するもの。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

・無医地区等から町内医療機関への送迎及びあったからんどへの送迎
土・日・祝祭日・年末年始等を除く月～金曜日　３系統での運行

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　町

② 事業内容及び積算内訳

令和２年度よりドアtoドア（利用者宅での乗降車）に対応するため予約制に移行することから町内事業者へ業務委託をおこなう。

車両購入費	4,377,450円
福祉用改造費	880,000円
消耗品費	198,000円
合　計	5,455,450円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　　有　・　無

② 施策体系　第1節　あんしん・今金

③ 項目　　6　福祉

④ 細項目　　３０　地域福祉の推進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

② 今後の予算額　　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	5,456				

6 時限について

① 事業期間

令和２年度　～　令和２年度

② 時限設定

・事業見直し年次　　令和　　年度予算編成時
・事業終了年次　　令和２　　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	5,456			
合計	5,456			

○政策事業調書（新規用）

課名等	農林振興課

歳出科目名		
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	土地改良費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	5,850
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	5,850

1 目的、期待される効果

大規模改修により、用水路の長寿命化が図られる。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

第4幹線用水路は、昭和29年北住吉頭首工竣工と同時期に使用開始し、一部は団体営等で補修してきたが、経年劣化により大規模改修が必要となった。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　狩場利別土地改良区

② 事業内容及び積算内訳

用水路改修　R2~R4年度　L=2，200m　　総事業費90，000千円

R2年度は、実施設計一式及び用水路改修L=370m　事業費45，000千円

（R2年度負担割合）

国	55%=	24，750千円
道	14%=	6，300千円
町	13%=	5，850千円
土地改良区	18%=	8，100千円
合計		45，000千円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　はつらつ　今金

③ 項目　　13　農林業振興

④ 細項目　　64　基盤整備による効率的な農地利用の推進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

令和4年度までの3ヶ年で改修工事等を実施する。

② 今後の予算額　　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	5,850	3,250	2,600		

6 時期について

① 事業期間

令和2年度　～　令和4年度

② 時期設定

・事業見直し年次　　令和　　年度予算編成時

・事業終了年次　　令和　　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金			
道支出金			
地方債			
その他			
一般財源	5,850		
合計	5,850		

方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）

事業6

⑦ 住吉地区用水路改修事業

○政策事業調書（新規用）

課名等	農林振興課

事業名 ⑧ 檜山の森づくり植樹祭会場設営事業

歳出科目名		
款	6	農林水産業費
項	2	林業費
目	1	林業振興費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	331
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	331

1 目的、期待される効果

かつて檜山南部で繁殖していたヒノキアスナロの資源回復を目的として地域ぐるみで開始した。その後、地元住民のみならず賛同する企業の参加をいただける等緑化に対する意識の高揚が図られた。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

檜山の森づくり植樹祭は、管内の地域住民、幅広い分野の団体等の参加による植樹祭として平成１０年度から各町持ち回りにより開催してきた。今金町での開催は平成２３年度以来３回目となる。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　檜山の森づくり実行委員会

② 事業内容及び積算内訳

植樹に要する苗木代は、実行委員会が負担。

今金町は、植樹祭会場整備等の経費を負担。

地拵え・除草委託料	102，300円
会場看板等設置委託料	227，756円
計	330，056円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　はつらつ　今金

③ 項目　１３　農林業振興

④ 綱項目　６５　林業の振興

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

各町持ち回り事業のため、次期開催年は不明。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	331				

6 時限について

① 事業期間

令和２年度　～　令和　年度

② 時限設定

・事業見直し年次　令和　年度予算編成時

・事業終了年次　令和　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金			
道支出金			
地方債			
その他			
一般財源	331		
合計	331		

方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）

○政策事業調書（新規用）

課名等	農林振興課

事業名 ⑨ 有害鳥獣駆除推進事業

経出科目名		
款	6	農林水産業費
項	2	林業費
目	1	林業振興費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	666
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	666

1 目的、期待される効果

ヒグマ・エゾシカ等有害鳥獣の出没に対応できる狩猟免許等取得者増加を図るため、今金猟友クラブ入会を前提に取得に係る経費の一部と、現存のハンターも含め免許取得後負担する保険料・公的申請手数料を助成する。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

高齢化等によりハンターが減少し、ヒグマ・エゾシカ等有害鳥獣駆除に従事できる狩猟免許等新規取得者の育成と、出動が急増している現存のハンターの更なる助成を同時に図る必要があった。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　今金猟友クラブ

② 事業内容及び積算内訳

（新規取得分）

狩猟免許試験料、初心者講習受講料外1名×　86,500円

銃・ガンロッカー等購入費（上限）　1名×250,000円

小計　　336,500円×1/2=168,250円

（年間経費等）

狩猟者登録料、ハンター保険等　18名×20,100円=361,800円

狩猟免許更新　3名×2,800円=8,400円　銃砲等所持許可更新　4名×6,800円=27,200円

有害鳥獣駆除費用弁償（上限）　100,000円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　はつらつ・今金

③ 項目　13　農林業振興

④ 細項目　65　林業の振興

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

狩猟免許新規取得促進と、有害鳥獣駆除に協力いただいているハンターの負担軽減のため継続する。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	666	666	666	666	666

6 時限について

① 事業期間

令和 2 年度　～

② 時限設定

・事業見直し年次　令和　年度予算編成時

・事業終了年次　令和　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	666			
合計	666			

○政策事業調書（新規用）

課名等	農林振興課

歳出科目名		
款	6	農林水産業費
項	2	林業費
目	1	林業振興費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	17,066
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	17,066

事業名

⑩ 高性能林業機械導入支援事業

1 目的、期待される効果

木材の需要増により、伐期に達した林分を計画的に伐採・新植と森林の循環を進める必要があり、その作業を効率的なものとするため、高性能林業機械導入を支援するものとする。また、事業量増加によりオペレーターの新規雇用も期待される。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

近年の台風被害木の整理や、伐期を迎えた林分での施業等事業量は増加傾向だが、今金町森林組合では伐採を町外業者に頼らざるを得ない状況のため、高性能林業機械を導入する必要があった。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　今金町森林組合

② 事業内容及び積算内訳

高性能林業機械（ハーベスタ）導入　25，600千円

（負担割合）

国	1/3＝	8，533千円
町	国補助残1/2＝	8，533千円
森林組合	国補助残1/2＝	8，534千円
計		25，600千円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　はつらつ今金

③ 項目　13　農林業振興

④ 細項目　65　林業の振興

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

高性能林業機械導入は単年だが、森林環境譲与税課与金を活用した事業は永続的に展開する。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	17,066				

6 時限について

① 事業期間

令和 2 年度　～　令和　年度

② 時限設定

・事業見直し年次　令和　年度予算編成時

・事業終了年次　令和　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金	8,533	林業構造改善事業補助金		
道支出金				
地方債				
その他	8,533	森林環境譲与税課与金		
一般財源				
合計	17,066			

参考資料②

○政策事業調書（新規用）

課名等	まちづくり推進課

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	600
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	600

事業名 ⑪ 空家リフォーム助成事業

1 目的、期待される効果

○空家の状況にある住宅の安全性、耐久性及び居住性の向上に係る住宅リフォームに要する経費の一部を助成することにより、空家の有効活用の促進を図ると共に、町民が安心して快適に暮らす居住環境の向上と定住人口の確保及び地域経済の活性化を図ることを目的としている。

2 事業の背景・沿革

①．背景・沿革

○全国的に管理されていない空家等が増加しており、その空家をリノベーションすることによって新たな住環境を創出していく取組が図られているところであり、今金町においても空家となっている住家を対象にリフォームを行なうことによって、住民に対する住環境を整備し取り組むところである。

3 事業概要について

① 事業主体：町

② 事業内容及び積算内訳

○空家となっている住家の増築、改築、修繕工事を実施する。

○町内施工業者による施工とし、空家住宅の売買または賃貸借契約をした者で、空家入居後3年を超えて居住を予定している者。

○助成金額はリフォームに要した金額（税抜）の20%で上限30万円で、リフォームに要する費用が30万円以上（税抜）であること。

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　第3節　いきいき・今金

③ 項目　15．観光・交流・定住

④ 細項目　4．定住のための宅地・住宅の確保

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

○今金町空家等対策計画第4章の達成目標において、計画期間内10件としている。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	
予算額	600	600	600	600	

6 時限について

① 事業期間

令和2年度　～　令和5年度

② 時限設定

・事業見直し年次　令和5 年度予算編成時

・事業終了年次　令和5 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	600			
合計	600			

参考資料③

○政策事業調書（新規用）

課名等	まちづくり推進課

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	1,800
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	1,800

事業名 ⑫ 空家等除却支援事業

1 目的、期待される効果

○空家等の除却に要する経費の一部を補助することにより、町内に存在する老朽化が著しく、周辺の生活環境や地域に悪影響を及ぼしている又は及ぼすおそれのある空家等の除却促進を図り、地域住民の安全安心を確保することを目的としている。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

○管理されていない老朽化の著しい空家等が増加しており、その空家の除却について全国的にも課題となっている。
そのような空家等の除却につながる方策が各自治体に求められている。

3 事業概要について

① 事業主体：町

② 事業内容及び積算内訳

○個人所有の専用住宅又は併用住宅で不良住宅を除却する。
○町内施工業者による施工とし、補助対象空家等の全てを除却するもので、建て替えを目的とした除却でないこと。
○娯所金額は補助対象工事に要した金額（税抜）の２０％で上限３０万円で、補助対象工事が３０万円以上（税抜）であること。

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無
（無の場合は理由）

② 施策体系　第３節　いきいき・今金
③ 項目　１５．観光・交流・定住
④ 細項目　４．定住のための宅地・住宅の確保

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

○今金町空家等対策計画第４章の達成目標において、計画期間内３０件としている。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	1,800	1,800	1,800	1,800	0

6 時限について

① 事業期間
令和２年度　～　令和５年度

② 時限設定
・事業見直し年次　令和5 年度予算編成時
・事業終了年次　令和5 年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金				
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,800			
合計	1,800			

参考資料①

○政策事業調書（新規用）

課名等	まちづくり推進課

歳出科目名		
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	13,915
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	13,915

1 目的、期待される効果

平成２４年度地上デジタル放送がスタートし、本町においても難視聴エリア対策として、共聴組合を設立し、国等の補助金により共同受信施設の整備を行った。受信施設の維持管理については、各組合が行っていますが、老朽化等に伴う施設改修が大きな課題となっており、当該改修費に要する費用の一部を予算の範囲内において補助する。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

平成２４年7月24日　地上デジタル放送スタート

NHK共同受信施設組合　美和局、笹石　2組合

自主共聴組合　２１組合

令和元年度金原テレビ共聴施設組合より老朽化に伴う改修についての要望書があった。今後、新設した共聴組合からも同様の改修支援が想定されることから、新たに補助要綱を制定し支援体制を整備する。

3 事業概要について

① 事業主体：テレビ自主共聴組合・NHK共同受信組合

② 事業内容及び積算内訳

自主共聴組合及びNHK共同受信施設が管理する受信施設の老朽化による改修又は災害復旧のための経費で、組合総数に35000円を講じた額を補助対象事業に要する経費から控除した残額を補助対象経費とする。

令和2年度は、金原テレビ共同受信施設組合55世帯(上鈴金含む）へ補助予定

総事業費 ①　15,840,000円

自己負担 ②　35000円×55世帯＝1,925,000円

補助対象経費③　①15,840,000円－②1,925,000円　＝13,915,000円

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

（無の場合は理由）

② 施策体系　第3節　はつらつ・今金

③ 項目　１６．情報通信

④ 細項目　７３．町民の情報化の促進

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

今後は、ほかの共聴組合でも同様に老朽化に伴う改修が想定されることから事前に、要望調査を行い整備計画を提出後、年次計画をもって改修への補助を行う。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	13,915	0	0	0	0

6 時限について

① 事業期間

令和２年度　～　令和６年度

② 時限設定

・事業見直し年次　令和６年度　年度予算編成時

・事業終了年次　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	方向性及び検証内容（※行革担当記載欄）
国庫支出金	0			
道支出金	0			
地方債	9,741	過疎債	70%（充当率100%）	
その他	0			
一般財源	4,175			
合計	13,915			

事業名

⑬ 地上デジタル放送共聴施設改修事業

○政策事業調書（新規用）

課名等	税務住民課　戸籍年金G

事業名　⑭戸籍電算化システム【改修】事業（法務省＋総務省分）

歳出科目名		
款	2	総務費
項	3	戸籍住民基本台帳費
目	1	戸籍住民基本台帳費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	7,524
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	7,524

1　目的、期待される効果

戸籍事務へのマイナンバー制度導入に関して「戸籍法の一部を改正する法律」が令和元年5月24日に成立し（令和元年法律第17号）同月31日に公布された。これにより、戸籍法及び番号利用法等の関連法律が改正され、制度面における所要の措置が講じられたところである。

2　事業の背景・沿革

① 背景・沿革

行政機関、地方公共団体その他の行政事務を処理する者が、個人番号及び法人番号の有する特定の個人及び法人その他の団体を識別する機能を活用し、並びに当該機関によって異なる分野に属する情報を照合してこれらが同一の者に係るものであるかどうかを確認することができるものとして整備された情報システムを運用して、効率的な情報の管理及び利用並びに他の行政事務を処理する者との間における迅速な情報の授受を行うことができるようにすること

② 根拠法令

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」
「戸籍法の一部を改正する法律」

3　事業概要について

① 事業主体　　今金町

② 事業内容及び積算内訳

法務大臣が戸籍の副本に記録されている情報を利用して、親子関係その他の身分関係の存否を識別する情報等を戸籍関係情報として作成し、新システムに登録する。（戸籍法121の3）
従来の戸籍謄抄本による戸籍の情報の証明手段に加え、マイナンバー制度のためにつくられた情報提供ネットワークを通じて戸籍関係情報を確認する手段も提供可能にする。（附則14（番号利用法別表第2関係）

法務省分野　1，496千円
総務省分野　6，028千円

4　総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　　有　・　無

② 施策体系　　16)情報通信

③ 項目　　73)町民の情報化の促進

④ 細項目　　1)戸籍電算化システム事業

5　財政計画について

① 今後の計画・目標

今金町本籍数　3，012戸
今金町本籍人口　6，759人（令和元年9月末現在）
全ての戸籍が全国とつながり、全国どの市町村でも戸籍謄抄本取得可能。便利になり、今金に愛着のある本籍人口の増加が見込まれる。

② 今後の予算額　　（単位：千円）

年度	R01	R02	R03	R04	R05
予算額	－	7,524	－	－	－

6　時限について

① 事業期間

令和2年度のみ　～

② 時限設定

・事業見直し年次　　令和　　年度予算編成時
・事業終了年次　　令和　2　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

◆該当なし

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等	備考欄
国庫支出金	7,524		100%見込み	
道支出金				
地方債				
その他				
一般財源				
合計	7,524			

○政策事業調書（新規用）

課名等	公営施設課

歳出科目名		
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	1	道路維持費

節	金額（千円）
1. 報酬	
2. 給料	
3. 職員手当等	
4. 共済費	
5. 災害補償費	
6. 恩給及び退職年金	
7. 報償費	
8. 旅費	
9. 交際費	
10. 需用費	
11. 役務費	
12. 委託料	
13. 使用料及び賃借料	
14. 工事請負費	
15. 原材料費	
16. 公有財産購入費	
17. 備品購入費	
18. 負担金補助及び交付金	39,000
19. 扶助費	
20. 貸付金	
21. 補償補填及び賠償金	
22. 償還金利子及び割引料	
23. 投資及び出資金	
24. 積立金	
25. 寄附金	
26. 公課費	
27. 繰出金	
合計	39,000

1 目的、期待される効果

等期間、交通確保のため除雪作業している雪寒機械の老朽化により、能率低下した機械を更新をして、円滑な除雪作業を確保する。

2 事業の背景・沿革

① 背景・沿革

現在、国庫補助事業で導入した雪寒機械を９台配備しており、更新計画により機械更新していくことが望ましい。
平成21年度から社会資本整備総合交付金の施行により、従来の建設機械整備費補助金(雪寒機械購入費)から交付金による購入に移行した。

② 根拠法令

3 事業概要について

① 事業主体　　今金町

② 事業内容及び積算内訳

・事業費　39,000千円

・工事概要

雪寒機械購入費　39,000千円
補助基本額　37,617千円　　即単費　1,383千円
除雪専用車　7t
・除雪幅　2.8m以上
・エアコン
・スパイクタイヤ

4 総合計画の位置づけについて

① 総合計画登載の有無　有　・　無

② 施策体系　第3節　はつらつ・今金

③ 項目　１７交通

④ 細項目　７７．道路環境の向上

5 財政計画について

① 今後の計画・目標

・車両の劣化と状況を考慮し、計画的に更新する。雪寒機械車両台数を確保し円滑な除雪作業を確保することを目標とする。

② 今後の予算額　（単位：千円）

年度	H31	R2	R3	R4	R5
予算額	33,000	39,000	19,336	-	-

6 時限について

① 事業期間

平成３１年度　～　令和３年度

② 時限設定

・事業見直し年次　令和３　年度予算編成時
・事業終了年次　年度事業終了

【当該事業を行うにあたって比較検討した事業内容】

左の財源	金額（千円）	補助金等の名称	補助率等
国庫支出金	25,078	社会資本整備総合交付金	2/3
道支出金			
地方債	12,529	過疎対策事業債	
その他			
一般財源	1,393		
合計	39,000		

備考欄

事業名　⑮　雪寒機械等導入事業